

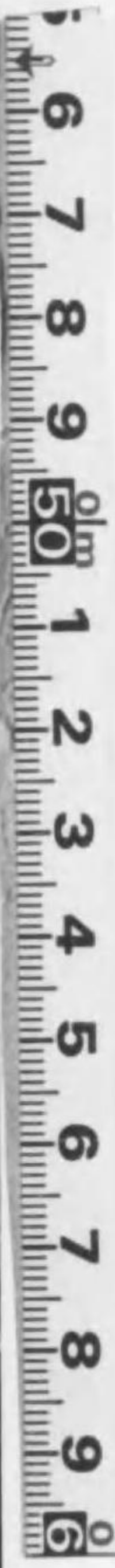
317
984

317-984
1200501372907

福岡縣立圖書館和漢圖書增加目錄

同館編

自昭和十三年四月至昭和十四年三月



始



317
98

昭和十五年三月

福岡縣立圖書館
和漢圖書增加目錄

自昭和十三年四月
至昭和十四年三月

福岡縣立圖書館

昭和十五年三月



和漢圖書增加目錄

自昭和十三年四月
至昭和十四年三月



福岡縣立圖書館

317
98 1

福岡縣立
圖書館

和漢圖書增加目錄

(自昭和十三年三月
至昭和十四年三月)

凡 例

- 一、本目錄ハ昭和十三年四月ヨリ昭和十四年三月ニ至ル本館増加ノ和漢圖書ヲ収録ス
- 二、本目錄ハ既定ノ本館十進分類法ニ從ヒ編纂セリ
- 一、一書ニシテ兩様ニ分類シ得ヘキモノ又叢書全集類ノ如キモ複出ハ省略セリ
- 一、書名ハ各類毎ニ五十音順ニ排列セリ
- 一、冊數欄ニ〇印ヲ附セルモノハ洋裝書ニシテ然ラザルモノハ和裝書ナリ

昭和十五年三月

福岡縣立圖書館

目次

〇〇〇 總記	
〇一〇 圖書及書目	一
〇二〇 事彙	二
〇三〇 叢書	二
〇四〇 隨筆、雜書	三
〇五〇 雜誌	六
〇六〇 新聞	六
〇七〇 鄉土志料	六
〇八〇 兒童圖書	九
〇九〇 繪字類	九
一〇〇 哲學	
一一〇 心理學	二
一二〇 倫理學	三
一三〇 論理學	三
一四〇 支那哲學	四
一五〇 宗教	
一六〇 神書、神道	五
一七〇 佛教	六
一八〇 基督教	八
一九〇 雜教	八
二〇〇 教育	
二一〇 教育學	九
二二〇 實地教育	二〇
二三〇 普通教育	二二
二四〇 師範教育	二三
二五〇 高等教育	二三
二六〇 特殊教育	二三
二七〇 女子教育	三三
二八〇 學校衛生、體育、遊戲	三三
二九〇 社會教育	三四

三〇〇	文學	三〇
三一〇	日本文學	三六
三二〇	國文	三〇
三三〇	小說	三〇
三四〇	支那文學	三五
三五〇	歐米文學	三五
三六〇	演說、論說	三七
三七〇	語學	三七
三八〇	國語	三七
三九〇	外國語	三六
四〇〇	歷史	四二
四一〇	萬國史	四二
四二〇	東西洋史	四二
四三〇	日本史	四二
四四〇	外國史	四四
四五〇	傳記	四四
四六〇	地誌、紀行	四六

四七〇	萬國誌	四〇
四八〇	本邦誌	四〇
四九〇	外國誌	四三
五〇〇	法制	五五
五一〇	國家學	五五
五二〇	法律	五五
五三〇	古代法制	五二
五四〇	經濟	五二
五五〇	財政	五二
五六〇	統計	五二
五七〇	社會	五二
五八〇	風俗	五二
五九〇	家政	五二
六〇〇	理學	七〇
六一〇	物理學、化學	七〇
六二〇	天文學、地文學	七一
六三〇	博物學	七一

六四〇	數學	七三
六五〇	醫學	七四
六六〇	基礎醫學	七四
六七〇	臨床醫學	七五
六八〇	治療法、養生法、健康法	七六
六九〇	獸醫學	七七
七〇〇	工學	七六
七一〇	土木工程	七六
七二〇	機械工學	七九
七三〇	電氣工學	八〇
七四〇	建築學	八一
七五〇	鑛山學、鑛業	八二
七六〇	造船學	八三
七七〇	航海	八三
七八〇	兵事	八三
七九〇	古代兵法及武藝	八五
八〇〇	美術	八六

八一〇	書畫	八六
八二〇	圖案	八七
八三〇	寫真	八七
八四〇	彫刻	八七
八五〇	製版及印刷	八七
八六〇	蒔繪、漆器	八七
八七〇	音樂	八七
八八〇	諸藝、遊戲、娛樂	八八
八九〇	運動、競技、其他	八八
九〇〇	產業	九〇
九一〇	農業	九〇
九二〇	園藝	九三
九三〇	林業	九三
九四〇	畜產	九三
九五〇	水產、漁業	九四
九六〇	蠶業	九四
九七〇	工藝	九四

九八〇 商 業……………九七
 九九〇 交通、通信……………九九

福岡縣立圖書館和漢圖書增加目錄 (自昭和十三年四月至同十四年三月)

〇〇〇 總 記

〇一〇 圖書及書目

出版年鑑 昭和十三年版 東京堂編 昭和十三 (二七六頁)	1010-30	附屬圖書館 和漢書名目録 第六輯 同館編 昭和十三 (四〇頁)	1011-27
安野先生書誌學論考 長澤規雄也撰 昭和十二 (二一八頁)	1010-28	附屬圖書館 和漢書分類目録 第一 同館編 昭和十三 (九三五頁)	1011-29
世界名著解題 第一卷 柳田泉編 昭和十三 (六一八頁)	1011-27	附屬圖書館 新書部分類目録 同館編 昭和十三 (七九〇頁)	1011-28
朝鮮殖民地調查事業概要 朝鮮總督府 昭和十三 (二一〇頁)	1011-26	通冊 三 下卷 第七門 理學、醫學 第八門 工學、軍事 第九門 産業、藝術 第十門 全書、雜著 朝鮮門、朝鮮 附、滿洲、蒙古、西伯利亞	
優良圖書 著者選讀物調査部編 昭和十三 (四三頁)	1011-25	東京帝國大學和漢圖書目録 同附屬圖書館編 增加第一(二三三頁) 增加第二 昭和十一(三三七七頁)	1011-25
和漢書解題 神戶高等商業學校圖書課編 大正一五 (二七〇頁)	1011-24	日本商工圖書分類目録 附、逐次刊行目録 (一一一頁) 會議所 同新編 昭和十三	1011-24
	1011-23	早稻田和漢圖書分類目録 同圖書館編 昭和十四 (二八三頁)	1011-24
	1011-22	大學和漢圖書分類目録 (昭和十三、七月末日現在)	1011-24
	1011-21		
	1011-20		
	1011-19		
	1011-18		
	1011-17		
	1011-16		
	1011-15		
	1011-14		
	1011-13		
	1011-12		
	1011-11		
	1011-10		
	1011-9		
	1011-8		
	1011-7		
	1011-6		
	1011-5		
	1011-4		
	1011-3		
	1011-2		
	1011-1		

(1)



〇二 圖書館目録

亞細亞文庫圖書目録 竹内正一編 昭和十三
(三七六頁)

石川縣立和漢圖書分類目録 同館編 昭和十三
第二三冊 昭和十一、四(一一三)(一〇二頁)

大阪府立和漢圖書目録 同館編 昭和十三
圖書增加和漢圖書目録 同館編 昭和十三
第二七冊 昭和十一、四(一一三)(一九七頁)
索引(四七頁)

〇三 雜 目

官廳刊行圖書目録 第四四號 內閣印刷局編 昭和十三
(三八八頁)

1011-39

好古小録 乾、金石書畫 寛政九
文明移入に古書展覽會目録 荒木幸太郎編 大正一四
(二一〇頁)

1011-37

1011-38

竹柏園藏書志 佐々木信綱編 昭和十四
(七六九頁)

1011-37

〇二〇 事 業

朝日年鑑 昭和十四年版 大道弘編 昭和十三
(九九二頁) 一〇三二一八
時事年鑑 昭和十四年版 同盟通信社編 昭和十三
(八三二頁) 一〇三二一四

〇三〇 叢 書

〇三一 日本人叢書 冊 分類 叢書
大國修正全集 野村胡堂校訂 昭和一二一三 五〇三二一九

第一卷 本學學要 取或問答 文武虛實論
第二卷 眞理新釋 直日靈補註 湯取者 鼻くらべのさらし
第三卷 三波三歌昇降圖説 神道みちしるべ
第四卷 學運論 學統論 斥儒佛 三教一放辯 魂魂辨
第五卷 本教神理説 本教神理説別本 神理一貫書
第六卷 神道受用考説 死後安心録 うた日記
革命日本青年全集 青年社發行 昭和一一三〇 三〇三一八九
第一卷 日本政治の革新(美村喜和男)
第二卷 青年教育の革新(栗原健男)
第三卷 轉機期日本の農業問題(田村勤次)
教學叢書 教學局編 昭和一一三 二〇三二一八九
第一輯 教學新論と教學局(教學局) 自然の観方(橋田壽彦)
春日潛庵の教學(安岡正憲)
支那抗日運動の思想的背景(梶原勝三郎)
歐洲最近の政治動向(藤澤規雄)

現代の科學(坂口潤雄)
第二輯 專門的方法(西田幾多郎)
佛敎の全體性原理(高橋順次郎)
萬葉學先賢の苦心に就いて(依々木信綱)
天地の大道と信心(小西重直) 知恩報德(金子大榮)
思想國防(山本勘市)

古典保存會本 同會發行 昭和一二一四 五〇三二二六
金剛寺本延喜式神名帳(上) 金剛寺若經集驗記
史記 史記評林金剛寺本 東漢書、神樂歌
神典解說 大會精神文化研究所編 昭和一一三 一〇三二二七
上巻 古事記 日本書紀 古語拾遺
鈴木重胤全集 穂積重胤撰 樹下快厚編 昭和一二一四 六〇三二二八
第二卷 第七卷 日本書紀傳(卷二一巻七)

仙臺叢書 同刊行會編 昭和一一三 一〇三二二五
第七卷 伊達世臣家譜 第六輯
日本古典全集 正宗教夫編校訂 昭和一一三 一〇三二二五
第六期
第一回 編者名錄 上
第二回 本草通串(本草綱目六一九)
第三回 首座集
第四回 本草通串四一六
第五回 地下家傳五
第六回 古今名物類聚 上
第七回 地下家傳索引
第八回 類聚名義抄 法下僧上
第九回 同 僧中僧下
第十回 本草通串二九一三四

富士谷御杖集 國民精神文化研究所編 昭和一一三 一〇三二二八
(六九二頁) (國民精神文化文獻七)
第三卷 歌道非唯抄 うたよころ 和歌以禮ひ袋
歌道辨論 萬葉集要 神明選談 北邊家稿
古今和歌集 萬葉集 豐歌合四番 北邊三十番歌合
室伏高信全集 同人著 昭和一二一三 五〇三二二八
第一卷 文明の没落 第二卷 文明の没落

蘆の芽 楠木清方 昭和一一三 一〇三二二七
いはの群 會宮一念 昭和一一三 一〇三二二七
動く田園 相馬御風 昭和一一三 一〇三二二六
丘の書 大澤章 昭和一一三 一〇三二二三
思ひ出すまゝに 正宗白鳥 昭和一一三 一〇三二二八
面白くならう 三宅雄三郎(雪嶺) 昭和一一三 一〇三二二二
女坂 國地文子 昭和一一四 一〇三二二六
女の立場 岡本かの子 昭和一二 一〇三二二二
回想記 高田保馬 昭和一一三 一〇三二二七
顔を洗ふ 中川一政 昭和一一三 一〇三二二二
科學と文化 浦本清澄 昭和一一三 一〇三二二九
學堂放談 尾崎行雄(學堂) 昭和一一四 一〇三二二〇
看雲録 末山海音 昭和一一三 一〇三二二九
同 一〇三二二九
憧憬 希望草紙 岡本かの子 昭和一一三 一〇三二二八
京の風土記 井川定庵 昭和一一三 一〇三二二六
銀語録 里見淳 昭和一一三 一〇三二二四
奎堂夜話 清浦奎吾(奎堂) 昭和一一三 一〇三二二三
現代日本觀 妙山平助 昭和一一三 一〇三二二六
子供とともに 松田柳子 昭和一一三 一〇三二一九

〇三三 西洋人叢書

シーボルト研究 日獨文化協會編 昭和一一三 一〇三二一八
言語學史上におけるシーボルト先生(新村出)
大全早引節用集(入澤謙吉)
鳴鶴船(黒田源次)
門人がシーボルトに提供したる蘭語蘭文の研究(緒方富雄外三名)
シーボルトの第一回渡來の使命と彼の日本研究特に日蘭貿易の檢討について(板澤武雄)

萬機要覽 朝鮮總督府中樞院編 昭和一二一三 二〇三二二三
附用篇 軍政篇
第四卷 マルクス佐藤 マルクスを乗り越えて
第五卷 人間記 文明學序説
第六卷 東方主義(中間階級の社會學)
第九卷 莊子、日蓮

〇四〇 隨筆、雜書

〇四一 日本人隨筆 冊 分類 叢書
朝の果實 夢澤龍舟、同慶子 昭和一一三 一〇三二一九

財人隨想 巖井 山崎一芳編 昭和一三
 神樂合歌語 松岡壽雄著 松岡初子編 昭和一三
 山居俗情 岩本素白 昭和一三
 散 彈 高橋朱峰 昭和一四
 三蘇隨筆 市河三善著 市河博子編 昭和一三
 視 界 小泉升 昭和一三
 時代と運命 淺野晃 昭和一三
 書齋閑談 阪野隆 昭和一三
 身邊雜話 宇垣一成著 矢部周編 昭和一三
 神話と科學 谷川徹三 昭和一三
 隨想と回想 瀧川幸辰 昭和一二
 隨筆きぬた 森田大支 昭和一三
 戰爭と生活 三宅雄二郎(雪嶺) 昭和一三
 青年の一矢 安藤貞富 昭和一三
 早春雜筆 平田秀水 昭和一四
 窓邊雜草 吉川英治 昭和一三
 太平洋皇國性質 松多金水編 天保六
 旅と讀書と 木村賢 昭和一三
 魂を吐く 中野正剛 昭和一三
 知命の書 萩原井泉水 昭和一三

二〇四一四二二 朝食前のレセプション 戸川秋骨 昭和一二
 一〇四一四一〇 朝暮抄 安部龍成 昭和一三
 一〇四一四一五 次に立つ我々 安藤貞富 昭和一二
 一〇四一四一六 泥佛堂日録 無茶法師(川喜多夫) 昭和一二
 一〇四一四一七 凸凹のおぼけ 石井鶴三 昭和一三
 一〇四一四一八 天然と人間 徳富猪一郎(蘇峯) 昭和一三
 一〇四一四一九 ドイツ精神 村上朝雄 昭和一三
 一〇四一四二〇 豆腐のから 林 安雲 昭和一三
 一〇四一四二一 讀書の眼 澤村安文外四名著 帝國大學新聞社編 昭和一二
 一〇四一四二二 得能文人生讀本 「春夏秋冬」 得能文 昭和一三
 一〇四一四二七 日本趣味を行く 川崎 克 昭和一三
 一〇四一四二七 日本自畫像 竹城與三郎(三又) 昭和一三
 一〇四一四二八 日本への回帰 萩原明太郎 昭和一三
 一〇四一四二九 農人形 有馬龍聖著 有馬龍聖編 昭和一三
 一〇四一四三〇 灰 皿 徳川秋聲 昭和一三
 一〇四一四三一 滿目抄 土岐美貴 昭和一三
 一〇四一四三二 飛雲抄 瀧原有明 昭和一三
 一〇四一四三三 響 小鴨重一 昭和一三
 一〇四一四三七 風雲閑閑語 花崎行雄(雪嶺) 昭和一三

冬の華 中谷宇吉郎 昭和一三
 文化の課題 新明正道 昭和一三
 文化のため 佐藤信倫 昭和一三
 街に拾ふ 平井泰太郎 昭和一三
 水野博士論策と隨筆 松成仁(龍岡) 昭和一二
 古稀記念論策と隨筆 松成仁(龍岡) 昭和一二
 民族・文化・風土 宮永理 昭和一二
 黙歩七十年 星野天知 昭和一三
 物の糧・心の糧 下村安(海南) 昭和一三
 燃ゆる大地 大西勝史 昭和一三
 子が一日一題 正宗白鳥 昭和一三
 よものあか 上・下
 緑地帯 内田誠 昭和一三
 私の昆虫記 林美美子 昭和一三
 われ日本人なり 野口米次郎 昭和一三
 我れひとり思ふ 吉田隆二 昭和一三

一〇四一四六七 九州帝國大學 哲學史學文學論文集 九州帝國大學法文學部十周年記念 昭和一二
 一〇四一四六八 郷土人生讀本 相馬昌治(静風) 昭和一三
 一〇四一四六九 古學二十文 生田國秀(華山) 高坂元 昭和一二
 一〇四一四七〇 シーボルト先生渡來百年記念論文集 同先生記念會編 大正一三
 一〇四一四七二 支那に與ふる書 花田伸之助 昭和一三
 一〇四一四七三 世紀の論理 室伏高信 昭和一三
 一〇四一四七四 電話問答 帝都日新聞社編 昭和一三
 一〇四一四七五 東西の文化流通 後藤未雄 昭和一三
 一〇四一四七六 ナチスの文化統制 近藤春雄 昭和一三
 一〇四一四七八 日本文化最近二十年誌 啓明會編 昭和一二
 一〇四一四七九 文化と歴史 西村眞次 昭和一三
 一〇四一四八〇 民族と生活 西村眞次 昭和一四
 一〇四一四八一 同奮理想の再建 同奮一編・同奮古志部共編 昭和一三
 一〇四一四八二 日本論 支、高天化著 安藤文郎譯 昭和一三
 一〇四一四八三 〇四五 歐米人隨筆・雜書
 一〇四一四八四 知性と感性 岡、ステファン・ツワイタ著 青柳瑠璃譯 昭和一三
 一〇四一四八五 パスカール小品集 パスカール著 由木康譯 昭和一三

〇四二 支那人隨筆

周作人隨筆集 支、周作人著 松枝茂夫譯 昭和一三
 有閑隨筆 支、林語堂著 永井直二譯 昭和一三

〇四三 日本人雜書

日本論 支、高天化著 安藤文郎譯 昭和一三
 〇四五 歐米人隨筆・雜書
 知性と感性 岡、ステファン・ツワイタ著 青柳瑠璃譯 昭和一三
 パスカール小品集 パスカール著 由木康譯 昭和一三

〇四五 歐米人隨筆・雜書

知性と感性 岡、ステファン・ツワイタ著 青柳瑠璃譯 昭和一三
 パスカール小品集 パスカール著 由木康譯 昭和一三

〇五〇 雜 誌

花月新誌 第一號—第五號 磯部節編 明治一〇
京華春報 第一號—第四號 服部誠一郎編 明治三三

〇六〇 新 聞

萬國新聞 第四號 (七枚) 明治四四

新開明治編年史 中山善昌編 昭和一一

第二卷 北清事變期(明治三三年—三五年)
第三卷 日露戰爭期(明治三六年—三八年)
第四卷 歐戰爆發期(明治三九年—四一年)
第五卷 日韓合併期(明治四二年—四五年)
第六卷 索引(完結)

〇七〇 郷土志料

怡土郡王丸邑古今謂附 寫本(七枚)

浮羽郡案内 福岡縣存羽郡役所編 大正四
(一五〇頁)

郷土研究 「我等が郷土の史蹟」 森貝次郎
友枝古代郷に就いて(二三頁)
博多郷史蹟と傳説 長久石井卓一共編 昭和一一
綜合福岡縣地誌 金尾宗平 昭和一二
(二九九頁)

筑前舊跡記 寫本(五八枚) 寛政五

筑前國早鑑舊跡記 寫本(八三枚) 寶永年中

筑前國宗像郡記實錄 寫本(三五枚)

冊 分類 番號

唐館始末録 寫本(七枚) 天保六
福岡縣郷土史誌 上巻 (一四四頁) 明治三四
福岡縣職員録 昭和一三年 福岡縣地務部地務課編
福岡市郷土寫眞帖 福岡市教育會編 昭和一一
若松市史 同市役所編 昭和一一

冊 分類 番號

第一章 若松附近に於ける考古學上の遺蹟
第二章 上古史
第三章 武家時代の藤生氏(鎌倉時代より秀吉統一まで)
第四章 黒田氏治世 第五章 抄井家記録
第六章 三好家記録 第七章 妙興寺及常願寺過去帳
第八章 幕末に於ける若松地方
第九章 廢藩置縣の當初 第十章 神社佛閣
第十一章 名所舊蹟 第十二章 俗語俚史 第十三章 人物
後編
第一章 地誌 第二章 交通運輸通信
第三章 商業 第四章 工業
第五章 農業水産 第六章 金融機關
第七章 衛生 第八章 醫藥 第九章 教育
第十章 行政 第十一章 社會施設

冊 分類 番號

〇七一 哲學、宗教
福岡縣八女郡里野村 今村和方 昭和六
麻生池神社及耶蘇歌集 (二〇枚)
高良神社祭神考證 同神社編 明治三六
聖福真觀 小島文雄 大正元
元寇日蓮銅像誌 小野學堂編 明治三七 增補三版
宗像郡本木村妖怪談 寫本(三四枚)

〇七二 教 育

加除現行福岡縣學令類纂 編 福岡縣學務課編 昭和一三
八縣縣所和漢洋増加圖書目錄 安永漢平編 昭和一一
第二卷 昭和一〇、一一、一二、一三

〇七三 文學、語學

當性拾句 附、俳諧點取 寫本 (一九枚)

佛連のかほり 乾 筑紫風流堂講中(二九枚)

福岡縣郷土民話集 卷一 子守唄 梅村新一編 昭和七
宗像郡六權現奉納發句 藤野燕子
津丸邑(一七〇枚)

〇七四 傳記及各家著述

安南立國遺蹟西創大佐傳 寫本(七五枚)
安南立國遺蹟五平五十之巻

益軒先生行狀 寫本(一一枚)

益軒養生訓の現代性 島田徹心 昭和七
(三七二頁)

小笠の光 横井忠直 大正三

貝原益軒修養訓 貝原益軒著 町田源太郎(柳塘)譯 大正二
巻續全編 (二〇四枚)

巨人頭山滿翁 藤本尚則 大正一一
(八九〇頁)

來島恒喜 的野平介監修 大正二
(二九八頁)

黒田御家御重寶實 寫本(三六枚)

黒田家賜拜刀之記 寫本(八〇枚)

黒田記略 寫本(八〇枚)

冊 分類 番號

黒田如水 福本誠(日南) 明治四四 三版
警官陶治篇 松井茂久著 香月忠經譯 明治二四 再版
後藤又兵衛軍導記 寫本(二七枚)
小早川隆景傳 穴戸俊綱 明治三〇
秀 影 「伊藤秀三郎傳」 有吉豊彦編 昭和一一
女 誠 寫本 (二四枚) 天保六年三月村泰輔寫
新撰女子普通文 松本也(雅文)編 明治一八
石城遺聞 山崎藤四郎編 明治三六 増補再版
石城志 寫本 津田元福校定 津田元福編
第一、二巻 地理考上・下
第三、四巻 神社考 佛寺考
第五、六巻 佛寺考下 歲時考
第七、八巻 土產考上・下
第九、一〇巻 人事考上・中
第二、三巻 人事考下 雜著

冊 分類 番號

石梁先生一百年祭祭文 筑後史談會編 昭和一一
附、津島源次先生遺稿
雪洞詩鈔 大野健夫吉士(雪洞)
田中近江大掾 武藏直治編 昭和六
筑前國孝子良民傳 鶴岡上 (五九枚)
筑前國人物志料 卷一 伊東尾四郎編
改正中等科書學本 星野彦三郎・大田保一郎共編 明治一五
長政公御遺言記 寫本(一二枚)
日新富樓詩鈔 上・下寫本 (石門先生著 浦地徳藏校閱
(四六枚) 一瀬子鶴校閱

日本地誌略 上・中・下 三編 久留米東京博文社發行 (一五九頁)

野田大塊翁逸傳 石田秀人 昭和二 (三六七頁)

平野國臣 宮部力次(天民) 明治二九 (一六二頁) (偉人史叢第五卷)

平野國臣遺稿 平野國臣編輯 大正五 (二七八頁)

平野國臣傳記及遺稿 平野國臣編輯 大正五 (五八四頁)

福岡縣殉職警察官彰功錄 警察協會福岡支部編輯 昭和一一 (一二二頁)

文明田舎問答 松田敏足 明治一一 (三六枚)

碧蹄館大戦記 渡邊村男(波川) 大正一一 (二七〇頁)

星野家譜 上・中・下 筑後(生業) 内領主 今村和方發行 筑前(上座・下座) 明治四一(一五)

新編 益田素平翁 福岡縣内務部編輯 大正一五 (二八頁)

山座公使 長谷川健 昭和一一 (二四〇頁)

楊心大和流柔術活圖解書 武田藤吉 昭和九 (上・中・下 具原寛信(益軒) 賣水七 倭主禮草 末永茂世著 湯淺俊太郎編 明治四一 (二二三頁)

〇七五 法制、經濟、統計、社會

第二區 興堂町中地券帳町内控 喜本(一五枚)

九州財閥の新研究 松下傳吉 昭和一一 (三三三頁)

早良郡西新町是 西新町役場編輯 明治四〇 (六四枚)

筑紫化蝶會諸國大集 江藤正澄 藤崎清太郎共編 明治三三—大正三 (一八三頁)

福岡縣自治民政資料 福岡縣編輯 大正四 (一八三頁)

福岡縣會沿革誌 福岡縣編輯 昭和二 (六〇枚)

八幡市勢要覽 八幡市役所編輯 昭和二 (二二五頁)

〇七六 理學、醫學

福岡氣象年報 第四五年 明治二三—昭和一一 福岡縣編輯 (二二頁) 昭和二

〇七七 工學、兵事

福岡縣山麓區一覽 昭和一三、七、一現在 同編輯 昭和一三 (二四頁)

八女郡水害誌 八女郡役所編輯 大正一四 (二九一頁)

〇七九 產 業

九州乃古陶 金原重一郎著 昭和一一 (二二頁) 昭和一一

清酒釀造見聞錄 福岡縣役場編輯 明治二三 (二七枚)

第十七國立銀行 明治一九年上半季 同銀行編輯 明治一九 (七九頁)

淡水養魚の手引 福岡縣水産試驗場編輯 大正一四 (七九頁)

特有農産物調査 福岡縣立農事試驗場編輯 明治四三 (二二七頁)

西日本産業要覽 福岡日日新聞社編輯 昭和一一 (三〇一頁)

福岡縣夏秋蠶統計書 昭和一二 福岡縣統計課編輯 昭和一二 (一七頁) 昭和一三

第二十福岡縣勸業年報 明治三十六年分 福岡縣内務部編輯 第四課編 (五五五頁) 明治三八

福岡縣水産試驗場事業報告 昭和一二年度 同場編輯 昭和一三 (二九四頁)

福岡縣の圖藝 日本國藝會福岡縣支會編 大正四 (三八六頁)

福岡市商工人名錄 吉富増太郎編 昭和一一 改訂八版 (三三四頁)

〇九〇 繪 字 類

〇九一 地 圖

見伊勢國繪圖 文政一三 冊 分類 番號 一〇七九—二

長崎縣管内全圖 長崎縣地理係編 冊 分類 番號 一〇九一—三

伊豆七島全圖 附、無人島八十餘圖 阿部喜任外二校訂 冊 分類 番號 一〇九二—一

〇九二 繪 圖

吉水神社緣由略記並賣物目錄 小野源三編 松川半山畫 冊 分類 番號 一〇九二—一

100 哲學

- 新しき生の形式 (三〇九頁) 岡、バウル・ガスト著 陶山新譯 昭和一二
- イタリヤ哲學の主流 (二八六頁) 青木原 昭和一三
- 恩の形而上學 (三五二頁) 森 信三 昭和一三
- カントの目的論 岡、アウグスト・レムタア著 昭和一二
- 現代哲學とフアツシズム 秋澤修一 昭和一二
- 自然と人生の哲學 青木原 昭和一二
- ベルグ思想と動くもの (三五六頁) 佛、H.ベルグソン著 吉岡修一郎譯 昭和一三
- 人生觀學 (二五五頁) 大江精志郎 昭和一三
- 新哲學大綱 (三三九頁) 佐藤慶二 昭和一三
- 生命辯證法講義 (六一二頁) 岩永芳男 昭和一三
- 知と行 (五〇二頁) 紀平正美 昭和一三
- テアイトロス 希、アラトーン著 田中亮譯註 昭和一三
- 哲學 (二二三頁) 三田哲學會編 昭和一三
- 第一九編
- 能談論に於ける超越の問題(山本万二郎)
- 實質的價值論學に於ける價值客觀主義の限界(宮崎友愛)
- 大乘起信論の論理(山本秀夫)
- 分科面知照に關する一實踐的研究(中河原通之)
- 哲學思想十七講 風田英一 昭和一三
- 哲學者の言葉 希羅の巻 (三八二頁) 遠水敏二・飯田健男共編 昭和一三
- 哲學的人間學 (三八三頁) 高山岩男 昭和一三

冊 分類 巻號

- 100-183
- 100-184
- 100-185
- 100-186
- 100-187
- 100-188
- 100-189
- 100-190
- 100-191
- 100-192
- 100-193
- 100-194
- 100-195
- 100-196
- 100-197

哲學と經濟

- 哲學讀本 (二八八頁) 齊藤明 昭和一三
- トーマス・ヒル・グリーンの思想體系 (七八三頁) 河合榮治郎 昭和一三
- 特殊哲學 桑本兼實 金子馬治監修 昭和一二
- 生哲學の輪廓(藤部謙造)
- 倫理學(新開長英)
- 宗教哲學(大島豊)
- 美學(大西 昇)
- 現代心理學の動向(佐久間節)
- 現象學(大岡將一)
- 行動主義の哲學(武田良三)
- 哲學的經驗論(植田清次)
- 佛敎哲學(山口論助)
- 現代科學經驗論(福川藤右衛門)
- 老莊哲學(福井廣順)
- 孔孟哲學(出石誠彦)
- 神道思想(清原貞康)
- 日本佛敎(室澤謙成)
- ニイチエの人生哲學 伊藤吉郎編 昭和一三 再版
- 日本精神の哲學的解釋 高階昭治 昭和一三 三版
- 認識論 高橋里美 昭和一三
- プラトン講話 桑本兼實 昭和一三
- ヘーゲル哲學物語 松原寛 昭和一三 三二版
- 歴史哲學研究 山良哲次 昭和一二
- 101 叢書
- 西哲學叢書 弘文堂發行 昭和一三
- 第二卷 ライブニツツ(下村寅太郎)
- 第二卷 フォンネルト(泉井久之助)
- 日本哲學全書 國學館 三枝博實編 昭和一三
- 102 史 傳

冊 分類 巻號

- 100-198
- 100-199
- 100-200
- 100-201
- 100-202
- 100-203
- 100-204
- 100-205
- 100-206
- 100-207
- 100-208
- 100-209
- 100-210
- 100-211
- 100-212
- 100-213

103 論說、雜書

- 印度古代精神史 (金谷國照 昭和一二)
- 日本哲學思想史 (永田廣志 昭和一三)
- アジア民族の中心思想 高橋順次郎 昭和一三
- 支那、日本書、印度書
- 懷疑・知識・信仰 岡、フイヒテ著 陶山新譯 昭和一二
- 科學的的人生觀 江原小彌太 昭和一三
- 神・人・動物 中津誠一 昭和一三
- 孝道序論 佐藤助次 昭和一二
- 死生觀と死の實相 島形聖 昭和一三
- 生活の歡び 自然順應の生活 (二七三頁) 昭和一三
- 人格と人類性 和辻哲郎 昭和一三
- 人生論・宗教論・人間論 土田香村 昭和一三
- 新日本主義と歴史哲學 廣子木貞信 昭和七
- 生活の發見 廣共 支、林語堂著 阪本勝譯 昭和一三
- 精神力といふもの 内山孝一 昭和一二
- 生命力といふもの 内山孝一 昭和一二
- 哲學及び宗教と其歴史 石原謙編 昭和一三
- 第一節 哲學史(松村克己外八名)
- 第二節 宗教史(松村克己外八名)
- 第三節 哲學史及び宗教史(松村克己外八名)

冊 分類 巻號

- 103-1
- 103-2
- 103-3
- 103-4
- 103-5
- 103-6
- 103-7
- 103-8
- 103-9
- 103-10
- 103-11
- 103-12
- 103-13
- 103-14
- 103-15
- 103-16
- 103-17
- 103-18
- 103-19
- 103-20
- 103-21
- 103-22
- 103-23
- 103-24
- 103-25
- 103-26
- 103-27
- 103-28
- 103-29
- 103-30
- 103-31
- 103-32
- 103-33
- 103-34
- 103-35
- 103-36
- 103-37
- 103-38
- 103-39
- 103-40
- 103-41
- 103-42
- 103-43
- 103-44
- 103-45
- 103-46
- 103-47
- 103-48
- 103-49
- 103-50
- 103-51
- 103-52
- 103-53
- 103-54
- 103-55
- 103-56
- 103-57
- 103-58
- 103-59
- 103-60
- 103-61
- 103-62
- 103-63
- 103-64
- 103-65
- 103-66
- 103-67
- 103-68
- 103-69
- 103-70
- 103-71
- 103-72
- 103-73
- 103-74
- 103-75
- 103-76
- 103-77
- 103-78
- 103-79
- 103-80
- 103-81
- 103-82
- 103-83
- 103-84
- 103-85
- 103-86
- 103-87
- 103-88
- 103-89
- 103-90
- 103-91
- 103-92
- 103-93
- 103-94
- 103-95
- 103-96
- 103-97
- 103-98
- 103-99
- 103-100

110 心理學

- 哲學者氣質 加藤義之 昭和一三
- 哲學的斷片・後書 キェルケゴール著 龜岡英一譯 昭和一三
- 二十世紀の神話 岡、ロゼンベルグ著 九川仁夫譯 昭和一二
- 二十世紀の神話 岡、ロゼンベルグ著 九川仁夫譯 昭和一二
- 人間喜劇 米、J. H. ロビンソン著 大久保康譯 昭和一三
- バスカル冥想錄 佛、バスカル著 山本廣譯 昭和一三
- 人と人との間 安藤孝次郎 昭和一三
- 110 心理學
- 一茶の精神分析 宮田茂子 大槻憲二 昭和一三
- 現代心理學觀 崎崎淡太郎 昭和一三
- 高等商工心理學 高階昭治 昭和一三
- 青年心理學 青木誠四郎 昭和一三
- 續勸の研究 黒田亮 昭和一三
- 拿破侖性格論 土井林吉(曉翠) 明治四一
- ナポレオンの精神分析 岡、ルードキヒ・イムケル著
- 發達心理學 武政太郎 昭和一三
- 114 雜書
- 迷信の解剖 日野九思 昭和一三

冊 分類 巻號

- 110-1
- 110-2
- 110-3
- 110-4
- 110-5
- 110-6
- 110-7
- 110-8
- 110-9
- 110-10
- 110-11
- 110-12
- 110-13
- 110-14
- 110-15
- 110-16
- 110-17
- 110-18
- 110-19
- 110-20
- 110-21
- 110-22
- 110-23
- 110-24
- 110-25
- 110-26
- 110-27
- 110-28
- 110-29
- 110-30
- 110-31
- 110-32
- 110-33
- 110-34
- 110-35
- 110-36
- 110-37
- 110-38
- 110-39
- 110-40
- 110-41
- 110-42
- 110-43
- 110-44
- 110-45
- 110-46
- 110-47
- 110-48
- 110-49
- 110-50
- 110-51
- 110-52
- 110-53
- 110-54
- 110-55
- 110-56
- 110-57
- 110-58
- 110-59
- 110-60
- 110-61
- 110-62
- 110-63
- 110-64
- 110-65
- 110-66
- 110-67
- 110-68
- 110-69
- 110-70
- 110-71
- 110-72
- 110-73
- 110-74
- 110-75
- 110-76
- 110-77
- 110-78
- 110-79
- 110-80
- 110-81
- 110-82
- 110-83
- 110-84
- 110-85
- 110-86
- 110-87
- 110-88
- 110-89
- 110-90
- 110-91
- 110-92
- 110-93
- 110-94
- 110-95
- 110-96
- 110-97
- 110-98
- 110-99
- 110-100

1100 倫理學

- 道德社會學 (佛・レヴィ・ブリエール著 藤谷在登譯) (二九九頁) 昭和一四
- 道德哲學 (馬恩文著 昭和一三) (二九九頁)
- 倫理學概論表解 (平塚北堂 昭和一三 四版) (三〇七頁)
- 1111 史 傳
 - 日本倫理思想の系統 (浦水茂助 昭和一〇 一三版) (三八四頁)
- 1112 修身及教訓、事蹟
 - 皇道と德育 (長原 廣 昭和一三) (五二四頁)
 - 國體講話 (今泉定助 昭和一三) (二四〇頁)
 - 國體講話 (今泉定助 昭和一三) (二四〇頁)
 - 國體の本義 (藤田重雄 昭和一四) (二七七頁)
 - わが國體の本義 (折口信夫外七名著 昭和一三) (三〇八頁)
 - 本國民思想讀本 (折口信夫外七名著 昭和一三) (三〇八頁)
 - 國民精神文化研究 同研究所發行 昭和一二—一三
 - 第五年 私有財產制度の研究(河村只忠)
 - 第六年 復古思想と寛政學の禁(渡邊年應)
 - 第七年 御書文庫所(井上字廣)
 - 第八年 皇道より見たる書經(加藤虎之亮)
 - 第九年 フラウエンスト・イタリアの教育改革(吉田熊次 渡邊誠)
 - 第十年 明治文化の精神的底流(川合貞一)
 - 第十一年 唯心史觀(作田莊一)
 - 文部省改正國民道德の要領及要義 (松田友吉 昭和一二) (四八三頁)
 - 新要目録國民道德の要領及要義 (四八三頁)
 - 皇信仰讀本 (松田友吉 昭和一三) (二九八頁)

- 冊 分類 番號
- 1100—七五
- 1100—七四
- 1100—七三
- 冊 分類 番號
- 1111—一六
- 1112—一五
- 1112—一四
- 1112—一三
- 1112—一二
- 1112—一一
- 1112—一〇
- 1112—〇九
- 1112—〇八
- 1112—〇七
- 1112—〇六
- 1112—〇五
- 1112—〇四
- 1112—〇三
- 1112—〇二
- 1112—〇一
- 1112—〇〇

- 大日本思想史 (平塚北堂 昭和一四) (七三三頁)
- 日本精神と神 (清原芳雄 昭和一三) (二二六頁)
- 日本精神と日本文學 (高木武 昭和一三) (五四〇頁)
- 日本人間學 (藤澤規雄 昭和一三) (三二七頁)
- 日本の孝道 (石井滿 昭和一三) (二〇五頁)
- 日本の全體主義 (小倉隆爾 昭和一三) (二二八頁)
- 日本理想主義 (増田榮 昭和一三) (二七四頁)
- 文檢修身科問題解義 (島島男 富田義雄 昭和一二) (九五九頁)
- 教育勅語漢發關係資料集 第一卷 (國民精神文化研究所編) (六五四頁)
- 學訓と國民 (耳利章三郎 昭和一二) (二八〇頁)
- 大澤會津全書 (松平守領著 大河原臣編輯 昭和一三) (四九二頁)
- 生きて行く道 (如來古 昭和一三 三版) (二二二頁)
- 偉人の言葉 (加藤晴堂 昭和一三) (二〇二頁)
- 教訓一本の藁 (鈴木梅幸 昭和一三 再版) (一九三頁)
- 浮び上る力 (大久保修一 昭和一三) (一九九頁)
- 群を抜く (米・W・ヒルトン著 今井三郎譯 昭和一三) (二四四頁)
- 向上の道 (佐藤義亮 昭和一三) (二五〇頁) (生きる力第二編)

- 冊 分類 番號
- 1113—一五
- 1113—一四
- 1113—一三
- 1113—一二
- 1113—一一
- 1113—一〇
- 1113—〇九
- 1113—〇八
- 1113—〇七
- 1113—〇六
- 1113—〇五
- 1113—〇四
- 1113—〇三
- 1113—〇二
- 1113—〇一
- 1113—〇〇

- 故菜根講話 (加藤晴一郎(唯堂) 昭和一三) (三〇五頁)
- 時局と修養 (加藤晴一郎(唯堂) 昭和一四) (二六四頁)
- 實語教童子教 (一八枚) 安政三
- 自分を築き上げる書 (白仁武 昭和一三) (二七六頁)
- 昭和國民讀本 (藤田重雄(蘇峰) 昭和一四) (三〇六頁)
- 人生のための兵法 (大木謙堂 昭和一三) (三六〇頁)
- 人生問答 (帆足理一郎 昭和一三) (三二二頁)
- 青年教養の書 (小尾純治 昭和一三) (二七六頁)
- 續不惑の人生觀 (本莊可宗 昭和一三) (三二二頁)
- 大願への歩み (蓮沼門三 昭和一三 九版) (三二八頁)
- 大義 (杉本五郎 昭和一三) (二二〇頁)
- 體驗を語る (藤山雪太外三十一名著 福岡益雄編 昭和一三) (三二七頁)
- 體驗人間學 (牧野元次郎 昭和一三) (二五八頁)
- 正しき世渡りの道 (石井滿 昭和一三) (三八〇頁)
- 中心の示す道 (常岡一郎 昭和一三 一〇版) (三八六頁)
- 何でも腹だ (品川義介 昭和一三) (二二二頁)
- 日本人の道と心 (照應皇太后の 伊見岸雄 昭和一三) (四三九頁)
- 伸びゆく青年 (生島謙一 昭和一三) (四三九頁)
- 美談逸話名訓集 (高木義賢編 昭和一四) (四一六頁)
- 誠 (一瀬榮吉 昭和一三 八版) (三七四頁)

- 冊 分類 番號
- 1133—七三
- 1133—七二
- 1133—七一
- 1133—七〇
- 1133—六九
- 1133—六八
- 1133—六七
- 1133—六六
- 1133—六五
- 1133—六四
- 1133—六三
- 1133—六二
- 1133—六一
- 1133—六〇
- 1133—五九
- 1133—五八
- 1133—五七
- 1133—五六
- 1133—五五
- 1133—五四
- 1133—五三
- 1133—五二
- 1133—五一
- 1133—五〇
- 1133—四九
- 1133—四八
- 1133—四七
- 1133—四六
- 1133—四五
- 1133—四四
- 1133—四三
- 1133—四二
- 1133—四一
- 1133—四〇
- 1133—三九
- 1133—三八
- 1133—三七
- 1133—三六
- 1133—三五
- 1133—三四
- 1133—三三
- 1133—三二
- 1133—三一
- 1133—三〇
- 1133—二九
- 1133—二八
- 1133—二七
- 1133—二六
- 1133—二五
- 1133—二四
- 1133—二三
- 1133—二二
- 1133—二一
- 1133—二〇
- 1133—一九
- 1133—一八
- 1133—一七
- 1133—一六
- 1133—一五
- 1133—一四
- 1133—一三
- 1133—一二
- 1133—一一
- 1133—一〇
- 1133—〇九
- 1133—〇八
- 1133—〇七
- 1133—〇六
- 1133—〇五
- 1133—〇四
- 1133—〇三
- 1133—〇二
- 1133—〇一
- 1133—〇〇

- 世渡り體驗談 (根津義一郎 昭和一三) (二四八頁)
- 國倫理御進講草案 (杉浦重剛 昭和一三) (四二四頁)
- 爐邊禪話 (加藤晴一郎(唯堂) 昭和一二) (二七〇頁)
- 若き人々におくる (赤尾好夫 昭和一三) (二二五頁)
- 私の信念と體驗 (水井謙太郎 昭和一三) (三七八頁)
- 偉人の母 (藤高 千葉春村 昭和一三) (三三三頁)
- 孝子德行録 (文部省編 昭和一一) (一七三頁)
- 母を語る (金子堅太郎外二三名著 昭和一三) (三三三頁)
- 1114 武士道
 - 會津精神 (相馬幸忠著 相馬敬止編 昭和一三) (二九二頁)
 - 論語(葉隠) (中村節一編 大正七 三版) (五七六頁)
 - 論語(葉隠) (大木謙堂 昭和一三 五版) (二九六頁)
 - 業隠精神と教育 (廣野素次郎 昭和一三) (二二〇頁)
 - 業隠武士道 (松波治郎 昭和一三) (二〇二頁)
 - 武士訓 第一卷—第五卷 藤龍子長秀 正徳五
- 1115 女 訓
 - 女四書 女内訓上・下 女學綱上・下 明曆二
 - 女性の勝利 (村上瑞勝 昭和一三) (二六〇頁)

- 冊 分類 番號
- 1133—四七
- 1133—四六
- 1133—四五
- 1133—四四
- 1133—四三
- 1133—四二
- 1133—四一
- 1133—四〇
- 1133—三九
- 1133—三八
- 1133—三七
- 1133—三六
- 1133—三五
- 1133—三四
- 1133—三三
- 1133—三二
- 1133—三一
- 1133—三〇
- 1133—二九
- 1133—二八
- 1133—二七
- 1133—二六
- 1133—二五
- 1133—二四
- 1133—二三
- 1133—二二
- 1133—二一
- 1133—二〇
- 1133—一九
- 1133—一八
- 1133—一七
- 1133—一六
- 1133—一五
- 1133—一四
- 1133—一三
- 1133—一二
- 1133—一一
- 1133—一〇
- 1133—〇九
- 1133—〇八
- 1133—〇七
- 1133—〇六
- 1133—〇五
- 1133—〇四
- 1133—〇三
- 1133—〇二
- 1133—〇一
- 1133—〇〇

- 日本女性の理想 小原國芳 昭和一二 (二四二頁)
- 日本の母 徳水善美子 昭和一二 (二八二頁)
- 日本婦人の書 岡田怡川編 昭和一二 (四二〇頁)
- 母性讀本 下田次郎 昭和一二 (二八六頁)
- 一四三 經 書
 - 四書大學論語解義 岩部徳 澤谷賢太郎 昭和一二 (六三八頁)
 - 忠孝一本の精神 足立東園 昭和一二 (四六六頁)
 - 入官第一義 塚田多門虎 (五四頁)
 - 毛詩品物圖攷 卷一神部 同 公義編 天明四 (三四七頁)
 - 論語物語 下村湖人 昭和一二 (三六七頁)
- 一四四 儒 書
 - 本を移めよ 講稿次 昭和一二 (一七〇頁)
 - 陽明學研究 木村秀吉編 昭和一二 (六四二頁)
- 一四六 日本儒書
 - 弘道館記述義 寫本 藤田(東湖) (六四枚)
 - 水戸學再認識 西村文則 昭和一二 (二二六頁)
 - 水戸學讀本 大内地山 昭和一二 (一七二頁)
- 一四七 日本儒家史傳
 - 淺見淵齋の研究 大久保勇市 昭和一二 (三一九頁)
- 一四八 術 數
 - 相性の問題 和泉英助 昭和一二 (二〇四頁)
 - 易學發秘 「實占錄」 加藤大岳編 昭和一二 (二〇五頁)
 - 顔は性格と運命を語る 石龍子 昭和一二 (二五三頁)
- 一四二 史 傳
 - 王道講話 佐藤實達 中野江漢編 昭和一二 (三三四頁)
 - 孔子傳 遠藤隆吉 明治四三 (三三六頁)
 - 瀋陽學堂 儒道大會誌 瀋陽甲子三編 昭和一二 (四八五頁)
- 一四一 支那哲學
 - 二宮尊徳 尊徳逸話・教訓要覽 吉地昌一 昭和一二 (三八九頁)
 - 新撰集 尊徳逸話 瀋山信一郎 昭和一二 (三〇四頁)
 - 日本精神と新興報徳 瀋山信一郎 昭和一二 (三〇四頁)
- 一三七 報徳 教
 - 模範禮式と作法 山口和喜子 昭和一二 (二八二頁)
 - 正しい禮儀と挨拶 飯田豊治 昭和一二 (一九八頁)
 - 現圖解禮儀作法 土尾喜多尾 昭和一二 (三八〇頁)
- 現代の新作法 浦守謙齊 昭和一二 (三六一頁)
- 接客讀本 金九直利 昭和一二 (二四八頁)

- 一四八—一六〇 分類 書
- 一四九—一五〇 分類 書
- 一五〇—一五二 分類 書
- 一五二—一五三 分類 書
- 一五三—一五五 分類 書
- 一五五—一五七 分類 書
- 一五七—一五九 分類 書
- 一五九—一六一 分類 書
- 一六一—一六三 分類 書
- 一六三—一六五 分類 書
- 一六五—一六七 分類 書
- 一六七—一六九 分類 書
- 一六九—一七一 分類 書
- 一七一—一七三 分類 書
- 一七三—一七五 分類 書
- 一七五—一七七 分類 書
- 一七七—一七九 分類 書
- 一七九—一八一 分類 書
- 一八一—一八三 分類 書
- 一八三—一八五 分類 書
- 一八五—一八七 分類 書
- 一八七—一八九 分類 書
- 一八九—一九一 分類 書
- 一九一—一九三 分類 書
- 一九三—一九五 分類 書
- 一九五—一九七 分類 書
- 一九七—一九九 分類 書
- 一九九—二〇一 分類 書
- 二〇一—二〇三 分類 書
- 二〇三—二〇五 分類 書
- 二〇五—二〇七 分類 書
- 二〇七—二〇九 分類 書
- 二〇九—二一一 分類 書
- 二一一—二一三 分類 書
- 二一三—二一五 分類 書
- 二一五—二一七 分類 書
- 二一七—二一九 分類 書
- 二一九—二二一 分類 書
- 二二一—二二三 分類 書
- 二二三—二二五 分類 書
- 二二五—二二七 分類 書
- 二二七—二二九 分類 書
- 二二九—二三一 分類 書
- 二三一—二三三 分類 書
- 二三三—二三五 分類 書
- 二三五—二三七 分類 書
- 二三七—二三九 分類 書
- 二三九—二四一 分類 書
- 二四一—二四三 分類 書
- 二四三—二四五 分類 書
- 二四五—二四七 分類 書
- 二四七—二四九 分類 書
- 二四九—二五一 分類 書
- 二五一—二五三 分類 書
- 二五三—二五五 分類 書
- 二五五—二五七 分類 書
- 二五七—二五九 分類 書
- 二五九—二六一 分類 書
- 二六一—二六三 分類 書
- 二六三—二六五 分類 書
- 二六五—二六七 分類 書
- 二六七—二六九 分類 書
- 二六九—二七一 分類 書
- 二七一—二七三 分類 書
- 二七三—二七五 分類 書
- 二七五—二七七 分類 書
- 二七七—二七九 分類 書
- 二七九—二八一 分類 書
- 二八一—二八三 分類 書
- 二八三—二八五 分類 書
- 二八五—二八七 分類 書
- 二八七—二八九 分類 書
- 二八九—二九一 分類 書
- 二九一—二九三 分類 書
- 二九三—二九五 分類 書
- 二九五—二九七 分類 書
- 二九七—二九九 分類 書
- 二九九—三〇一 分類 書
- 三〇一—三〇三 分類 書
- 三〇三—三〇五 分類 書
- 三〇五—三〇七 分類 書
- 三〇七—三〇九 分類 書
- 三〇九—三一〇 分類 書

- 手掌の生理と心理 平竹辰 昭和一二 (三三九頁)
- 年家中元圖 (三〇枚)
- 一五〇 宗 教
 - 定清澤滿之文集 稻妻昌九 安藤州一共編 昭和一二 (三五〇頁)
 - 宗教社會學 古野清人 昭和一二 (四〇六頁)
 - 宗教の教養 富士川勝 昭和一二 (八九九頁)
 - 一五一 史 傳
 - 日本宗教制度史の研究 野田武 昭和一二 (二九七頁)
 - 一五二 神 話
 - 神話支那五千年 松村武雄 昭和一二 (三八五頁)
 - 神話支那五千年 高木敏雄編 明治四四 (三三八頁)
 - 一五三 雜 書
 - 信仰聖話大集 東京真宗學會編 昭和一二 (三版)
 - 第一卷 信仰篇 第二卷 信仰篇 第三卷 修業篇
 - 第四卷 生活篇 第五卷 教育篇 第六卷 趣味篇
 - 第七卷 問答篇 第八卷 傳承篇 第九卷 索引
 - 人生必ず勝つ 各口進春 昭和一二 (四五〇頁)
 - 我が信心のあゆみ 湯川茂編 昭和一二 (二三三頁)
 - 一六〇 神書、神道
 - 古神道秘説 友清敬賢 昭和一二 (二七六頁)
 - 神道精義 加藤玄智 昭和一二 (四〇八頁)
 - 神道の話 小倉隆爾 昭和一二 (三三八頁)
 - 大日本者神國也 丸山正彦 明治四五 再版
 - 日本信仰 「記」に現れた 日本人の神觀 (加藤一夫 昭和一二 (三三六頁))
 - 十九世紀に於ける最も偉大な日本人の事業 廣池千九郎 大正四 再版
 - 天理教の本義 久野豊彦 昭和一二 (二二三頁)
 - 一六七 祭儀、祝詞、祝
 - 大祓講義 今泉定助著 大倉邦彦編 昭和一二 (一五六頁)

- 一四八—一六〇 分類 書
- 一四九—一五〇 分類 書
- 一五〇—一五二 分類 書
- 一五二—一五三 分類 書
- 一五三—一五五 分類 書
- 一五五—一五七 分類 書
- 一五七—一五九 分類 書
- 一五九—一六一 分類 書
- 一六一—一六三 分類 書
- 一六三—一六五 分類 書
- 一六五—一六七 分類 書
- 一六七—一六九 分類 書
- 一六九—一七一 分類 書
- 一七一—一七三 分類 書
- 一七三—一七五 分類 書
- 一七五—一七七 分類 書
- 一七七—一七九 分類 書
- 一七九—一八一 分類 書
- 一八一—一八三 分類 書
- 一八三—一八五 分類 書
- 一八五—一八七 分類 書
- 一八七—一八九 分類 書
- 一八九—一九一 分類 書
- 一九一—一九三 分類 書
- 一九三—一九五 分類 書
- 一九五—一九七 分類 書
- 一九七—一九九 分類 書
- 一九九—二〇一 分類 書
- 二〇一—二〇三 分類 書
- 二〇三—二〇五 分類 書
- 二〇五—二〇七 分類 書
- 二〇七—二〇九 分類 書
- 二〇九—二一一 分類 書
- 二一一—二一三 分類 書
- 二一三—二一五 分類 書
- 二一五—二一七 分類 書
- 二一七—二一九 分類 書
- 二一九—二二一 分類 書
- 二二一—二二三 分類 書
- 二二三—二二五 分類 書
- 二二五—二二七 分類 書
- 二二七—二二九 分類 書
- 二二九—二三一 分類 書
- 二三一—二三三 分類 書
- 二三三—二三五 分類 書
- 二三五—二三七 分類 書
- 二三七—二三九 分類 書
- 二三九—二四一 分類 書
- 二四一—二四三 分類 書
- 二四三—二四五 分類 書
- 二四五—二四七 分類 書
- 二四七—二四九 分類 書
- 二四九—二五一 分類 書
- 二五一—二五三 分類 書
- 二五三—二五五 分類 書
- 二五五—二五七 分類 書
- 二五七—二五九 分類 書
- 二五九—二六一 分類 書
- 二六一—二六三 分類 書
- 二六三—二六五 分類 書
- 二六五—二六七 分類 書
- 二六七—二六九 分類 書
- 二六九—二七一 分類 書
- 二七一—二七三 分類 書
- 二七三—二七五 分類 書
- 二七五—二七七 分類 書
- 二七七—二七九 分類 書
- 二七九—二八一 分類 書
- 二八一—二八三 分類 書
- 二八三—二八五 分類 書
- 二八五—二八七 分類 書
- 二八七—二八九 分類 書
- 二八九—二九一 分類 書
- 二九一—二九三 分類 書
- 二九三—二九五 分類 書
- 二九五—二九七 分類 書
- 二九七—二九九 分類 書
- 二九九—三〇一 分類 書
- 三〇一—三〇三 分類 書
- 三〇三—三〇五 分類 書
- 三〇五—三〇七 分類 書
- 三〇七—三〇九 分類 書
- 三〇九—三一〇 分類 書

日本流神秘 寫本 (一〇枚)
祝詞作文の第一歩 (二六頁) 昭和二三

一七〇 佛 教

解脱への道 木村義賢 昭和二三
同 (四四二頁)
思想と信仰 續篇 島地大等 昭和二三
指導原理としての佛教學 平井 義 昭和二三
支那佛敎の研究 常盤大定 昭和二三
生命學と佛敎 菅野孝淳 昭和二三
佛敎思想物語 附谷文雄 昭和二三
佛敎の見方考へ方教へ方 高橋順太郎 昭和二三
佛法と世法 高橋末時 昭和二三
一七一 事 彙
佛の降誕を佛敎大年表 重田助太郎 昭和二三
紀元と爲る佛敎大年表 (三〇〇頁)

一七二 史 傳

日本佛敎史研究 藤原鶴雪 昭和二三
日本佛敎文化史研究 菅尾隆慶 昭和二三
佛敎傳道史 小松雄道 昭和二三

一〇一七—一〇二〇

冊 分類 書號

一〇一七—一〇一八
一〇一七—一〇一九
一〇一七—一〇二〇
一〇一七—一〇二一
一〇一七—一〇二二
一〇一七—一〇二三
一〇一七—一〇二四
一〇一七—一〇二五
一〇一七—一〇二六
一〇一七—一〇二七
一〇一七—一〇二八
一〇一七—一〇二九
一〇一七—一〇三〇

一七四 寺院、緣起

國分寺の研究 角田文衛編 昭和二三
上巻
第一編 國分寺概観
國分寺の設置(角田文衛)
國分寺の創設と東大寺の草創(喜田貞吉)
國分・國分寺關係の神話(太田亮)
國分寺の塔(上田三平)
國分寺の寺院組織(角田文衛) 國分寺の衰頹(魚尾惣五郎)
第二編 東大寺及び法華寺の研究
東大寺の規模(龜山敏男)
東大寺の伊賀國黒田庄(清水三男)
正倉院と萬葉集(佐々木信綱)
三月堂建築をめぐる美術史上の問題(長廣敏雄)
大和法華寺の沿革(藤谷俊雄)
第三編 國分寺各説
第一章 藤 内(佐藤小吉外二名)
第二章 東海道(村治剛次郎外八名)
第三章 東山道(柴田實外八名)
第四章 北陸道(齊藤勇外五名)
第五章 山陽道(八木茂美外四名)
第六章 山陽道(栗山一夫外四名)
第七章 南海道(伊藤只人外五名)
第八章 西海道(鏡山猛外一名)
第四編 餘論
國分寺に關する一見(梅原末治)
奈良時代の建築(古村孝義)
國分寺と所傳の佛敎政策並びに官寺(塚本善隆)
國分寺研究史(角田文衛)
附載 藤原國分寺文書(角田文衛)
下巻
第三編 國分寺各説
第四章 北陸道(齊藤勇外五名)
第五章 山陽道(八木茂美外五名)
第六章 山陽道(栗山一夫外四名)
第七章 南海道(伊藤只人外五名)
第八章 西海道(鏡山猛外一名)
第四編 餘論(上巻第四編と同じ)

冊 分類 書號

一〇一七—一〇二〇
一〇一七—一〇二一
一〇一七—一〇二二
一〇一七—一〇二三
一〇一七—一〇二四
一〇一七—一〇二五
一〇一七—一〇二六
一〇一七—一〇二七
一〇一七—一〇二八
一〇一七—一〇二九
一〇一七—一〇三〇

支那の山寺 從藤朝太郎 昭和二三
支那佛敎史蹟踏査記 常盤大定 昭和二三
大佛及大佛殿史 菅尾隆慶 平岡明海 大正四
成田山史 小島照本編 昭和二三
南都十大寺大體跡日次 大塚慈嗣 昭和二三
南都七大寺大體所在別索引 (三五七頁)
山口縣寺院沿革史 可兒茂公編 昭和八

一七六 諸宗經典、論說疏釋

解説 大日本 重田助太郎(象巖) 昭和二三
觀音生活を語る 清水谷善照 昭和二三
敎行信證講義 山邊智學 赤沼智善 昭和二三
三願轉入の論理 紀平正美 昭和九 增訂 八版
信心銘講義 江部鳴村 昭和一二
清談金剛經 高增瑞仙 昭和二三
南傳大藏經 高橋博士功績記念會編 昭和二三
第二卷 律藏二(上天天瑞譯)
第三卷 律藏三大品一(渡邊照宏譯)
第四卷 上中部經典三(青原慶成譯)
第五卷 增支部經典四(藤原雪舟 土田野彌譯)
第六卷 小部經典一(宮田愛道外三名譯)
第七卷 同 四(高田修譯)
第八卷 同 一三本生經八(高田修外四名共譯)
第九卷 同 一五本生經一〇(高田修譯)
第十卷 同 一六(高田修譯)
第十一卷 同 一六(高田修譯)
第十二卷 同 一六(高田修譯)

一七七 佛敎諸宗派、各宗全集

御正忌御文高顯錄 栗津義生 昭和二三
坐禪讀本 太田謙讓 昭和二三
淨土禪談 澤木興道 昭和二三
淨土敎の現實的開展 梅原眞謙 昭和二三
新時代の日蓮主義 馬田行傳 昭和二三
禪の講座 和田利彦編 昭和二三
第三卷 禪の公案と問答
第六卷 禪と文化
白隠と夜船閑話 野村瑞誠 昭和二三
一七九 雜 書
歸依道 沼波政賢 昭和二三
國體の仰信と佛敎 續津紀三 昭和二三
心の建て直し 小林一郎 昭和二三
日蓮修養十二ヶ月 高橋天海 昭和二三
戰爭と信仰 加藤眞一郎(唯掌) 昭和二三
百坐因縁 大塚敬淳(登英) 昭和二三

冊 分類 書號

一〇一七—一〇二〇
一〇一七—一〇二一
一〇一七—一〇二二
一〇一七—一〇二三
一〇一七—一〇二四
一〇一七—一〇二五
一〇一七—一〇二六
一〇一七—一〇二七
一〇一七—一〇二八
一〇一七—一〇二九
一〇一七—一〇三〇

佛教逸話選集 (同宮英彦 昭和一三) 一〇七九—一六〇
 佛教の死生観 (江部鶴村 昭和一三) 一〇七九—一六〇
一八〇 基督教
 基督教の日本の展開 (比屋根安定 昭和一三) 一〇八〇—一七四
 一八一 事 彙 冊 分類 番號
 四一八—二
 吉利支丹文庫 (比屋根安定編 大正一五—昭和三) 冊 分類 番號
 第二輯 前撰寺興成記他二篇
 第三輯 船原天草日記他四篇
 第四輯 原城紀事六卷上篇
 第五輯 同 二卷下篇
一八二 史 傳 冊 分類 番號
 一〇八二—一六二
 新島襄人生讀本 (同人 昭和一三) 冊 分類 番號
 一八三 基 督 冊 分類 番號
 一〇八三—一三三
 イエス・キリスト傳 (小出正吾 昭和一三) 冊 分類 番號
 一八五 聖典 附、註釋 冊 分類 番號
 一〇八五—一四八
 エルサレムの丘 (小出正吾 昭和一三) 冊 分類 番號
 一八八 論說、雜書 冊 分類 番號
 一〇八八—一八二
 神の思ひ (出陣 昭和一三) 冊 分類 番號
 一〇八八—一八二
 完全生活の菜 (國、トマス・アケムビス著 竹村清譯 昭和一三) 冊 分類 番號
 一〇八八—一八二

一九〇 雜 教
 回教世界と日本 (若林 牛 昭和一三) 冊 分類 番號
 一〇九〇—一七
 回教の動き (佐久間貞治郎 昭和一三) 冊 分類 番號
 一〇九〇—一八

二〇〇 教 育

母と教師 エミール讀本 (寺田彌吉 昭和一三) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 教育國防論 (上田庄三郎 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 教育新想 (藤原勲市 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 教育讀本 (小西重直 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 教育の宗教的反省 (川上清吉 昭和一二) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 教育目的論 (吉田徳次 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 教育論 (佛、アラン著 水野成夫 淺野見共譯 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 現代教育思潮統一の研究 (守内喜一郎 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 現代獨逸の教育 (岡、T.、ケイル、ヘルム、G.、グレンフェル共著 笠谷武二譯 一八八頁) 昭和一一 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 同 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 國民教育諸問題檢討 (佐藤清治郎 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 大地に立つ教育 (上田庄三郎 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 日本教育への反省 (船橋渡太郎 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 日本宗教教育 (關、寛之 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 國體の本誠の教育 (安藤圭助 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
二〇一 叢 書 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 教育學辭典 第三卷スーヒ 城戸橋太郎編 昭和一一 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
二〇二 史 傳 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三

南洋群島教育史 (同島教育會編 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 日本教育史 (海峽宗匠外三名 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 フレーベル自傳 (岡、F.、フレール著 長田新譯 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三

二〇三 古代教育

津市文教史要 (同市教育會 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 日本教育家文庫 (武田勲治編 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 不滅の教育魂 (武田勲治編 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 不滅の士道魂 (武田勲治編 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三

二〇四 教育制度

明治教育制度發達史 (教育史編纂會編 昭和一一) 冊 分類 番號
 一〇〇〇—二七三
 第一章 序論
 第二章 本論
 第三章 上代より徳川時代に至るまでの教育
 第四章 徳川時代の教育
 第五章 明治維新以後「學制」頒布に至るまでの教育
 第六章 「學制」の頒布より明治十二年教育令制定に至るまで
 第七章 明治十二年教育令の制定より明治十九年諸學校令の整頓に至るまで
 第八章 明治十九年諸學校令の整頓より明治二七、八年日清戦役に至るまで
 第九章 明治二七、八年日清戦役より明治三七、八年日露戦役に至るまで

- 綴方教程 百田宗治編 昭和一三 (五一六頁)
- 綴方の書 木村不二男 昭和一三 (四一三頁)
- 讀方教育體系 見文社發行 昭和一三
 - 第三卷 讀方學習の心理(丸山良一)
 - 第四卷 讀本の訓讀法(湯田常吉)
 - 第五卷 讀本の讀法(湯田常吉)
 - 第六卷 讀本の體系的的研究(秋田喜三郎)
 - 第七卷 讀方教育の學年的發展(山中豐太郎)
 - 第八卷 讀方教育の指導問題(山内才治)
 - 第九卷 讀方教育實踐問題(德田進)
- 私の綴方生活 小砂丘忠義 昭和一三 (六七〇頁)

- 應用理科博物資料 大阪博物學會編 昭和一三 (一九三頁)
- 科學日本の理科教育 北川若松 昭和一三 (二九三頁)
- 教育珠算の實踐 八木隆徳 昭和一三 (三五一頁)
- 算術教育體系 見文社發行 昭和一三
 - 第一卷 算術教育の動向(佐藤良一郎)
 - 第二卷 算術教育の實踐原理(高崎厚)
 - 第三卷 算術教育の學年的發展(池內房吉)
 - 第四卷 算術問題の種類と指導(高木佐加枝)
 - 第五卷 算術教育作問の原理と實踐(香取貞藏)
 - 第六卷 算術教育實踐問題(中野泰一)
 - 第七卷 算術教育實踐問題(中野泰一)
 - 第八卷 算術教育實踐問題(中野泰一)
- 十五年自然科指導の實踐記録 栗山重 昭和一三 (五〇〇頁)
- 實驗理科大教授法 堀七藏 昭和一三 (七〇二頁)
- 新興理科教育論 堀井五夫 昭和一三 (二〇六頁)
- 新算術指導精義 池田良雄 昭和一二-一三 (七三三-三四九頁)

- 一。三三三-三六六
- 一。三三三-三七七
- 七。三三三-三七〇
- 一。三三三-三八一
- 一。三三三-三九九
- 一。三三三-三九九
- 一。三三三-三九九
- 一。三三三-三九九

- 比例歩合算の指導 佐藤武 昭和一三 (一九七頁)
- 小物理教材研究 内藤卯三郎 昭和一三 (四〇七頁)
- 理科藥品精義 太田清一 昭和一二 (三五九頁)
- 融合珠算指導要領 常徳市 昭和一四 (一七三頁)
- ヨーロッパに於ける算術教育の觀察 佐藤良一郎 昭和一三 (二五七頁)
- 理科指導書 高一 桑原理助 昭和一三 拙木卯馬
- 挿書を中心とする國史教育 藤小の巻(二二二頁)
- 小學挿繪の解説 及川龜治 昭和一三 (一八六頁)
- 國史の本質と實踐的國史教育 長谷川瑞 昭和一三 (三三二頁)
- 新小學國史の勉強 等六 栗山周 昭和一三 山縣丈夫 昭和一三 (三一〇頁)
- 尋常小學國史挿繪資料に據る解説(三一〇頁)
- 改尋常小學國史教授の實際 上・下 初等教育研究聯盟編 (六九六頁)
- 地理教育原論 佐藤保太郎 昭和一三 (六九六頁)
- 地理教授原論 山本幸雄 昭和一三 (二七七頁)
- 教育書道の理論と實際 石橋啓十郎 昭和一三 (三三三頁)
- 書道教育 各務虎雄 昭和一三 (二〇四頁)

- 裁縫科教授法 成田順 昭和一三 (一九八頁)
- 私の裁縫教育 佐々木由子 昭和一三 (三八〇頁)
- 新講映書教育 野崎泰秀 昭和一三 (一八三頁)
- 二二四 手工教育 大竹慎三 昭和一四 (二〇三頁)
- 構成手工教材と其實踐 伊藤信一郎 昭和一三 (五七八頁)

一三〇 普通教育

- 兒童教育基礎理論 山下徳治 昭和一三 (二二五頁)
- 兒童就學獎勵概況 文部省普通學務局編 昭和一三 (五〇頁)
- 二二一 家庭教育 兒玉九十 昭和一四 (二八八頁)
- 最新家庭教育 今村正一 昭和一四 (四四四頁)
- 子供を母のよみもの 阿野亦彦 加藤武雄 昭和一二 (四三七頁)
- 兩親再教育と子供研究 上村智彌 昭和一三 (二五五頁)
- 二二二 幼稚園 中村五六編 明治二七 (一五四頁)

- 一。三三三-三七三
- 一。三三三-三七三
- 一。三三三-三七三
- 一。三三三-三七三
- 一。三三三-三七三
- 一。三三三-三七三
- 一。三三三-三七三
- 一。三三三-三七三

- 二八二 體育 久本顯吉 昭和一二 (二一九頁)
- 運動會の計畫と新しい遊戲・體操・行進 昭和一二 (二一九頁)

- 幼稚園摘葉 附、普列伯氏略傳 中村五六編 明治二七 (一五四頁)

- 一。三三三-三七三

三〇〇文 學

藝術の思想 (伊藤整 昭和一三) 一〇〇一—一〇〇二

現代文學研究序説 (木枝啓一・横田俊一 昭和一三) 一〇〇三—一〇〇四

創作心理學 (渡野野完治 昭和一三) 一〇〇五—一〇〇六

樋口一葉文學讀本「春夏秋冬」 (同人著 伊藤整編 昭和一三) 一〇〇七—一〇〇八

文學論集 (阿部知二 昭和一三) 一〇〇九—一〇一〇

三〇一 事 業

世界文藝大辭典 第六卷フーツ (吉江壽松編 昭和一三) 一〇一一—一〇一二

三〇四 文學合集、全集

歸郷 (若杉島子 昭和一三) 一〇一三—一〇一四

漱石名作讀本 (夏目漱石著 松岡謙註 昭和一三) 一〇一五—一〇一七

漱石文藝讀本 (夏目漱石著 松岡謙註 昭和一三) 一〇一八—一〇一九

二葉亭四迷全集 (同人(長谷川辰之助) 昭和一三) 一〇二〇—一〇二三

第四卷 翻譯(三) 根無し草、ふきの穂、灰色人、むかしの人、二任人、狂人日記、乞食、志士の末期、娘のミハイロ、愛、血笑記、おひたち、けふり

第六卷 日記・手帳 第八卷 雜著

室生犀星文學讀本 (春夏の巻 同人著 昭和一三) 一〇二四—一〇二六

北條民雄全集 (同人著 川崎康成編 昭和一三) 一〇二七—一〇三五

上巻 いのちの初夜、間水老人、病院受診、吹雪の産屋、痛

三〇五 文學雜集

一途の道 (宇野浩二 昭和一三) 一〇三六—一〇三七

一等兵戦死 (松村益二 昭和一三) 一〇三八—一〇三九

北岸部隊 (林美英子 昭和一四) 一〇四〇—一〇四一

黃塵 (上田寅 昭和一三) 一〇四二—一〇四三

同

作家の手記 (室生犀星 昭和一三) 一〇四四—一〇四五

静の草屋 (島崎藤村 昭和一三) 一〇四六—一〇四七

銃後の土 (丸山眞一 昭和一一) 一〇四八—一〇四九

純情の精神 (古原綱武 昭和一三) 一〇五〇—一〇五一

情熱の論議 (池島重信 昭和一四) 一〇五二—一〇五三

新戦場 (櫻井忠温 昭和一三) 一〇五四—一〇五五

同

征野千里 (谷口勝 昭和一三) 一〇五六—一〇五七

積雪 (瀧井孝作 昭和一三) 一〇五八—一〇五九

世間ばなし (武田麟太郎 昭和一三) 一〇六〇—一〇六一

戦線 (林美英子 昭和一三) 一〇六二—一〇六三

全貌 (一九三八年版 (北原白秋 昭和一三) (白秋年譜第六輯)) 一〇六四—一〇六五

健康教育經營の實際 (武立清 昭和一四) 一〇六六—一〇六七

健康教育の實踐 (木村貞雄 昭和一三) 一〇六八—一〇六九

現代學校體育全集 (成美堂發行 昭和一三) 一〇七〇—一〇七九

女子中等學校高 第三卷 女學校の體操(森秀)

小學校高 第八卷 課外運動の指導(野口源三郎 今村善雄)

劍道教育の實踐 (吉岡治一 昭和一三) 一〇八〇—一〇八一

小學劍道讀本 (高橋豊二 昭和一一) 一〇八二—一〇八三

中等學生劍道讀本 (藤原吉雄 昭和一一) 一〇八四—一〇八五

保健厚生教育の新建設 (北井麟太郎 昭和一三) 一〇八六—一〇八七

體操研究會の新指導 (二八六頁) 昭和一三

各保健體操の理論と實際 (三三三頁) 昭和一三

二八三 遊戯法

愛國舞踊集 (藤原源三 昭和一三) 一〇八八—一〇八九

非常時學藝會資料 (齊田高 昭和一一) 一〇九〇—一〇九一

日本の學藝會資料 (二五五頁) 昭和一一

學校遊戯及脱技 走・跳・投 (野口源三郎 昭和一三) 一〇九二—一〇九三

改正唱歌・行進遊戯 (徳島市富田小學校校務研究部 昭和一三) 一〇九四—一〇九五

要目唱歌 (二九七頁) 昭和一三

二九〇 社會教育

近世日本社會教育史の研究 (石川謙 昭和一三) 一〇九六—一〇九九

現代文化と國民教育 (四、レ、ム、ラ、ン、ガ、イ、著 小塚新一郎譯 昭和一三) 一〇一〇—一〇一五

改訂公民科資料詳解 (本庄辰正 昭和一三) 一〇一六—一〇二〇

公民科の本義 (廣瀬高雄 昭和一四) 一〇二一—一〇二六

同 一〇二七—一〇三〇

社會教育の革新 (國上亮一 昭和一三) 一〇三一—一〇三二

集團勤勞作業教育の實際 (佐藤隆徳 昭和一三) 一〇三三—一〇三四

集團勤勞の本質及方案 (岡田治川 昭和一一) 一〇三五—一〇三六

小學校 集團勤勞作業の理論と實踐 (入澤宗壽 昭和一三) 一〇三七—一〇三八

青年團 成人教育關係講座實施概要 (昭和一一年度 文部省社會教育課) 一〇三九—一〇四〇

青年學校 青年學校 (田中合三 昭和一四) 一〇四一—一〇四二

青年學校及青年教育 (實南太郎 昭和一四) 一〇四三—一〇四四

青年學校教員養成所ニ關スル調査 (東日現在) 一〇四五—一〇四六

青年學校教員養成所ニ關スル調査 (昭和一一) 一〇四七—一〇四八

獨逸青年運動研究 (光行 昭和一一) 一〇四九—一〇五〇

獨逸は起ちあがつた (二九七頁) 昭和一三

ナチスの青年運動 (近藤春雄 昭和一一) 一〇五一—一〇五二

ヒトラーと青年 (二九七頁) 大日方勝 昭和一三

婦人會の經營實踐 (田中眞一 昭和一一) 一〇五三—一〇五四

行脚の足跡を 躍進青年學校の研究 (學校長 金井十郎平 基調とせる 昭和一一) 一〇五五—一〇五六

二九一 博物館

帝室博物館年報 (昭和一二月一—二月) 同館編 昭和一三 一〇五七—一〇六〇

二九二 圖書館

圖總覽 (昭和一三年版) 天野敬太郎 森清編 昭和一三 一〇六一—一〇六二

二九三 學修法、讀書法

學生と讀書 (河合榮治郎編 昭和一一) 一〇六三—一〇六四

讀書と修養 (加藤操(一) 昭和一一) 改訂三版 (二四八頁) 一〇六五—一〇七〇

戴冠詩人の御一人者 保田與重郎 昭和一三
 追撃 伊地知 昭和一四
 泥の擔架 山中峯太郎 昭和一三
 日本文化と英文學 大澤 昭和一三
 八達嶺 尾崎士郎 昭和一三
 一人ゆく旅 吉田健二郎 昭和一三
 文學概記 本間久雄 昭和一三
 麥と兵隊 大野草平 昭和一三
 續隨筆明治文學 柳田泉 昭和一三
 離華星忘れぬ中に 窪田忠雄 昭和一三
 (櫻の木葉書第三篇)

三二〇 日本文學

精神美としての日本文學 齊藤清樹 昭和一三
 日本文學案内 菊池 直 昭和一三
 日本文學の精神と研究 藤田徳太郎 昭和一三
 日本文學様式論史 大橋俊助 昭和一三
 國文學研究 武田祐吉 昭和九—一二
 (萬葉集篇、神祇文學篇、歌道篇)
 日本文學大系 河出書房發行 昭和一三

分類 番號

一〇三〇五三九二
 一〇三〇五四〇五
 一〇三〇五四〇一
 一〇三〇五三六九
 一〇三〇五四〇三
 一〇三〇五三九六
 一〇三〇五三九一
 一〇三〇五四〇八
 一〇三〇五三七二
 一〇三〇五三九〇
 一〇三〇一〇一〇
 一〇三〇一〇一〇
 一〇三〇一〇一〇

第一卷 日本文學研究法(武田祐吉)
 第七卷 物語文學(池田龜藏)
 第二卷 近代小説(渡田良平)
 第三卷 俳諧文學(原田清)
 第四卷 日記文學(山下健一)
 第五卷 批評文學(齊藤清樹)
 第六卷 日本神話(倉野重司)
 第七卷 近世小説(近藤忠義)
 第八卷 古代和歌(大田 潤)
 第九卷 歌謠文學(藤田徳太郎)
 第十卷 宗教文學(筑土節直)
 第十一卷 近世劇文學(守屋憲治)

未刊國文古註釋大系 吉澤義則編 昭和一三
 第九册 伊勢物語抄、伊勢物語非抄(倉立綱)
 竹取物語抄補註(田中朝之)
 大和物語別題(北村季吟) 大和物語系圖
 大和物語基註(前田夏藤) 大和物語管窺抄(高橋殘夢)
 古事記註(小野高潔)
 日本書紀基註(小野高潔)
 日本紀和歌註(近藤尚通)
 日本紀和歌抄(著者未詳)
 日本紀和歌抄(著者未詳) 松本弘彦録
 日本紀和歌抄(鹿持進澄述、松本弘彦録)
 明治文學研究誌 岡野他家夫 昭和一三
 (四八八頁)

三二一 史 傳

岩野泡鳴傳 上・下 舟橋聖一 昭和一三
 (上卷三七四頁、下卷四二二頁)
 概觀明治文學 藤田良平 昭和一三
 (三七七頁)
 新修日本文學史 岩城準太郎 昭和一三
 (三三七頁)
 蘆花傳 前田河廣一郎 昭和一三
 (六八六頁)
 夏目漱石 小宮豊隆 昭和一三
 (八八五頁)
 日本文學史「社會學的に見る」 山光都風雄 昭和一三
 (三七七頁)

分類 番號

一〇三〇一〇一五
 一〇三〇一〇二五
 一〇三〇一〇二八
 一〇三〇一〇二九
 一〇三〇一〇三三
 一〇三〇一〇三四
 一〇三〇一〇三六

日本文學史要 藤井乙男 昭和一三
 (三〇二頁)
 日本文學全史 東京堂發行 昭和一三
 (六三三頁)
 第九 江戸文學史 下卷(高野辰之)
 日本文學通史 次田潤 昭和一三
 (三三六頁)
 日本文學評論史 總論・歌論篇 久松静一 昭和一三
 (七二六頁)
 正岡子規 明治文學研究會編 昭和一三
 (三二六頁)

三二二 日本文學合集、全集

鴨長明の新研究 廣瀬一雄 昭和一三
 (四九六頁)
 中村憲吉全集 同人著 昭和一三
 第一卷 歌集馬鈴薯の花、歌集林泉集
 歌集しがらみ、歌集經濟集
 歌集經濟集以後、自選歌集松の芽
 中村憲吉集、補遺
 第二卷 萬葉集短歌論、山部赤人
 正岡子規、歌論歌話、批評及び序跋
 短歌批評、故人追憶記
 第三卷 日記歌話の研究、萬葉集の研究
 中世時代の作品、高等學校時代の作品
 雜著、年譜著作年表
 第四卷 日記、書翰

三二三 歌學、歌話、歌集

額 北原白秋 昭和一三
 (二二五頁) (多磨叢書第三篇)
 現代短歌辭典 松村英一 昭和一三
 (三四二頁)
 短歌鑑賞論 岡山 巖 昭和一三
 (三三三頁)

一〇三〇一一三
 一〇三〇一一六
 一〇三〇一一七
 一〇三〇一一二
 一〇三〇一一一
 一〇三〇一一〇

分類 番號

一〇三〇一一七
 一〇三〇一一八

分類 番號

一〇三〇一三九
 一〇三〇一四一
 一〇三〇一四二
 一〇三〇一四三

短歌の作法と鑑賞 松村英一 昭和一三
 (三三八頁)
 短歌の表現と技巧 山下隆典 昭和一三
 (三三三頁)
 良寛と貞心 相馬御風 昭和一三
 (三〇二頁) (貞心尼全集)
 歴代人研究 第一卷 武田祐吉 昭和一三
 柿本人麿 (三二六頁)
 和歌初心者の爲に 四賀光子 昭和一三
 (一五六頁)
 和歌史論 藤田徳太郎 昭和一三
 (三三六頁)
 近代名家歌選 佐々木信綱・芳賀天一校註 昭和一三
 (六二六頁) (和歌叢書第六卷)

〇

柿本人麿 評釋巻之下 齊藤茂吉 昭和一三
 (一〇一〇頁)
 古今和歌集・新古今和歌集の鑑賞 佐伯仁三郎 昭和一四
 (二二八頁)
 富岡本新葉和歌集 立命館大學文學部研究室 昭和一三
 (三五〇頁)
 萬葉語研究 佐伯梅友 昭和一三
 (三一八頁)
 萬葉集追攷 井上通孝 昭和一三
 (三五八頁)
 學生の萬葉集の鑑賞 廣瀬一雄 昭和一三
 (二一六頁)
 萬葉集評釋 第一・二册 金子元匡 昭和一三
 (二二二頁)

〇

孝明天皇和歌御會記及御年譜 丹 壽 昭和一二
 (二六九頁)
 幕朝年中行事歌合註 北村季文著・福井久藏編
 (九四四頁)
 運月式部二女和歌集 同人著 明治元
 (一五枚)

分類 番號

一〇三〇一三八
 一〇三〇一四一
 一〇三〇一四二
 一〇三〇一四三
 一〇三〇一四四
 一〇三〇一四四
 一〇三〇一四四
 一〇三〇一四四

- アララギ年刊歌集 第一四 (齊藤茂吉編 昭和一三 三六七頁)
- 教育百首 (野田香齋 昭和一三 三五枚)
- 維新勤王詩歌評釋 (小泉多三 昭和一三 三三三頁)
- 支那事變歌集 (齊藤茂吉・佐々木信綱選 讀賣新聞社編 昭和一三 二〇〇頁)
- 支那事變歌集 戦地篇 (大日本歌人協會 昭和一三 四一八頁)
- 昭憲皇太后御歌讀本 御坤徳の巻 (小西重直監修 飯田豊二編 昭和一三 二六二頁)
- 歌集真珠 (櫻井花江 (昭和一三) 四九四頁)
- 新萬葉集 作者別五十音順 山本三生編
 - 卷一 あ・い・う・ろ 卷二 え・お・かノ部
 - 卷三 き・く・け・こノ部 卷四 さ・し・す・せ・そノ部
 - 卷五 た・ち・つ・て・とノ部 卷六 な・に・ぬ・ね・のノ部
 - 卷七 ひ・ふ・は・ほ・まノ部 卷八 か・む・め・も・やノ部
 - 卷九 や・をノ部 別巻 宮廷篇
- 鶴浦歌集 (八四枚) 昭和一四
- 帝都の情熱 (岡山 謙 昭和一三 三六頁)
- 乃木將軍詩歌物語 (高須芳次郎 昭和一三 三二八頁)
- 明治天皇御製謹話 (千葉風明 昭和一三 三六〇頁)
- 三三四 新體詩
 - 定上田敏詩集 (同人著 昭和一三 七三三頁)
 - 詩と歌謡の作り方 (佐藤惣之助 昭和一三 三二六頁)
 - 聖歌隊 (中野秀人 昭和一三 一五八頁)
- 俳句鑑賞の爲に (山口響子 昭和一三 一八八頁)
- 俳句に必要な氣象讀本 (市村重次 昭和一三 三四〇頁)
- 俳句表現の道 (加藤敏郎 昭和一三 一八四頁)
- 俳句諸論 (山口響子 昭和一三 一三八頁)
- 芭蕉讀本 (萩原井泉水 昭和一三 三二四頁)
- 戦火にうたふ (西條八十 昭和一三 二二頁)
- 藤村詩集 (安藤靜庵 昭和一三 五〇〇頁)
- 我れ汝の足を洗はずば (藤澤省吾 昭和一三 三七六頁)
- 三一五 連歌、俳諧
 - 俳句讀本 (新家文平 昭和一三 二二八頁)
 - 俳句・俳文・俳話 (高濱虚子 昭和一三 三六九頁)
 - 俳句文學全集 第一書房發行 昭和一三
 - 第六回 水原秋櫻子篇(同人)
 - 第七回 白田亞浪篇(同人)
 - 第八回 青岡禪寺洞篇(同人)
 - 第九回 河東碧梧桐篇(同人)
 - 第二回 萩原井泉水篇(同人)
 - 第二回 石原鼎篇(同人)

- 芭蕉と其の藝術 (白田源次郎監修 石原健生編 昭和一四 三二二頁)
- 炎 晝 (山口響子 昭和一三 二〇五頁)
- 秋 庭 (水原秋櫻子 昭和一三 二二七頁)
- 轉轍手 (日野草城 昭和一三 二八八頁)
- 年刊俳句集 昭和一四年版 (我文堂編輯部所編 三六〇頁)
- 句花筏 (田中喜四郎 昭和一三 一六九頁)
- ホトトギス雜詠選集 春の部 (高濱虚子選 昭和一三 五八四頁)
- 定木歩句集 (新井輝風 昭和一三 二七一頁)
- 我は我 (大谷句佛 昭和一三 三二五頁)
- 奥の細道の心 (萩原井泉水 昭和一三 二七八頁)
- 一茶を尋ねて (萩原井泉水 昭和一三 二八四頁)
- 三一六 戲 曲
 - 戯曲以前の言葉 (眞船 豊 昭和一二 二八六頁)
 - ラヂオドラマの作り方 (林 二九太 昭和一三 二八〇頁)
- 一の谷嫩軍記 (吉村重徳校註 昭和一三 四二〇頁)
- 妹背山婦女庭訓 伊賀越道中雙六 一の谷嫩軍記
- 古淨瑠璃の新研究 鹿長・寛文篇 (若月保治 昭和一三 三三八頁)
- 駒 (眞船 豊 昭和一三 三〇九頁)
- 江戸城明渡し (藤森成吉 昭和一三 二九六頁)
- 火山灰地 (久保 榮 昭和一三 三三八頁)
- 學校劇珠玉集 (須藤克三 昭和一三 二六四頁)
- 室内樂 (藤田草之助 昭和一三 三〇三頁)
- 春香傳朝 (張赫宙 昭和一三 三〇三頁)
- 鐵舟と次郎長 (岡本純堂 昭和一三 五七九頁)
- 遁走譜 (眞船 豊 昭和一三 三四六頁)
- フヂナ (眞船 豊 昭和一三 二五八頁)
- 日本學校劇集 (日本學校劇聯盟編 昭和一三 四三六頁)
- 能因法師 (岡本純堂 昭和一三 六二二頁)
- 裸の町 (眞船 豊 昭和一三 二八四頁)
- 三一七 歌 謠
 - 謠曲に現はれたる佛教 (花田凌雲 昭和一三 四二二頁)
 - 日本歌謠史 (高野辰之 昭和一三 二二二頁)
 - 三一八 狂歌・狂詩・狂句・戯文
 - 狂詩諷解 (四方山人編 天明三 二六枚)

月夜	宇野千代 (昭和一三)	一三三二六六
東京要塞	海野十三 (昭和一三)	一三三二六九
偷まれた軍用機	伊藤純太郎 (昭和一三)	一三三二七一
花火の街	大徳次郎 (昭和一三)	一三三二七六
蠅男	海野十三 (昭和一三)	一三三二八〇
巴里祭	岡本かの子 (昭和一三)	一三三二八五
部落史	打木村治 (昭和一三)	一三三二八四
炎の薔薇	石川達三 (昭和一三)	一三三二八五
街	阿部知二 (昭和一四)	一三三二八六
やがて五月に	岡本かの子 (昭和一三)	一三三二八七
流離	石川達三 (昭和一三)	一三三二八八
陋巷の唄	井伏鱒二 (昭和一三)	一三三二八九
乙女の港	川端康成 (昭和一三)	一三三二九〇
小キリスト	賀川豊彦 (昭和一三)	一三三二九一
風の女王	片岡健兵 (昭和一三)	一三三二九二
枯菊抄	久保田万太郎 (昭和一三)	一三三二九三
くれなゐ	窪川稲子 (昭和一三)	一三三二九四
幸福の森	岸田國士 (昭和一三)	一三三二九五
国際間諜暗躍秘録	北村小徳 (昭和一三)	一三三二九六
女性開眼	川端康成 (昭和一三)	一三三二九七
戦火	木村 毅 (昭和一三)	一三三二九八
第三紀層の上に	賀川豊彦 (昭和一三)	一三三二九九
鬮籠	内田喜久雄 (昭和一三)	一三三三〇〇
薔薇ならば	小島政二郎 (昭和一三)	一三三三〇一
吹けよ春風	加藤武雄 (昭和一三)	一三三三〇二
炎の詩	片岡健兵 (昭和一三)	一三三三〇三
青空も笑ふ	サトウハチロー (昭和一四)	一三三三〇四
青空部隊	藤子文六 (昭和一三)	一三三三〇五
女鍛冶	明治二八 (昭和一三)	一三三三〇六
草筏	外村 繁 (昭和一三)	一三三三〇七
同		一三三三〇八
胡椒息子	藤子文六 (昭和一三)	一三三三〇九
御婦人閣下	佐々木 邦 (昭和一三)	一三三三一〇
女 優	里見 淳 (昭和一三)	一三三三一〇
スポーツ三代記	サトウハチロー (昭和一三)	一三三三一〇
青春夢	佐々木 邦 (昭和一三)	一三三三一〇
續生活の探求	島本健作 (昭和一三)	一三三三一〇
花咲く丘へ	佐藤紅緑 (昭和一四)	一三三三一〇

春待つ宿	島崎藤村 (昭和一三)	一三三三一七
肥った紳士	庄野誠一 (昭和一三)	一三三三一八
吹雪物語	坂口安吾 (昭和一三)	一三三三一九
道達し	上巻 島崎藤村 (昭和一三)	一三三三二〇
歴史	神山 潤 (昭和一四)	一三三三二〇
愛情部隊	富澤有武男 (昭和一三)	一三三三二一
假裝人物	徳田秋聲 (昭和一三)	一三三三二二
紅 痕	竹田敏彦 (昭和一三)	一三三三二三
子供の四季	坪田譲治 (昭和一三)	一三三三二四
山 脈	武田麟太郎 (昭和一三)	一三三三二五
縛られた女	徳田一徳 (昭和一三)	一三三三二六
白い朝	小島政二郎 (昭和一三)	一三三三二七
新怪談集	「實話篇」 田中真太郎 (昭和一三)	一三三三二七
善太と三平のはなし	坪田譲治 (昭和一三)	一三三三二七
祖國を脱れて	橋 外男 (昭和一三)	一三三三二八
大陸の良人	竹中吾郎 (昭和一三)	一三三三二八
酒場ルーレット紛擾記	橋 外男 (昭和一三)	一三三三二九
風速五十米	武田麟太郎 (昭和一三)	一三三三三〇
はたらく一家	徳永 直 (昭和一三)	一三三三三〇
米西戦争の蔭に	橋 外男 (昭和一三)	一三三三三三
見よ此男	竹中吾郎 (昭和一四)	一三三三三三
ひすめ教育	辰野九郎 (昭和一三)	一三三三三四
厚物咲	中山義秀 (昭和一三)	一三三三四三
生きてゆく女達	丹羽文雄 (昭和一三)	一三三三四三
おもかげ	水井尚風 (昭和一三)	一三三三四三
スパイの女王	野村胡堂 (昭和一四)	一三三三四三
銭形平次捕物百話	第一・二巻 野村胡堂 (昭和一三)	一三三三四三
戦死した兄	中村地平 (昭和一四)	一三三三四三
耐火煉瓦	中本たか子 (昭和一三)	一三三三四三
大菩薩峠	第一五冊 巖谷小波 (昭和一三)	一三三三四三
土	長塚 節 (昭和一三)	一三三三四三
天の夕顔	中野実一 (昭和一三)	一三三三四三
南部鐵瓶工	中本たか子 (昭和一三)	一三三三四三
花 戦	丹羽文雄 (昭和一三)	一三三三四三
白衣作業	中本たか子 (昭和一三)	一三三三四三
淺草の灯	酒本 浩 (昭和一三)	一三三三四三
新しい歌	藤澤恒夫 (昭和一三)	一三三三四三
衣食住その他	橋本美吉 (昭和一四)	一三三三四三

- 美しき五月となれば 林房雄 昭和一三 (三四五頁)
- 雲と花と歌 深田久彌 昭和一三 (三五五頁) (新小説選集第一二巻)
- 支那人街の團練 細田源吉 昭和一四 (三三三頁)
- 上海陸戦隊 堀水恭助 昭和一三 (三七八頁)
- 蔣介石 別院一郎 昭和一三 (三九〇頁)
- 新胎・木石 舟橋聖一 昭和一三 (四四九頁)
- 太陽と薔薇 林房雄 昭和一三 (二六二頁)
- 丹下左膳 林不忘 昭和一三 (六〇八頁)
- 月夜 林芙美子 昭和一三 (三三〇頁)
- 督戦隊 別院一郎 昭和一三 (三六四頁)
- 母は護る 廣津和郎 昭和一三 (三六九頁)
- 花ある水河 藤澤恒夫 昭和一三 (三〇二頁)
- 馬賊の旗 平山重江 昭和一二 (三二二頁)
- 水河 林芙美子 昭和一三 (三四七頁)
- 悲戀の爲恭 藤森成吉 昭和一三 (三四三頁)
- 糞尿譚 火野葦平 昭和一三 (三一九頁)
- 菩薩祭 平山重江 昭和一四 (二一九頁)
- あらかね 櫻井 岡宮茂輔 昭和一三 (三二二頁)
- 英雄一代 三島章道 昭和一三 (三二二頁)

- 火田 前田河廣一郎 昭和一三 (四〇二頁)
- 小魚の心 葛砂静枝 昭和一三 (三一七頁)
- 殘菊物語 村松梢風 昭和一三 (四二八頁)
- 大陸の琴 葉生原星 昭和一三 (三九四頁)
- 突棒船 間宮茂輔 昭和一三 (二七八頁)
- 人間 前田河廣一郎 昭和一三 (四三三頁)
- 花菖蒲 森田九三 昭和一四 (二六八頁)
- 風俗十日 南川 昭和一四 (三四一頁)
- 宮本武蔵 空の巻 吉川英治 昭和一三 (一四一頁)
- 恐しき幸福 美川きよ 昭和一三 (三四九頁)
- 家庭日記 吉屋信子 昭和一三 (三八八頁)
- 空襲機密島 山中峯太郎 昭和一三 (三三八頁)
- 島崎藤村 藤田研一 昭和一三 (三九八頁)
- 春園 廣光利一 昭和一三 (三五六頁)
- 親鸞 天の巻 吉川英治 昭和一三 (六二〇頁)
- 青春艦隊 山手樹一郎外四名共著 昭和一三 (四四七頁)
- 戦争と二人の婦人 山本有三 昭和一三 (二二四頁)
- 祖國の鐘 山中峯太郎 昭和一二 (三三一頁)
- 戦に次ぐもの 山中峯太郎 昭和一二 (三三三頁)

- リラ咲く丘 横山美智子 昭和一二 (二四二頁)
- 山遠ければ 吉田註二郎 昭和一三 (二二七頁)
- 明智光秀 野尾南工 昭和一三 (四四五頁)
- 濕地 和田傳 昭和一三 (三二二頁)
- 生活の盃 和田傳 昭和一三 (三六四頁)
- 關ヶ原序論 野尾南工 昭和一三 (四六〇頁)
- 續織田信長 野尾南工 昭和一三 (四四〇頁)
- 吉野朝大平記 第四卷 野尾南工 昭和一三 (三六〇頁)
- 戦線みやげ 佛家金語樓 昭和一三 (二八二頁)
- 漫才全集 秋田實 昭和一三 (四三八頁)
- 山下一等兵 佛家金語樓 昭和一二 (三四六頁)

- 漢詩作法講話 細貝香塔 昭和一三 (三〇六頁)
- 漢詩大講座 アトリエ社發行 昭和一三 第三巻 古今詩話(岡崎春石外四名)
- 懷風藻詳釋 世良亮一 昭和一三 (一九一頁)
- 扇城先賢三十家詩文集 (一九三頁) 赤松文二郎(泉陰)編 昭和一三
- 和漢詩選 高尾聖吉 昭和一三 (二二二頁)
- 越溪詩鈔 秋滿樓三郎編 昭和一三 (七八頁)
- 山陽遺稿詩註釋 伊藤嘉麿 昭和一三 (五五〇頁)
- 日露忠烈詩集 乾 岡野宗影編 昭和一三 (三五七頁)
- 望洋吟艸 乾・坤 石川賢治 昭和一一 (乾四八枚・坤七四枚)
- 吉田松陰殉國詩歌集 岡本義亮 昭和一二 (一〇六二頁)
- 江南の古詩を尋ねて 細貝香塔 昭和一三 (三二〇頁)
- 支那民謡とその國民性 七里重雄 昭和一三 (三五二頁)
- 今正氣歌新釋 遠藤典貴 昭和一三 (九一頁)
- 三四五 文集、文話、作文
- 漢文解釋法 塚本哲三 昭和一三 三九九頁
- 漢文讀解法 木村武一郎 昭和一三 (三三七頁)

三四〇 支那文學

- 三四二 史 傳
- 三四四 詩學、詩話、詩集
- 詩語辭典 附、漢詩作法 (古谷知新 昭和一三 四四一頁)



漢文類出問題解釋法 廣文館編輯部編 昭和一三
 通言漢譯 岩重道雄 昭和一三
 女學生の漢文 上・下級用 森本和司 昭和一三 三版
 同行者 支、西澤、藤達夫、幸府共著 昭和一三
 敗走千里 支、陳登元著 別院一郎譯 昭和一三
 (三七八頁)

三五〇 歐米文學

現代文學の危機 佛、ルイ・レイノオ著 藤波浩譯
 (二七八頁) 昭和一三
 佛蘭西文學研究 第一輯 成瀬正一 昭和一三
 (三七四頁) 昭和一三
 ふらんす文學叢記 渡邊一夫 昭和一三
 (三四二頁) 昭和一三

大トルストイ全集 原久一郎譯 中央公論社發行
 昭和一二—一三
 第五卷 戰爭と平和
 第一二卷 民話、童話、寓話集
 第一三卷 遺稿集
 第一四卷 傳記、要約、聖書、教義神學の批判解明、我が信仰
 の要

第一六卷 藝術、教育論集

三五一 史 傳
 イギリス文學史 飯田敏雄 昭和一四
 (四七四頁) 昭和一三
 ゲーテ 木村彦治 昭和一三
 (四九一頁) 昭和一三
 「若きゲーテ」研究 木村彦治 昭和一三 改訂
 (七一八頁) 昭和一三

一三四五—一〇〇	リイダーに英詩の研究 有梅久門 昭和一三
一三四五—九九	現はれたる英詩の研究 (二九二頁)
二三四五—九六	ダンテ神曲物語 丸川仁夫 昭和一三
一三四六—六八	光り 附、行列について 佛、ポール・クロード著 昭和一三
一三四六—六六	佛蘭西近代抒情詩撰 瑠璃集 佛、シャルル・ボナドレリ
一三四六—七〇	佛、外元名共著 永井博風譯 (一三〇頁) 昭和一三
一三四六—七三	三五三 戯 曲
一三四六—七四	デッド・エンド 米、レドニー・キングスレー著 中村雅男譯
一三四六—七六	三五四 論文、雜書
一三五〇—七九	グアレリイ文學論 佛、ポール・グアレリイ著 堀口大學譯
一三五〇—八〇	詩人の日記 佛、アルフレッド・ド・ゲイニイ著 小林龍雄譯
一三五〇—八〇	對話と言葉 佛、ダクルモン著 堀口大學譯
一三五〇—八〇	陣中日記 佛、ハンス・カロウツ著 高橋健二譯
一三五〇—八〇	人間教育 「ゲーテへの一つの試み」 龜井肇一郎 昭和一二
一三五〇—八〇	三五五 小説、物語
一三五〇—八〇	新しきもの古きもの 米、パウル・バクツ著 (一九四頁)
一三五〇—八〇	或る男の死 佛、ジュール・ロマン著 山内義雄譯
一三五〇—八〇	風と共に去りぬ 上・中・下 米、M・ミツナエル著 昭和一三
一三五〇—八〇	北ホテル 佛、ユジヌ・ダビ著 岩田豊雄譯 昭和一三
一三五〇—八〇	孤兒マリー 佛、マルグリット・オウヴロイ著
一三五〇—八〇	堀口大學譯 (三一六頁) 昭和一三
一三五〇—八〇	草原 露、チエリ・カフ著 中村白葉譯 昭和一三
一三五〇—八〇	四五二—一〇〇
一三四五—九九	三五二 詩
二三四五—九六	ダンテ神曲物語 丸川仁夫 昭和一三
一三四六—六八	光り 附、行列について 佛、ポール・クロード著 昭和一三
一三四六—六六	佛蘭西近代抒情詩撰 瑠璃集 佛、シャルル・ボナドレリ
一三四六—七〇	佛、外元名共著 永井博風譯 (一三〇頁) 昭和一三
一三四六—七三	三五三 戯 曲
一三四六—七四	デッド・エンド 米、レドニー・キングスレー著 中村雅男譯
一三四六—七六	三五四 論文、雜書
一三五〇—七九	グアレリイ文學論 佛、ポール・グアレリイ著 堀口大學譯
一三五〇—八〇	詩人の日記 佛、アルフレッド・ド・ゲイニイ著 小林龍雄譯
一三五〇—八〇	對話と言葉 佛、ダクルモン著 堀口大學譯
一三五〇—八〇	陣中日記 佛、ハンス・カロウツ著 高橋健二譯
一三五〇—八〇	人間教育 「ゲーテへの一つの試み」 龜井肇一郎 昭和一二
一三五〇—八〇	三五五 小説、物語
一三五〇—八〇	新しきもの古きもの 米、パウル・バクツ著 (一九四頁)
一三五〇—八〇	或る男の死 佛、ジュール・ロマン著 山内義雄譯
一三五〇—八〇	風と共に去りぬ 上・中・下 米、M・ミツナエル著 昭和一三
一三五〇—八〇	北ホテル 佛、ユジヌ・ダビ著 岩田豊雄譯 昭和一三
一三五〇—八〇	孤兒マリー 佛、マルグリット・オウヴロイ著
一三五〇—八〇	堀口大學譯 (三一六頁) 昭和一三
一三五〇—八〇	草原 露、チエリ・カフ著 中村白葉譯 昭和一三

支那ランプの石油 米、A・ホバート著 麻上俊夫譯
 (四六六頁) 昭和一三
 秋 風 記 佛、モーバツサン著 杉捷夫譯
 (四四六頁) 昭和一三
 新惡童物語 岡、ルウドキヒ・トオマ著 實吉捷郎譯
 (三一四頁) 昭和一三
 第一夫人 米、パウル・バクツ著 本間立也譯
 (三五〇頁) 昭和一三
 颯 風 ノルドホフ・ホオル共著 深澤正策譯
 (二七九頁) 昭和一三
 チャタレイ夫人の戀人 英、D・H・ロレンス著 伊藤整譯
 (五二二頁) 昭和一三
 對島海峡 伊藤整譯、牛田弘平共譯 (四一五頁)
 天路歷程 英、ジョン・ベンヤン著 他谷敏雄譯
 (六三四頁) 昭和一三
 動員された醫者の手記 露、セルゲイ・ペリヤノフ著
 上編 上野進譯 (二五三頁) 昭和一三
 猫釣町 ヨラン・フェルブス著 伊藤整譯
 (三四六頁) 昭和一三
 ノアの方舟 佛、シムペルワイエル著 堀口大學譯
 (一九五頁) 昭和一四
 母の肖像 米、パウル・バクツ著 深澤正策譯
 (三三五頁) 昭和一三
 笛吹く天使 鈴木美太郎譯 (三三三頁) 昭和一三
 魔の山 岡、トーマス・マン著 熊岡初樹、竹田敏行譯
 (四四四頁) 昭和一三
 モーリスの大將 佛、アラシ・フルニエ著 木谷謙三譯
 (三三七頁) 昭和一三
 楊子江 A・ホバート著 麻上俊夫譯
 (三七六頁) 昭和一三
 ラムンチヨオ 佛、ビニール・ロタイ著 新庄喜章譯
 (三一四頁) 昭和一三

三六〇 演説、論説

三六一 演説、講話

一三五五—三六	現代演説式辭大觀 藤原 豐 昭和一二
一三五五—三六	式辭挨拶演説大集 附出陣兵士の挨拶 日本演説研究会編
一三五五—三六	支那語演説式辭集 杉捷夫 昭和一三
一三五五—三六	女子式辭挨拶演説集 女子演説研究会編
一三五五—三六	盡忠報國の精神 近衛文麿公 昭和一三
一三五五—三六	眞直ぐに行け 中野正剛 昭和一三
一三五五—三六	明治演説大家集 卷一、二 (附文二編 昭和一二)
一三五五—三六	三六二 論説、批評
一三五五—三六	新しい日本人の道 杉山平助 昭和一三
一三五五—三六	東方の理想 朱雲岐 昭和一三
一三五五—三六	日本革新の書序論 安藤良信 昭和一三
一三五五—三六	日本の覺醒 岡合天心著 渡邊正和、堀田久直譯
一三五五—三六	破窓之風琴 辻治之助 明治二〇
一三五五—三六	三六三 演説法、附、重話研究
一三五五—三六	兒童文學論 坪田漢治 昭和一三
一三五五—三六	三七〇 語 學
一三七〇—一八	基本語彙學 上 堀内俊三 昭和一三
一三七〇—一九	言語學概論 言語研究 谷アンドリエス著 熊岡敏二譯
一三七〇—一九	言語學方法論考 小林英夫 昭和一〇

- 高級英文解釋法 長谷川 廣 昭和一二 (三四頁)
- 大學入試高等英文和譯 荻原壽平、大和實雄 (三三八頁) 昭和一二
- 新和文英譯講義 久保田正次 昭和一三 (五八四頁)
- 和文英譯研究 藤倉文雄 昭和一三 (二九二頁)
- 同
- 三九四 獨逸語
 - 基礎獨逸語の研究 橋井鶴夫 昭和一三 (三五三頁)
 - 中世獨逸文法 橋本八男 昭和一四 (一一二頁)
 - 獨逸文法十講 佐久間成一 昭和一三 (五七五頁)
 - 獨逸文法の公式と應用 星塚壽一 昭和一三 (三五二頁)
- 三九五 佛 蘭 西 語
 - 佛蘭西語の發音と綴字篇 淺野邦夫 昭和一三 (四九頁)
- 三九六 露西亞語
 - 最新露語讀本 (譯)ベリク、ブライト、スミルニツキ著 野村二郎譯 (一二七頁) 昭和一二
 - 初等露語文法 八杉貞利 昭和一二 (一七三頁)
- 三九九 其他諸國語
 - 和蘭文典字類 前篇 飯泉士郎 安政三一—五 後篇 高橋重成
 - 伊日辭典 吉田潤邦、藤堂高紹 昭和一三 (一一二頁)
 - 基礎イタリ語 徳尾俊彦 昭和一三 二版 (一八一頁)

標準スペイン會話 佐藤久平 昭和一三 (四一〇頁)

一三九九—三六

- 歴史と民族文化 白脚武(秀樹) 昭和一三 (四二五頁)
- 四〇一 事象、叢書
 - 臺北帝國大學史學科研究年報 同部編輯 昭和一三 文政學部
 - 第五輯 翁太人問題とヒスマリタ(菅原 憲)
 - モルツク諸島移住日本人の活動(岩生成一)
 - マニラの所謂パリアンに就て(前内健次)
 - 三佛齊補考(桑田六郎)
- 四〇二 世界史話大成 仲小路彰 昭和一三 第三卷 興亡篇 (三五〇頁)
- 四〇三 世界歴史大年表 鈴木俊外二名共著 昭和一三 (四八三頁)
- 四〇六 考 古 學
 - 支那考古學論考 梅原末治 昭和一三 (五九三頁)
- 四一〇 萬 國 史
 - すめらみくに 新見吉治 昭和一三 (五二八頁)
- 四二〇 東 西 洋 史
 - 四二一 東 洋 史
 - 概説東洋史 有馬巖、山崎安 昭和一三 (二四四頁)
 - 支那文化と支那學の起原 後藤水雄 昭和一四 (六六八頁)
 - 東洋文化史大系 小沼藤樹編 昭和一三

第二卷 漢魏六朝時代(三六一頁) 松井等、石田幹之助監修

漢魏六朝の財政・經濟(西田保)

漢魏六朝の思想(榮田宜野)

佛敎の傳來とその弘布(久保田量遠)

漢魏六朝の學問と文學(長澤規矩也)

漢魏六朝の藝術と書道(長廣敏雄)

漢魏六朝時代の北狄(江上波夫)

漢魏六朝の西域(松田壽男)

インドシナと南洋諸國(松田壽男)

漢魏六朝時代の朝鮮と日本(岩井大慧)

漢魏六朝の盛衰(三六一頁) 石田幹之助監修

第三卷 隋唐の盛衰(三六一頁) 石田幹之助監修

隋唐のアジア(同人)

初唐の隆興(同人)

盛唐の榮華(同人)

晚唐の凋落(同人)

北方民族と西域諸國(松田壽男)

滿鮮の形勢(孫晋泰、三上次男)

印度支那半島と南海諸國(松田壽男)

唐の法制(瀧川政太郎)

經濟(三島一)

佛敎と道敎(久保田量遠)

學術と文學(長澤規矩也)

美術、書道及び音樂(伊勢專一郎外三名)

唐代におけるイラン文化(石田幹之助)

日本に及ぼせる隋唐文化(遠藤元男)

第五卷 明の興亡と西力の東漸(三五三頁) 和田清監修

總説 和田清

創業期(清水泰次)

推挙期(同人)

編纂期(同人)

社會と經濟(同人)

學術と文學(長澤規矩也)

佛敎と道敎(久保田量遠)

美術、工藝、建築(伊勢專一郎外二名)

明と日本との交渉(秋山謙藏)

朝鮮半島(李想白)

滿洲内蒙古(植村清二)

帖木兒王朝の興亡(植村清二)

ムガール帝國の建設(岡人)
 印度支那と南島(山本達郎)
 歐洲人の東洋進出(松井等)
 西教の東漸と西洋文明の傳來(石田幹之助)
 清代のアヂャ(三九七頁)和田清監修
 總説(和田清) 概説(有馬巖)
 滿洲人の文化(浦康一、篤岡一)
 制度(松本善海)

財政と經濟(中山八郎)
 清代の社會と漢人の發展(有馬巖)
 學問と文學(長澤規矩也)
 美術(木澤嘉爾外二名)
 キリスト教と西洋文化(石田幹之助)
 コレラの中國侵略と神東進出
 イギリスの印度經營(時野谷三郎)
 清代の外國貿易(増井健夫)
 フランスのインド支那經營(鈴木領英)
 日清戦争と日露戦争(植村清二)
 清代の朝鮮(廣田巖)

清代文化の日本に及ぼせる影響(中山久四郎)
 西洋史の要領と答案の纏め方(戸倉廣、昭和一二
 小 西澤文化 ナイルの流(滿江巖、昭和一二
 西洋文化 小 西澤文化(三三五頁)

四三〇 日本史

日本文化史大系 田中一彦編 昭和一二
 第一卷 原始文化(三四一頁)
 日本民族論(金田丈夫外四名)
 日本神話論(松村武雄)
 日本民俗論(中山太郎)
 原始文化の遺物(八幡一郎)
 日本原始藝術(木代修一)
 鎌倉文化(三六二頁)
 鎌倉時代文化の特質(松本彦次郎)

冊 分類 番號
 一〇四三—一九二
 一〇四三—一九一
 冊 分類 番號
 三〇四〇—四七

皇室と鎌倉文化(藤橋)
 政治及び制度(牧健二)
 經濟(玉泉大榮)
 宗教(赤松俊秀)
 思想と學問(藤直幹)
 文學(松本彦次郎)
 美術(谷俊一)
 音樂、舞蹈(岩橋小畑太)
 風俗と生活(江馬啓)
 日本とアジア大陸との關係(秋山謙藏)
 アジア大陸の狀態(有馬巖)
 亞歐の關係(石田幹之助)
 西洋の狀態(今井登志喜、堀米庸三)
 吉野、室町文化(三六九頁)
 皇室と吉野、室町文化(長沼賢海)
 政治及び制度(魚澤豊五郎)
 經濟(豊田武)
 宗教(長沼賢海)
 思想と學問(中村光)
 文學(佐成謙太郎)
 美術(谷俊一)
 音樂、舞蹈(森末義彰)
 書道(田山信郎)
 風俗と生活(江馬啓)
 日本とアジア大陸との關係(秋山謙藏)
 アジア大陸の狀態(清水泰次)
 亞歐の關係(石田幹之助)
 西洋の狀態(今井登志喜、西村貞二)

冊 分類 番號
 一〇四三—一五二
 一〇四三—一五一
 一〇四三—一五〇
 二〇四三—一六六

日本歴史論 早川二郎 昭和一二
 (三四九頁)

新訂國史大系 黒板勝美編 昭和一二
 第二九卷 上 朝野群載

第五三卷 公卿補任第一編
 增訂國史大辭典(八代國市外二名共編)
 (二五五頁) 昭和一二

大日本古文書 東京帝國大學史料編纂所編 昭和一二
 二三(追加一七)自寶龜五年九月至同二〇年二月

大日本史料 東京帝國大學史料編纂所編 昭和一二
 第八編之一九 後土御門天皇(自文明一八年九月
 第三編之三三 御水尾天皇(自元禄六年正月
 至同 同年六月)

勤王讀本 中川竹洞 昭和一二
 (二五六頁)

重野博士史學論文集 薩摩史研究會編 昭和一二
 中巻 第三編 史論(下) 第四編 人物論
 讀史餘論(三九四頁) 昭和一二

歴代詔勅集 辻善之助監修 森末義彰、岡山泰四共編
 (九七六頁) 昭和一二

大塚行藏飛騨考古學遺稿 大塚かづ 昭和一二
 (一七六頁)

原史時代の武器と武裝 後藤守一
 (四〇〇頁)
 綜合古瓦研究 依迫啓造編 昭和一二
 第一分冊 夢野第一八冊
 附圖 同(寫真版六二枚)

〇

一〇四三—一二

一〇四三—一一

二〇四三—一二

一〇四三—一一

一〇四三—一一

一〇四三—一一

一〇四三—一五

一〇四三—七九

一〇四三—七六

二〇四三—七七

新郷土戰記 大道弘編 昭和一二
 (四〇〇頁)

皇和表忠錄 熊生君平著 伊藤子因編 明治元
 (一五枚)
 日本民族と天然 白柳武(秀湖) 昭和一二
 (四一八頁)

日本民族の大陸遷元 金子定一 昭和一二
 (三四六頁)

四三一 通 史
 國史 曹文館編輯部編 昭和一二
 (四三八頁)
 國史と時代の人々 國民精神研究會編 昭和一二
 (九八四頁)
 精説日本史 竹田豊助 昭和一二
 (四五八頁)

邦文日本政記 頼山陽著 桑原聖沖譯述
 (五八二頁) 昭和九

近世日本國民史 藤宮實一郎(藤峯) 昭和一二
 第五八卷 幕府瓦解期に入る
 第五九卷 倒幕勢力擁護期

日本外史論文詳解 阪口利夫 昭和一二
 (三一七頁)
 邦文日本外史 頼山陽著 徳邊義康譯述
 (七六八頁) 昭和八

四三二 太古史及上古史
 教本古事記 佐野保太郎 昭和一二
 (二一九頁)

十種神寶口決圖説 神庭勢地大意 寫本
 日本建國史考 古事記、日本書記の讀み方 (三五〇頁)
 神野岩三郎 昭和一二

〇

一〇四三—九七六

一〇四三—九七九

一〇四三—九七七

一〇四三—九七八

冊 分類 番號

一〇四三—一五二

一〇四三—一〇〇

一〇四三—一九九

一〇四三—一三三

二〇四三—一六八

一〇四三—一三三

一〇四三—一三三

一〇四三—一三三

一〇四三—一三三

一〇四三—一三三

一〇四三—一三三

古代傳承研究 (田中忠五郎 日佛社會學會編 昭和一三
(三六八頁) (新會學研究叢書)) 一〇四二—一五

新釋大鏡 (三浦正三 昭和一四
(四三三頁)) 冊 分類 叢書
一〇四三—一五

源平時代の人々 (前川晃一 昭和一三
(二二四頁)) 一〇四三—一五九

平家物語講説 (佐々木八郎 昭和一三
(五〇一頁)) 一〇四三—一六

四三四 近古史 冊 分類 叢書
一〇四四—一六〇

元寇弘安役六十五年記念會記要 (同記念會編
(一八六頁) 昭和九) 一〇四四—一六〇

増鏡通釋 (佐成謙太郎 昭和一三
(七〇四頁)) 一〇四四—一六〇

圖太曆 (太田藤四郎編
(四八〇頁) 昭和一三) 一〇四四—一六〇

大平記の研究 (後藤丹治 昭和一三
(五三〇頁)) 一〇四四—一六〇

おあん物語 (慶長時代實物物語) (一四枚)
おさく物語 一〇四四—一六六

四三五 近世史 冊 分類 叢書
一〇四五—一四〇

柳營文武問答 (古今圖書 寫本(六二枚))
一〇四五—一四〇

水士傳 (龍崎 寫本 (乾四五枚坤五七枚))
一〇四五—一四七

幕府衰亡論 (福澤源一郎(櫻痴) 大正一五
(三七五頁)) 一〇四五—一四〇

幕末史讀本 (田中忠五郎 昭和一四
(三六九頁)) 一〇四五—一四六

鎖國論 (エンゲル(ヘルト・ケンツル)著 李和元 寫本(八三枚)) 一〇四五—一四六

匪躬論議 (寫本(三〇枚)) 冊 分類 叢書
一〇四五—一四三

四三六 近代史 冊 分類 叢書
一〇四六—一八

現代日本史研究 (杉山平助外六名
(三二七頁) 昭和一三) 一〇四六—一八

幕末志士誠忠錄 (鈴江幸次郎編
(八一五頁)) 一〇四六—一八

御親任行在所日誌 第一、二號 (慶應四
御事) 一〇四六—一四九

維新史の方法論 (服部之雄 昭和九
(二二二頁)) 一〇四六—一四四

維新傳疑史話 (牧野謙太郎 昭和一三
(二五三頁)) 一〇四六—一四三

維新史料綱要 (同史料編纂事務局 昭和一三
卷九 (自明治元年五月至同年一月)) 一〇四六—一四〇

維新史料聚芳 (乾・坤 文部省維新史料編纂事務局編
(乾四六枚坤六二枚) 昭和一三) 一〇四六—一四六

鹿兒島征討録 (初篇上、下 川口宗昌編 恒々鳴齋書
二篇上、下 明治一〇) 一〇四六—一四七

西郷隆盛暗殺事件 (日高節 昭和一三
(四六一頁)) 一〇四六—一四五

征西戦記稿 上・中・下附録 (參謀本部陸軍部圖書課編
明治一八) 一〇四六—一四八

明治大正國民史 大正概観 (白鳥武(秀樹) 昭和一三
(五〇九頁)) 一〇四六—一四七

露艦隊來航秘録 (露、ボリトウスキイ著 昭和元
時事新報社譯(四八五頁)) 一〇四六—一四七

同 最後實記 一〇四六—一四七

叢報國威激美談 (木村定次郎(小舟編
(四二二頁)) 一〇四六—一四一

支那事變 玉川豊吉、西野好夫共編 昭和一三
支那事變實記 讀賣新聞社編輯局編 昭和一三
第八輯 昭和一五年自三月一日 至三月三十一日 一〇四六—一四一
第九輯 自四月一日 至四月三十一日 一〇四六—一四一
第一〇輯 自五月一日 至五月三十一日 一〇四六—一四一
第一一輯 自六月一日 至六月三十一日 一〇四六—一四一
第一二輯 自七月一日 至七月三十一日 一〇四六—一四一
第一三輯 自八月一日 至八月三十一日 一〇四六—一四一
第一四輯 自九月一日 至九月三十一日 一〇四六—一四一
第一五輯 自十月一日 至十月三十一日 一〇四六—一四一

支那事變寫真實記 (同刊行會編 昭和一三
(四六四頁)) 一〇四六—一四三

支那事變と無敵皇軍 (一〇〇頁寫真一〇枚)
宇都宮謙編 昭和一三) 一〇四六—一四三

忠烈の皇軍 (野崎圭介 昭和一二
(三二四頁)) 一〇四六—一四九

忠烈美談 第一輯 (大日方テヲ編
(三四頁)) 一〇四六—一四〇

婦人從軍記 (山岸多喜子 昭和一三
(三五〇頁)) 一〇四六—一四二

四三七 地方史 冊 分類 叢書
一〇四七—一四

川崎市史 (川崎市役所編 昭和一三—一四
産業編(徳川時代) 通史編) 一〇四七—一四

東京市史稿 (東京市役所編 昭和一三
市街篇第二九、第三〇、第三一) 一〇四七—一四〇

會津戊辰戦争 (平石辨藏 昭和三
(五三一頁寫真版一三枚繪圖三枚)) 一〇四七—一八

沼津市誌 (沼津市郷土研究會編 昭和一二
(四八八頁)) 一〇四七—一四九

全讀史 (中山城山著 青井常太郎校訂 昭和一二
中山城山先生傳 同讀全讀史を刊行するに當つて
本文 一〇四七—一四四
附録 附註 一〇四七—一四四
正誤表 一〇四七—一四四
同讀全讀史(分類目録) 一〇四七—一四四

菊地郡勢史 (元 菊池郡役所編 昭和七) 一〇四七—一四七

長崎市史 (長崎市役所編 昭和一三
通交貿易編東洋諸國部) 一〇四七—一四一

南國史話 (川島元次郎 大正一五
(三七八頁)) 一〇四七—一四八

豊日田古代文化史 (志手原 昭和一二
(一〇五頁)) 一〇四七—一四九

別府市誌 (同市教育會編 昭和八
(六〇一頁寫真一〇枚)) 一〇四七—一七〇

豊國小志 (大分縣編 明治四〇) 一〇四七—一七二

四三八 朝鮮史 冊 分類 叢書
一〇四八—一四二

概觀朝鮮史 (宮崎五十騎 昭和一二
(一八二頁)) 一〇四八—一四二

元山發展史 (高尾新右衛門編 大正五
(八七二頁)) 一〇四八—一四三

四三九 臺灣、樺太史 冊 分類 叢書
一〇四九—一八

南方文化の建設 (幣原坦 昭和一三
(四二八頁)) 一〇四九—一八

四四〇 外國史

四四一 支那史
支那歴史研究法 (支、史、題、著) 小長谷達吉
支那正史 第二卷 唐代 國家、オウトル・フランヤ著、の成立 高山洋吉譯 (二九六頁) 昭和二三
對十八史略精説 (二八二頁) 昭和二三

○ 支那正史 第二卷 唐代 國家、オウトル・フランヤ著、の成立 高山洋吉譯 (二九六頁) 昭和二三

○ 對十八史略精説 (二八二頁) 昭和二三

○ 戰國策解説 漢譯外交論 (北村佳造) 昭和二三

○ 近世支那興亡一百年 (本山桂川) 昭和二三

○ 支那近世史講話 (熊野若吉) 昭和二三

○ 國民革命全史 (長野、昭) 昭和二三

○ 支那革命外史 (北、一、昭) 昭和二三

○ 世界史上の支那 極東將來の展望 (三〇九頁) 昭和二三

○ 四四二 亞細亞諸國史
印度史 (V.A. スミス著、鈴木武夫譯) 昭和二三

○ 乾操アジア文化史論 (松田壽男、小林元) 昭和二三

○ 荒鷲の母わたしの大戦記 (岡、リヒトホ(ペン)夫人著、坂部義郎譯) (三一六頁) 昭和二三

○ 國際スパイ戦秘話 英、H.C. バイクホーラー著、費川實譯 (二七四頁) 昭和二三

○ 世界大戦回顧録 (池崎忠幸) 昭和二三

○ 歐ドイツ史 (秋山六郎兵衛) 昭和二三

○ イタリア全史 (廣瀬貞士) 昭和二三

○ ルネサンス文化の研究 (大須仲) 昭和二三

○ フィンランド建國史話 (芬、E. レイケネン著、昭和二三)

四五〇 傳記

四五一 叢傳
學生と先哲 (阿合塔培師) 一三名 (五七〇頁) 昭和二三

○ 世界政局に躍る人々 (堀内敬三外二名) (二七八頁) 昭和二三

○ 大陸の顔 (報知新聞政治部編) 昭和二三

○ 日本及極東を論評する外國人便覽 (國史事情研究会編) (一九五頁) 昭和二三

○ 日本歷史人名辭典 (日置昌一) 昭和二三

○ 學位大系博士録 (昭和一四年版) 詞書編輯部編 昭和二三

○ 人事興信録 上・下 (内尾直三編) 昭和二三

○ 日本紳士録 (昭和一三年版) 淺野次郎編 昭和二三

○ 職員録 (昭和一三年版) 内閣印刷局發行 昭和二三

○ 武將論 (三宅肇二(雪嶺)) 昭和二三

○ 岡山縣の被贈位者 (岡山縣内務部編) 大正五

○ 人物わしが國さ (藤長二州の巻、伊藤金次郎) 昭和二三

○ 細川藩士殉忠録 (藤山英一) 昭和二三

○ 神に祀られたる日本女性 (矢野高住) 昭和二三

○ 大日本女性史 (母承訓の研究) (高群逸枝) 昭和二三

○ 日本女性文化史 (昭和二三)

四四〇 外國史

冊 分類 書號

一四四一—一七

一四四二—一八

一四四三—一九

一四四四—二〇

一四四五—二一

一四四六—二二

一四四七—二三

一四四八—二四

一四四九—二五

一四五〇—二六

一四五一—二七

一四五二—二八

一四五三—二九

一四五四—三〇

一四五五—三一

一四五六—三二

一四五七—三三

一四五八—三四

一五五九—三五

一五六〇—三六

一五六一—三七

一五六二—三八

一五六三—三九

一五六四—四〇

一五六五—四一

一五六六—四二

美談逸話の泉 (加藤隆一郎(唯堂)編) 昭和二三

○ 英雄論 (三宅肇二(雪嶺)) 昭和二三

○ 四五一 日本人叢傳
關西學界展望 (林純平) 昭和二三

○ 勤王遺烈集 (勤王事情編輯會編) (二五二頁) 昭和二三

○ 日警察勳功録 上・中・下 (吉原直次郎編) (明治二四)

○ 人物再檢討叢書 白楊社發行 昭和二三

○ 源頼朝(虎籠元男) 豊原秀吉(渡邊英三郎)

○ 新井白石(伊豆公夫) 吉田松陰(關根悅郎)

○ 徳川家康(龜井萬春大) 西郷隆盛(大原實次)

○ 陸奥宗光(榎夫清三郎) 西園寺公望(安藤信器)

○ 岩崎彌太郎(飯田忠夫) 山縣素行(上巻) 堀秀雄

○ 近戰將謀傳 (松下芳雄) 昭和二三

○ 支那忠勇列傳 忠勇顯彰會編 昭和二三

○ 陸軍之部 第一卷 第六卷

○ 漢洲上海事變之部 第一六卷

○ 友を語る (四八四頁) (批判芳之助) 昭和三四

○ 貧乏を征服した人々 (二九八頁) 昭和三四

○ 本朝武林傳 (自第一巻、諏訪忠晴) 昭和三四

○ 明治立志編 別名、民間英名傳 (津田権平編) 明治二三

○ 山鹿素行 (二〇〇頁) 昭和二三

○ 我が交遊録 (徳富猪一郎(蘇時)) (三三三頁)

○ 荒鷲の母わたしの大戦記 (岡、リヒトホ(ペン)夫人著、坂部義郎譯) (三一六頁) 昭和二三

○ 國際スパイ戦秘話 英、H.C. バイクホーラー著、費川實譯 (二七四頁) 昭和二三

○ 世界大戦回顧録 (池崎忠幸) 昭和二三

○ 歐ドイツ史 (秋山六郎兵衛) 昭和二三

○ イタリア全史 (廣瀬貞士) 昭和二三

○ ルネサンス文化の研究 (大須仲) 昭和二三

○ フィンランド建國史話 (芬、E. レイケネン著、昭和二三)

○ 日本及極東を論評する外國人便覽 (國史事情研究会編) (一九五頁) 昭和二三

○ 日本歷史人名辭典 (日置昌一) 昭和二三

○ 學位大系博士録 (昭和一四年版) 詞書編輯部編 昭和二三

○ 人事興信録 上・下 (内尾直三編) 昭和二三

○ 日本紳士録 (昭和一三年版) 淺野次郎編 昭和二三

○ 職員録 (昭和一三年版) 内閣印刷局發行 昭和二三

○ 武將論 (三宅肇二(雪嶺)) 昭和二三

○ 岡山縣の被贈位者 (岡山縣内務部編) 大正五

○ 人物わしが國さ (藤長二州の巻、伊藤金次郎) 昭和二三

○ 細川藩士殉忠録 (藤山英一) 昭和二三

○ 神に祀られたる日本女性 (矢野高住) 昭和二三

○ 大日本女性史 (母承訓の研究) (高群逸枝) 昭和二三

○ 日本女性文化史 (昭和二三)

冊 分類 書號

一四五一—三二

一四五二—三三

一四五三—三四

一四五四—三五

一四五五—三六

安場咬榮・父母の追憶 (村田保定編 昭和一三) 一四九八六〇
 青年吉田松陰 (上田庄三郎 昭和一三) 一四九八八三
 教師吉田松陰 (三七八頁)

汪兆銘を語る (成多野龍一外九名 青年書房編 昭和一四) 一四五九一〇
 (二〇二頁) 寫眞二枚
 成吉思汗 (ラルフ・フォックス著 加藤朝鳥譯 昭和一三) 一四五九一五
 (三三二頁)
 成吉思汗傳 (蒙、エレンジン・ハラ・ダワン著 本間七郎譯 昭和一三) 一四五九二四

○ キュリー夫人傳 (佛、エーヴ・キュリー著 川口篤外三名共譯 昭和一三) 一四五九四一
 (六四八頁)
 シヤハト傳 (獨、フランク・ロイヤル著 小山倉之助譯 昭和一三) 一四五九四二
 (三五七頁)
 ダーウィン傳 生涯と學說 (佛、マルセル・ブルナン著 昭和一三) 一四五九四三
 (二五五頁)
 わが闘争 (獨、アドルフ・ヒットラー著 昭和一三) 一四五九四二
 (大久保康雄譯 三六六頁)
 フォツシュニ元師 (石丸隆三 昭和一三) 一四五九四三
 (五〇五頁)
 ムツソリーニ自叙傳 (伊、B. ムツソリーニ著 木村 毅譯 昭和一三) 一四五九四二
 (四〇〇頁)
 ソグネル先生追憶集 (梅田吾五郎編 昭和一三) 一四五九四三
 (四三三頁)

四六〇地誌、紀行

國境政治地理 (岩田孝三 昭和一三) 一四六〇一七
 (四四八頁)
 四六三 世界紀行及案内記 冊 分類 番號
 歐米見たま (宮田均 昭和一三) 一四六〇一九

外航見聞誌 (山邊權太郎 明治二三) 一四六三一九
 (二〇二頁) 地圖一枚
 最後の飛行 (米、イヤハート著 北條小松譯 昭和一三) 一四六三一
 (二五八頁) 寫眞一三頁
 世界を私の家として (賀川豊彦 昭和一三) 一四六三一
 (三三四頁)
 日記世界の顔 (尾山一郎 昭和一三) 一四六三一
 (三六九頁)

四六九 雜 書
 ヒマラヤ山探險 (長田忠一(秋津) 昭和二三) 一四六九一三
 (二二〇頁)
 ヒマラヤ探査行 (獨、パウエル・パウエル著 小池新二譯 昭和一三) 一四六九一九
 (一九九頁)
 山に逝ける人々 一九三八年版 (春日俊吉 昭和一三) 一四六九一八
 (四四二頁)
 山の人達 (高橋文太郎 昭和一三) 一四六九一三〇

四八〇本邦誌

完璧日本地理 (手塚一夫 昭和一四) 一四八〇一七
 (五四八頁)
 最もわかりやすい新日本地理 (谷口雄之助 昭和一三) 一四八〇一六
 (三二八頁)
 四八一 事業、書目、索引 冊 分類 番號
 日本地名大辭典 澤田久雄編 昭和一二一一三 六〇四八一九
 第一卷 アーエ 第二卷 オーカ 第三卷 キーコ 第四卷 サーチ 第五卷 クーヒ 第六卷 フーワ
 全國交通市町村名大鑑 昭和一三年版 日下伊兵衛 昭和一三改訂 一四八一一九
 附、全國専當高等小學校名簿

四八三 紀行及案内記
 草衣集 (野上豊一郎(白川) 昭和一三) 一四八三一五
 (二九〇頁)
 旅・土・人 (浦本清淵 昭和一三) 一四八三一五
 (二九三頁)
 改日本案内記 鐵道省編 昭和一二一一三 三〇八三〇六
 (關東篇、東北篇、北海道篇)
 わが旅の記 (吉田庄三郎 昭和一三) 一四八三一五
 (四五二頁)

○ 旅程と費用概算 昭和一三年版 (日本旅行協會 昭和一三) 一四八三一四
 (二〇五八頁)

○ 雲と草原 (尾崎喜八 昭和一三) 一四八三二七
 (二六六頁)
 こゝろの山 (蓮子八郎 昭和一三) 一四八三二七
 (二八一頁)
 登山と植物 (武田久吉 昭和一三) 一四八三二七
 (四一四頁)
 山をめぐる行爲と夢 (岡、エリツヒ、マイエル著 昭和一三) 一四八三二七
 (四四四頁) 荒井道太郎譯
 山・原野・牧場 (坂本直行 昭和一三) 一四八三二七
 (二二二頁)
 山路の旅 (田部重治 昭和一三) 一四八三二七
 (二七五頁)
 山の繪本 (尾崎喜八 昭和一三) 一四八三二七
 (三四六頁)
 山の遭難生還者 (春日俊吉 昭和一二) 一四八三二七

○ 郷土の書 (和田寛重 昭和一三) 一四八三九五
 (三〇〇頁)
 四八四 本 州 冊 分類 番號

安政見聞録 上・中・下 服部共著 安政三 一四八四一六
 伊勢七豆全圖 附、無人島八十山奥圖 阿部喜任外二名校訂 一四八四一七
 相武郡海防圖
 名勝大東京と近郊 (帝都教育會編 昭和一二) 一四八四二〇
 (五四〇頁)
 日光叢書 (東原宮社事務所編 昭和一二) 一四八四二七
 (四七七頁)
 第八卷 御書所日記入 自延享二年正月至寶曆三年二月
 見伊勢國繪圖 冊 一〇九一二

○ 出雲國風土記 (鳥根敏教育會編 昭和一二) 一四八四一七
 (二九二頁)

四八五 四 國 冊 分類 番號
 お通路 (高野逸枝 昭和一三) 一四八五一九
 (二八八頁)
 四 國 鐵道省編 (三〇六頁) 昭和一二 一四八五一〇
 四八六 九州、琉球 冊 分類 番號
 をなり神の島 (伊波普猷 昭和一三) 一四八六一五
 (四三七頁)
 九州山岳 第二輯 (新島章男編 昭和一三) 一四八六一五
 (三九三頁)
 新撰名勝地誌 卷一〇 (西海道之部 田山花袋編 大正三) 一四八六一七
 (六二〇頁)
 長崎縣管内全圖 長崎縣地理係編 冊 一〇九一三

四八七 北 海 道 冊 分類 番號
 蝦夷今昔物語 (英、T. パチェラー 昭和一三再版) 一四八七一六
 (三四枚)

函館大火災害誌 (池田清編 昭和一二)

四八八 朝鮮

按世宗實錄地理志 索引并 朝鮮總督府中樞院調査課編 昭和一二
半島の山と風景 (竹中 要 昭和一三)

四八九 臺灣、樺太

昭和新竹州震災誌 (新竹州編 昭和一三)
一〇年新竹州震災誌 (七八四頁寫眞二一頁圖表五頁)
臺灣、沖繩の旅 (松田毅一 昭和一二再版)
ローマ字臺灣市街庄名の讀み方 (新道 滿編 昭和一三)

四九〇 外國誌

四九一 亞細亞諸國誌

大陸縱斷 (山本實彦 昭和一三)
婦人大陸旅行記 (西エラ・マイアル著 多賀實彦譯 昭和一三)
糖 粗 (藤藤利夫 昭和一三)
東洋の旗 (飯島 正 昭和一三)
白頭山定界碑 (藤田怡策 昭和一三)
北支・シベリア・蒙古 (佐藤 弘編 昭和一三)
蒙古シベリア踏破記 (露、エドガー・ヘルトマン著 田中修治譯 (三四一頁) 昭和一三)
樂土、激土 (野依秀一 昭和一三)

四九三 支那誌

支那 (大橋鐵哉譯 (三七〇頁) 昭和一三)
支那經濟地理概論 (露、ユ・イ・バチニ著 堀江色一譯 (三〇二頁) 昭和一三)
新支那地誌 (國松久編 昭和一三)
支那常識讀本 (山口清太郎 昭和一四)
支那全土 (片山繁雄 昭和一四)
支那と支那人と日本 (杉山平助 昭和一四)
新舞臺支那 (長野 朝 昭和一三)
西陲要略 卷一—二 (支、張運漢校訂 (卷一・一八枚、卷二・二七枚)
大黃河 (大阪毎日新聞社編 昭和一三)

興亡の支那を凝視めて (山本實彦 昭和一三)

支那を知れ (後藤朝太郎 昭和一三)
支那邊疆視察記 (支、陳廉孫著 井上紅梅、武田泰津共譯 (四九六頁) 昭和一三)
新支那旅行案内 (後藤朝太郎 昭和一三)
長江千里 (後藤朝太郎 昭和一三)
北支中支の風物 (藤田元春 昭和一三)
游牧雜筆 (諸橋邦次 昭和一三)
私の見た支那 (雨宮 潤 昭和一二)

滿洲地名の研究 (岩瀬弘一郎 昭和一三)

蒙 疆 (保田與重郎 昭和一三)
蒙古大觀 (昭和一三年版 (六七四頁) 長岡謙吉調査部編 昭和一三)
蒙古地誌 上・中・下 (柏原孝久、濱田純一 大正八)
蒙古の實態を探る (德廣桂讀 昭和一三)

四九四 亞細亞諸國誌

露沿海地方及樺太 第一輯 (小林九郎編 大正一一)

四九五 東洋諸國誌

壓制下の印度 (世界經濟地理學界編 宮城毅介譯 昭和一三)

四九六 亞弗利加諸國誌

アフリカ (百々巳之助、登山哲夫 昭和一三)

四九七 歐羅巴諸國誌

訪歐手帖 (鈴木良雄 昭和一三)
續フランス通信 (藤澤欽一 昭和一三)
伸びゆく獨逸 (佐倉京雄 昭和一三)

北支那總覽 (松室孝貞九名著 東亞協會編 昭和一三)

北支案内 (布利林 昭和一三)

北支の新生活案内 (小倉章安 昭和一二)

江南百題 (西崎 昭和一三)

昆明(雲南) (河合朝吉 昭和一三)

中國の西北角 (支、長江著 松枝茂夫譯 (三八九頁) 昭和一三)

蘭州・西安・寧夏 (支、長江著 池田 孝譯 (二七四頁) 昭和一三)

南支那 (藤田元春外二名共著 大阪毎日新聞社編 昭和一四)

黑龍江省上・下 (滿鐵庶務部調査課編 大正一三)

趣味の滿蒙風土記 (川島土路 昭和一三)

東遼紀行 (岡宮林藏著 滿鐵大連圖書館編 昭和一三)

謎の東邊道を探る (江崎利雄 昭和一三)

北滿風土雜記 (水野清一外二名共著 昭和一三)

滿洲國現勢 (廣傳五年版 (五三四頁寫眞六四頁) 東亞經濟調査局編 昭和一三)

滿洲讀本 (昭和一三年版 (四〇八頁) 東亞經濟調査局編 昭和一三)

一四七—一七

冊 分類 番號

二四八—三五

冊 分類 番號

一四八—一三二

冊 分類 番號

一四九—一四

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

一四九—一三

東の日本・西の獨逸 (佐堂卓雄 昭和一三) 一四九七—一三〇

○ 内から見た謎のソ聯 (樋口英代 昭和一三) 一四九五—三七

科學者の見たソ聯 (上床國夫 昭和一三) 一四九五—三五

ソ聯現狀讀本 (茂森唯士 昭和一三) 一四九五—三四

蘇聯邦要覽一九三八年版 (角谷健次 昭和一三) 一四九五—三六

○ 伊太利亞一九三八年版 (光永星郎編 昭和一三) 一四九七—六—三

○ 中庸を行くスキーデン (M・W・チャイルド著 昭和一三) 一四九七—八—五

四九八 亞米利加諸國誌 (小泉信三 昭和一三) 一四九六—四八

アメリカ紀行 (二八二頁) (二八二頁)

アメリカ通信 (萩原井泉水 昭和一三) 一四九六—四九

最 五十年間米國繁昌記上・下 (高橋光成譯) 一四九六—五一

北米舌の聖戰 (中村嘉壽 昭和一三) 一四九六—五〇

四九九 濠洲及南洋諸島誌 (佐田弘治郎 昭和一三) 一四九九—九三

南洋叢書 第三卷 英領マレー篇 (第四卷 シヤム篇) (飯塚浩二 昭和一三) 一四九九—九五

北緯七十九度 (二六五頁) (二六五頁)

五〇〇 法 制

近世法制史料叢書 石井良助編 昭和一三

五〇一 法 制 史

日本法制史要 (隈崎 渡 昭和一三)

五〇〇 國 家 學

國家構造論 (尾高朝雄 昭和一三) 四版 (五三五頁)

國家論 (獨、ブルンチエリ著 平田東助 平塚定二郎共譯) (四三三頁) 明治二二

政治統制論 (今中次爾 昭和一三) (八四四頁)

日本學 日本國家學 (佐治謙謙 昭和一三) (五五二頁)

五〇一 政 治 史 及 政 治 學 史

日本憲政史大綱 下卷 (尾佐竹 猛 昭和一四) (八四二頁)

明治初年の立憲思想 (鈴木安藏 昭和一三) (三五四頁)

明治政治史點描 (尾佐竹 猛 昭和一三) (三〇六頁)

蒙古政治史 (後藤富男 昭和一三) (三〇三頁)

五〇三 憲 法

蒙古政治史 (後藤富男 昭和一三) (三〇三頁)

新帝國憲法義解 (伊藤博文 昭和一三) 五版 (二四七頁) 一五三—六二

帝國憲法講義 (里見淳雄 昭和一三) (二六四頁) 一五三—六三

帝國憲法條義 (田畑 忠 昭和一三) (四二七頁) 一五三—六四

帝國憲法要論 (山崎又次郎 昭和一三) (五三七頁) 一五三—六一

ナチス獨逸國の修正憲法 (土橋友四郎 昭和一三) (二〇四頁) 一五三—一九

五〇四 議 院 法、選 舉 法

貴族院改革の諸問題 (伊藤二郎九 昭和一三) 再版 (二五〇頁) 一五四—三四

○ 二十國會未來記 (服部誠一(撫松) 明治一九) (二二三頁) 一五四—三二

第七三回衆議院議事摘要 上・中・下 (衆議院事務局編 昭和一三) 三五—四—一四

○ 第七帝國議會議事速記錄集 (自昭和一一、一二、一三) (至同) 一、二、三 內閣印刷局編(官報號外) 昭和一二) 一五四—一一

五〇五 行 政 法

訂改日本行政法 下卷 (渡邊宗太郎 昭和一三) (五五九頁) 一五五—二四

○ 行政機構の基礎原理 (田村徳治 昭和一三) (二六〇頁) 一五五—二三

近衛内閣 (加藤政之助監修 塚田昌夫編 昭和一三) (五〇〇頁) 一五五—二三

一五二—三三

一五二—三二

一五二—三一

一五二—三〇

一五二—二九

一五二—二八

一五二—二七

一五二—二六

一五二—二五

一五二—二四

一五二—二三

一五二—二二

- 勳章の知識 齊藤昌司 昭和一三 一〇一五五三―一〇一五五三一四
- 恩給法解説 附、恩給金庫法及 借入方法 (水田一夫編 昭和一三) 一〇一五五四―一〇一五五五〇
- 改正恩給法解説 議員金三 昭和一二改訂 七册 一〇一五五四―一〇一五五五〇
- 五二六 内務行政
 - 巡查實際試験問題集 楠原清次 昭和一三 一〇一五六二―一〇一五六三
 - 家庭防空讀本 波多野繁義 昭和一四 一〇一五六三―一〇一五六四
 - 燈火管制指針 川上和吉 八木金藏 昭和一三 一〇一五六五―一〇一五六六
 - 防空手簿 西部防衛司令部編 昭和一三 一〇一五六七―一〇一五六八
- 五二七 地方行政
 - 英國自治制度の研究 小川市太郎 昭和一三 一〇一五七一―一〇一五七二
 - 自治制度論文集 東京市政調査會編 昭和一三 一〇一五七三―一〇一五七四
 - 自治制施行五十周年の回顧と地方自治の諸問題(水野鍾太郎) 地方自治の回顧と將來(小橋一太) 自治史觀(菊池清三) 地方自治の回顧と展望(坂千秋) 三新法時代の自治制の制定(龜井川清) 文明開化時代の東京(加田哲二) 市町村に於ける私法關係(公益企業法の發展(平野義太郎) 地方自治の我が國の展開(近藤操) 公民自治の可能性(前田多門) 一〇一五七五―一〇一五七六
 - 地方行政組織の基礎(鐵山政道) 地方自治組織に於ける執行機關の強化(渡邊宗太郎) 市町村行政の政治化(宇賀田順三) 府縣論(入江俊郎) 東京に關する特別地方制度に就いて(清水澄) 地方自治の過・現・未(杉村章三郎) 自治制度改革の必要と其の方向(岡崎勉) 青年學校義務制に就いて(關口幸) 地方自治の現狀(神戶正徳) 地方財政調整交付金制度(沙見三郎) 地方自治の現狀(石家七郎) 地方自治制度改正の根本觀念(佐々木惣一) 自治制五十年統計摘要(藤岡謙一) 一〇一五七五―一〇一五七六
 - 東京市政概要 昭和一三年版 東京市役所編 昭和一三 一〇一五七三―一〇一五七四
 - 大分縣町村沿革誌 佐藤慶太郎 明治四二 一〇一五七四―一〇一五七五
 - 有栖川宮記 選錄 第六輯 高松宮家發行 昭和一三 一〇一五七五―一〇一五七六
 - 念厚生資命 選錄 第一輯 (二二九頁) 一〇一五七五―一〇一五七六
 - 五二九 論說、雜書
 - アジア宣戰 清水宣雄 昭和一三 一〇一五七五―一〇一五七六
 - 亞細亞の明日を語る 王子 惠 昭和一三 一〇一五七五―一〇一五七六
 - イタリヤ政治經濟大觀 (三、八、九) ナシカ著 白谷忠三譯 一〇一五七五―一〇一五七六
 - インドの叫び 印、ボリス・ラス・ビハリ著 昭和一三 一〇一五七五―一〇一五七六
 - 英國を撃つ 武蔵員一 昭和一二 一〇一五七五―一〇一五七六
 - 英國の觀た日支關係 ロンドン王家國際問題研究所編 堀江邑一譯 (二六二頁) 昭和一三 一〇一五七五―一〇一五七六

- 崩れゆく支那 米、H・アーベント著 梓 喜多男譯 (二九三頁) 昭和一三 一〇一五九二―一〇一五九三
- 現代英國論 伊東 敬 昭和一三 一〇一五九四―一〇一五九五
- 現代支那の變革過程 田中香苗 昭和一三 一〇一五九六―一〇一五九七
- 皇 戰 高島辰彦 昭和一三 一〇一五九八―一〇一五九九
- 抗戰支那と列強 原 壽 昭和一二 一〇一六〇〇―一〇一六〇一
- 皇道日本の世界化 徳富蘇一(徳、蘇峰) 昭和一三 一〇一六〇二―一〇一六〇三
- 國家總力戰 岡、ルイ・アンドン著 岡野俊夫譯 昭和一三 一〇一六〇四―一〇一六〇五
- 國際秘密力の話 長谷川泰造 昭和一三 一〇一六〇六―一〇一六〇七
- 國民の求むるもの 三宅直一 昭和一三 一〇一六〇八―一〇一六〇九
- 「心の國」日本と「物の國」英國 新庄南治郎(楓亭) 最近日本の國際的地位 鹿島守之助 昭和一三 一〇一六一〇―一〇一六一一
- 時代を搏つ 清瀬一郎 昭和一三 一〇一六一二―一〇一六一三
- 昭和維新 松岡洋右 昭和一三 一〇一六一四―一〇一六一五
- 支那事變と國內革新 精田 工 昭和一三 一〇一六一六―一〇一六一七
- 支那論 内田虎次郎、湖南著 内藤乾吉編 昭和一三 一〇一六一八―一〇一六一九
- 新支那論 池崎忠孝 昭和一三 一〇一六二〇―一〇一六二一
- 新生支那經營論 梨本祐平 昭和一三 一〇一六二二―一〇一六二三
- 新生支那と日本 德澤太夫 昭和一三 一〇一六二四―一〇一六二五
- 新生支那と明朗北支 早坂義雄 昭和一三 一〇一六二六―一〇一六二七
- 新東亞建設と史觀 船橋岩吉 昭和一四 一〇一六二八―一〇一六二九
- すめらあじあ 鹿子木貞信 昭和一二 一〇一六三〇―一〇一六三一
- 政治と文化 佛、アラソ著 水野成夫 淺野見共譯 昭和一二 一〇一六三二―一〇一六三三
- 青年將校と共に國家を語る 中野實美 昭和一三 一〇一六三四―一〇一六三五
- 世界政治の基礎知識 米、D・ホイモーン 共著 白谷忠三譯 一〇一六三六―一〇一六三七
- 世界の變局と日本の世界政策 鐵山政道 昭和一三 一〇一六三八―一〇一六三九
- 世界の變貌 鐵山政道 昭和一三 一〇一六四〇―一〇一六四一
- 戦後に於ける日本と支那 菅 勇 昭和一四 一〇一六四二―一〇一六四三
- ソ聯の暗黒面 露、タリグイフキー著 三宅邦男譯 昭和一三 一〇一六四四―一〇一六四五
- 大英帝國主義批判 室伏高信 昭和一二 一〇一六四六―一〇一六四七
- 大英帝國當面の諸問題 グラハム・ハットン外一八名著 堀江邑一譯 昭和一三 一〇一六四八―一〇一六四九
- 大陸經綸の指導原理 藤澤親雄 昭和一三 一〇一六五〇―一〇一六五一
- 大陸支那 米、H・アーベント著 梓 喜多男譯 昭和一三 一〇一六五二―一〇一六五三
- 斷末魔の支那 小林誠一郎 昭和一三 一〇一六五四―一〇一六五五
- 轉換期日本の政治經濟 山崎清純 昭和一三 一〇一六五六―一〇一六五七
- 東亞の世紀に序す 濱伏高信 昭和一三 一〇一六五八―一〇一六五九
- 東亞明朗化のために 船田 中 昭和一三 一〇一六六〇―一〇一六六一
- 東亞聯盟論 宮崎正義 昭和一三 一〇一六六二―一〇一六六三
- 東洋平和の鍵 岡、アルフレッド・バルタ著 山内明譯 一〇一六六四―一〇一六六五
- なぜ極東に干渉するか? 米、B・D・ヒューリイ 共著 T・D・ヒューリイ 三上正賢譯 昭和一三 一〇一六六六―一〇一六六七
- 日支共存史 常田 力 昭和一三 一〇一六六八―一〇一六六九

日本の物與と政治の轉換 (大串重代夫 昭和一三) 一五二四—八
 爲進 (武藤貞一 昭和一三) 一五二四—二
 フランスを中心 (重徳源水 昭和一三) 一五二四—九
 下手な政治 (藤尾圭計 昭和一三) 一五二四—四
 世界圖説のユダヤ議定書 (S・ニール著 久保田榮吉譯 大隈謙 譯 譯原文共二五六頁) 昭和一四 一五二四—七
 理蕃誌稿 (臺灣總督府警務局編 昭和一三) 一五二四—八
 第五編 庶説(大正一〇—一五) 一五二四—八
 ロシヤはどうか出るか (大内俊 昭和一二) 一五二四—九
 我が統制策 (伊・B・ムワツリニイ著 里見伸一郎譯 昭和一三 再版) 一五二四—五

五二〇 法律

第七十三新法律の解説附、新法令條文 (我妻榮 昭和一三) 一五〇—三
 帝國議會 (四八九頁) 一五〇—三
 法律學の課題としての神 (牧野英一 昭和一三) 一五〇—二
 イギリス證據法研究 (峯岸治三 昭和一三) 一五〇—八
 英國刑事裁判の研究 (田村豐 昭和一四) 一五〇—九
 獨裁政と法律思想 (高柳賢三 昭和一三) 一五〇—五
 法學概論 (佛、ガストン・メイ著 吉田久解説 昭和一三) 一五〇—七
 ニアリス帝學說彙纂 (春木一郎譯 昭和一三) 一五〇—六

五二一 法規

解釋法令叢書 日本評論社發行 昭和一三—一四 三〇—五
 第五卷 産業組合法(小平權一) 一五二—七
 第六卷 軍事情報法(日高巳雄) 一五二—三〇
 第七卷 工業所有權法(岩佐美) 一五二—三〇
 國家總動員法解説 (唐島基智三 昭和一三) 一五二—二七
 國家總動員法の解説 (塚田一甫 昭和一三) 一五二—三〇
 戰時體制法講話 (早稲田大學法理同友會編 昭和一四) 一五二—一九
 六法全書 參考條文加除自在 (鈴木義男監修 昭和一四 改訂) 一五二—三二

五二二 民法

財產法概論 (林信雄 昭和一四) 一五三—四八
 註日本民法 (債權編 田島顯外五名 昭和一二) 一五三—四六
 民法讀本 (桑田義雄監修 昭和一四) 一五三—四七
 民法總則 (田島顯 昭和一三) 一五三—二〇
 所有權契約その他の研究 (末川博 昭和一四) 一五三—二四
 債權總論 (須賀喜三郎 昭和一三) 一五三—二六
 債權法講義案 (我妻榮 昭和一二) 一五三—二五

轉形期における私法理論 (林信雄 昭和一三) 一五三—二七
 親族法講義要綱 (近藤英吉 昭和一三) 一五三—二六
 親族法論考 (角田幸吉 昭和一二) 一五三—二五
 相續法論 下巻 (近藤英吉 昭和一三) 一五三—一九
 判例遺言法 (近藤英吉 昭和一三) 一五三—一八
 不動産登記法 (杉之原舜一 昭和一三) 一五三—一七
 判不動産法の研究 (淺井清信 昭和一三) 一五三—一六
五二三 商法

改正商法解説 (西本直一 昭和一三) 一五三—一三
 改正商法の話 附、有限會社法解説 (武市春男 昭和一三) 一五三—一五
 商事判例回顧 (小町谷操三 伊澤孝平 昭和一三) 一五三—一三
 頭註修正商法改正法 (寺尾元吉編 昭和一三) 一五三—一四
 新商法大要 (野津務 昭和一三) 一五三—一三
 改正商法總則概論 (田中壽太郎 昭和一三—一四版) 一五三—一八

新會社法精解 (桑田義雄監修 昭和一三) 一五三—二二
 新株式會社法と其實務 (富山富 昭和一三) 一五三—二三
 滿洲國會社法規解説 (「舊公司とその」木村武盛編 昭和一三) 一五三—二二
 株券法論 上巻 (寺尾元吉 昭和一三) 一五三—二二
 小切手實體論 (廣川元夫 昭和一三) 一五三—二三
 手形法・小切手法 (西島彌太郎 昭和一三) 一五三—二三
 海上保險契約論 上巻 (今村有 昭和一三) 一五三—一五
 漁船保險法解説 (宮崎賢一 昭和一三) 一五三—一四
 破産理論の研究 (小野木常 昭和一三) 一五三—一四
 滿洲國商人通法概説 (佐藤義雄 昭和一三) 一五三—一四
五二四 刑法

刑事政策汎論 (正木亮 昭和一三) 一五四—四三
 刑法讀本 (桑田義雄 昭和一三) 一五四—四二
 刑法の三十年 (牧野英一 昭和一三) 一五四—三九

人格主義の刑法理論 (安平政吉 昭和一三) 一五四一四四
 日本刑法 上巻 總論 牧野英一 昭和一二一一三 二五四一四〇
 下巻 各論 牧野英一 昭和一二一一三 一五四一四一
 犯罪論序説 (藤川幸辰 昭和一三) 一五四一四二
 犯罪實話と探偵術 (中村眞正 昭和一三 再版) 一五四一四五
 五二五 訴訟法 (四一四頁)
 岸清一訴訟記録集 岸岡門會編 昭和一三一一四 冊 分類 番號
 行政 第二輯 二一五五一四
 特許審判官第二輯
 行政 第三輯
 保全處分の研究 (吉川大二郎 昭和一二) 一五五一六
 (五四一頁)
 民事訴訟法要義 第五卷 (朝野長良 昭和一二) 一五五一九
 (三五九頁)
 強制執行法概論 (小野木常 昭和一三) 一五五二二
 (五八二頁)
 判例競賣法 (全) 登編 昭和一三 一五五二一九
 (四二七頁)
 判例、調停、任意破産登記註解 上・下 坂本國夫外二名
 合、學說、強制執行 昭和一三 一五五二二〇
 日本刑事訴訟法 (安平政吉 昭和一三) 一五五二二三
 (七〇七頁)
 五二八 國際法 冊 分類 番號
 外國人ノ對支經濟活動ノ法的根據 第一、三、四卷 齊藤良樹昭和一二 一五八二二〇
 外交回想斷片 (石井菊次郎 昭和一四) 一五八二八三
 (三四六頁)
 魂の外交 (本多熊太郎 昭和一三) 一五八二八〇
 (三五八頁)
 帝國外交の基本政策 (鹿島守之助 昭和一三) 一五八二七九
 (四八四頁)
 德川時代の日運國交 (都司喜一 昭和一三) 一五八二八四
 (二二〇頁) (經濟資料別冊)
 日支事變外交觀 (本多熊太郎 昭和一三) 一五八二八五
 (四一〇頁)
 日本外交論 (依藤忠雄 昭和一三) 一五八二八六
 (二五二頁)
 日本近世外交史 (渡邊隆治郎 昭和一三) 一五八二八二
 (四九四頁)
 日本戰時外交史話 (渡邊隆治郎 昭和一二) 一五八二七七
 (三九一頁)
 雄邦日本の東亞復興 (三枝茂智 昭和一三) 一五八二八八
 (四二二頁)
 同
 新國際讀本 (平野等 昭和一三) 一五八五一九
 (四二九頁)
 五二九 論說、雜書 冊 分類 番號
 國民常識讀本 (山下光太郎 昭和一二) 一五九一二八
 (二九四頁)
 訴訟に勝つ秘訣、日本法律知識普及會編 昭和一三 一五九一二〇
 (二二七頁)
 パンテオンの人々 (牧野英一 昭和一三) 一五九一二二
 (三三九頁)
 夫婦と親子 (片山眞雄 昭和一二) 一五九二一九

五三〇 古代法制 冊 分類 番號
 高野山領莊園の研究 (江頭恒治 昭和一三) 一五三〇一六
 (四六八頁) (日本莊園の研究第一輯)
 大化改新の研究 (坂本太郎 昭和一三) 一五三〇一五
 (六三二頁)
 五三一 武 家 冊 分類 番號
 中世武家不動産訴訟法の研究 (石井良助 昭和一三) 一五三一三三
 (六四七頁)
 五三四 儀式典例 冊 分類 番號
 建武年中行事略解 (八五枚) 享保一七 一五三四一七九
 冊 分類 番號
 五三六 支那古代法制 冊 分類 番號
 爲政三部書原名「三事」(廟堂、風叢、牧民) 忠告宋、張養浩著
 (一四四頁) 昭和一三 一五三六一一四
 五四〇 經 濟 冊 分類 番號
 技術者用經濟學 (須之内文雄 昭和一三) 一五四〇一三〇
 (二六三頁)
 經濟學概論 (高田保馬 昭和一三) 一五四〇一三七
 (三二二頁) (理論經濟學叢書第八篇)
 經濟學方法史 (杉村廣成 昭和一三) 一五四〇一三四
 (二四四頁)
 經濟原論教材 (桑原 晉 昭和一三) 一五四〇一三六
 (一七二頁)
 經濟講話 (波多野 昭 昭和一三) 一五四〇一三九
 (四八五頁)
 經濟哲學通論 (杉村廣成 昭和一三) 一五四〇一三九
 (二三八頁)
 經濟本質論 (大國信行 昭和一三 二版) 一五四〇一三三
 (三四〇頁)
 經濟倫理の構造 (杉村廣成 昭和一三) 一五四〇一三三
 (二八二頁)
 國民經濟學體系 (岡、F・リット著 各口吉彦 昭和一三) 一五四〇一三五
 (五一九頁)
 生活經濟學研究 (宮田實代藏 昭和一三) 一五四〇一三三
 (三三三頁)
 獨逸經濟學の道 (E・ウイスキマン、H・リットケ共編 金子 弘譯 (三五八頁) 昭和一三) 一五四〇一三五
 (三八八頁)
 日本經濟學への道 (土方成美 昭和一三) 一五四〇一三六
 (三八八頁)
 日本經濟政策大系 千倉書房發行 昭和一三 二五四〇一三三
 日本資源政策(松井春生)
 日本物價政策(高橋龜吉)
 〇
 統制法令集 末弘繁太郎監修 廣澤武文編 昭和一三 一五四〇一三三
 物質制限の法規と解説 (商工行政調査會編 昭和一三) 一五四〇一三一
 (三四三頁)
 五四一 經濟史、經濟學史 冊 分類 番號
 朝日經濟年史 昭和一三年版 (大道弘編 昭和一三) 一五四〇一三一
 (六〇〇頁)
 戰時體制下の日本經濟
 英國經濟史要 (本位田詳明 昭和一三 改訂) 一五四〇一七八
 (二四三頁)
 經濟學說史上・下 (佛、シャルル・リット共著 宮川貞一郎譯 (一九〇頁) 昭和一三) 一五四〇一八二
 (二六五頁) 昭和一三 四版
 財界不連續線 (安部徳三 昭和一三) 一五四〇一七九
 (二九〇頁)
 支那經濟史研究 (岡、グイットフォード著 横川次郎譯 (二六五頁) 昭和一三 四版) 一五四〇一八一
 支那社會經濟史の分析 (支、チャオノナン著 佐渡愛三譯 (二六〇頁) 昭和一三) 一五四〇一七七
 世界經濟恐慌史 (露、エ・グアルガニ著 永住道雄譯 (五五八頁) 昭和一三) 一五四〇一八〇

五四二 資本、企業	冊 分類 番號
貸家投資の研究 玉塚博伍 昭和一三	一五四二—四九
カルテル經營論 國弘貞人 昭和一三	一五四二—四五
企業の實務知識 津野良 昭和一三	一五四二—四四
不動産評價の理論と實際 改訂社發行 昭和一三	一五四二—四八
第二卷 果樹園、特殊田畑 鎌木林富(花島得二)	
プロテスタントイデオロギの論理と 國、M・ウエーバー著	一五四二—四六
資本主義の精神 梶山力雄 昭和一三	
(二四九頁) (經濟學名著翻譯叢書第四卷)	
五四三 貨幣、金融、物價、恐慌	冊 分類 番號
貿易・爲替・物價論 廣谷善一 昭和一三	一五四三—一七
貨幣商品としての「金」 F・E・ミハレフスキー著 昭和一三	一五四三—一五
金本位制離脱後の通貨政策 深井英五 昭和一三	一五四三—一六
金融の常識 金原實之助 昭和一三	一五四三—一五
金融論研究 正井敏夫 昭和一三	一五四三—一五
(三四六頁) (經濟學研究叢書第二編)	
國際金融の主要問題 大島堅造 昭和一四	一五四三—一五
庶民金融概説 藤田七郎 昭和一四	一五四三—一八
新金融論 牧野博賢 昭和一三	一五四三—一五
(五〇五頁) (經濟學叢書第七卷)	
同	一五四三—一五
動搖期の金融學說 夏木光太郎編 昭和一三	一五四三—一七
五四四 土地、人口	冊 分類 番號
市街地價格論 杉本正幸 昭和一三	一五四四—一〇
人口問題全國協議會報告書 第一回 人口問題研究會編	一五四四—一八
(人口問題資料第三十輯) (八二八頁) 昭和一三	
人口理論と國際貿易 南亮三郎 昭和一三	一五四四—一九
(經濟學名著翻譯叢書第四卷)	
新人口論 謝、スレーヴィツナ著 酒井靜夫譯 昭和一三	一五四四—一七
(六三〇頁)	
五四五 貨金、利子	冊 分類 番號
遲延利息論 岩田新 昭和一四	一五四五—一三
五四六 爲 替	冊 分類 番號
外國爲替管理の實際 「第一號省令の 外國爲替研究會編	一五四六—一六
解説及其の手續」(三五六頁) 昭和一三訂正	
外國爲替讀本 山崎晴純 昭和一三 新訂再版	一五四六—一五
(三六七頁)	
外國爲替の常識 内野太郎 昭和一二	一五四六—一三
爲替清算協定概論 小泉實一 昭和一三	一五四六—一四
(二九五頁)	
五四七 組合、保險、貯金	冊 分類 番號
協同組合の基礎知識 藤田七郎 昭和一三	一五四七—一〇
(四六六頁)	
協同組合論 八木芳之助 昭和一三	一五四七—一五
(三二八頁)	
組合の事務 小池金之助 昭和一二	一五四七—一八
(四二二頁)	
工業組合解説 小池金之助 昭和一三	一五四七—一五
(四九七頁)	

産業組合要覽 第三四次 昭和一一年度 農林省經濟更生部編	一五四七—一五九
商業組合解説 小池金之助 昭和一三	一五四七—一五
(三四四頁)	
世界産業組合中央聯合論 越田操 昭和一三	一五四七—一五
(五〇〇頁)	
戦時戦後の工業組合 川端巖 昭和一三	一五四七—一五
同	一五四七—一五
獨逸信用組合論 岡、コルベト・ドイヤー著 京野正樹譯	一五四七—一五
(二二〇頁) 昭和一三	
販賣組合經營講話 井關善一 昭和一三	一五四七—一五
(二八八頁)	
貿易組合法 清水進男 昭和一三	一五四七—一八
(二七四頁)	
〇	
簡易保險讀本 保險院簡易保險局編 昭和一三	一五四七—一五
(二四四頁)	
協同組合保險論 英、N・パルウ著 賀川豊彦譯 昭和一三	一五四七—一五
(四七二頁)	
昭和二年健康保險診療統計諸表 日本醫師會編	一五四七—一五
昭和二年健康保險診療統計表 日本醫師會編 昭和一三	一五四七—一五
昭和二年健康保險診療統計表 日本醫師會編 昭和一三	一五四七—一五
國民健康保險組合と醫療利用組合 協同組合研究會編	一五四七—一五〇
(一九八頁) 昭和一三	
保險國營の研究 末高信 昭和一三	一五四七—一四九
(一九三頁)	
郵便年金讀本 保險院簡易保險局編 昭和一三	一五四七—一五二
(一六〇頁)	
〇	
科學的土地賣買利殖法 大倉利三郎 昭和一三	一五四七—一六〇
(二二三頁)	
勸業債券利殖法 國史部 昭和一三	一五四七—一六二
(二八四頁)	
勸業債券利殖法 國史部 昭和一三	一五四七—一六二
(二八四頁)	
動檢讀本 牧野元次郎 昭和一一 八版	一五四七—一五九
(二〇二頁)	
全國協定無蓋掛金表集 上巻 全國無蓋掛金會所編 昭和一三	一五四七—一六五
(二八八頁)	
富はあたまで作れ 米、ナゲレン・ヒル著 大村幸夫譯	一五四七—一六一
(三〇二頁) 昭和一三	
郵便爲替貯金業務狀況 貯金局編 昭和一四	一五四七—一五二
(五三〇頁)	
六十年間郵便貯金經濟史觀 貯金局編 昭和一〇	一五四七—一六六
(七八〇頁)	
利殖讀本 西野金剛 昭和一三	一五四七—一六三
(三二二頁)	
利平貨殖譚 和田見治 昭和一三	一五四七—一六四
(三〇九頁)	
五四八 殖民、移住	冊 分類 番號
各國植民地及植民地の研究 大隈龜雄 昭和一四	一五四八—一三二
(五四八頁)	
〇	
世界植民地の資源と經濟 益田直彦 昭和一三	一五四八—一四五
(三六三頁)	
チエラ十年史 チエラ自治會 昭和一三	一五四八—一四七
(二二七頁)	
滿洲農業移民十講 橋本博左衛門外九名著 永塚敏郎編	一五四八—一四六
(三八四頁) 昭和一三	
五四九 論說、雜書	冊 分類 番號
アジア的生產様式論 森谷克巳 昭和一二	一五四九—一三三
(三三五頁)	
インフレーション 夏木光太郎編 昭和一三	一五四九—一四七
(四四三頁)	
戦時インフレーションの經濟 木村福八郎 昭和一二	一五四九—一三九
(四二八頁)	
金か・物か 藤田貞次 昭和一三	一五四九—一三六
(三九〇頁)	
北支那經濟綜觀 滿洲産業部編 昭和一三	一五四九—一三三
(七二〇頁)	

均衡理論と資本理論 (中山伊知郎 昭和一三)	一五四九三三九
経済行脚 (石山實吉 昭和一三)	一五四九三三九
経済記者修業 (石山實吉 昭和一三)	一五四九三三九
経済支那の開発 (小川龍夫 昭和一三)	一五四九三三九
現代経済人 (野澤秀信著 昭和新聞社編輯部 昭和一三)	一五四九三三九
現代経済總動員 (熊田克郎 昭和一三)	一五四九三三九
現代國防經濟論 (岡、E・ホフ著 石田精一譯 昭和一三)	一五四九三三九
好況及び不況の理論 (G.V.ハーパー著 宇治田富彦譯 昭和一三)	一五四九三三九
國防經濟論 (金原之助編 昭和一三)	一五四九三三九
戦争と財政(高木壽一)	一五四九三三九
戦争と物價(鈴木武雄)	一五四九三三九
戦争と食糧(東川清一)	一五四九三三九
戦争と農業(近藤康男)	一五四九三三九
時局の線に立ちて (坂本勇之助 昭和一三)	一五四九三三九
資源獲得と植民地再分割論 (岡本義典編 昭和一三)	一五四九三三九
支那を舞臺の列強資本戰 (長野 昭 昭和一三)	一五四九三三九
支那經濟讀本 (小島精一 昭和一三)	一五四九三三九
支那制覇戰と太平洋下巻 (藤カントロウイナ著 廣島定吉譯 昭和一三)	一五四九三三九
事變と經濟戰 (實田直治 昭和一三)	一五四九三三九
世界經濟の體制 (加田哲二 岡本壽彦 昭和一三)	一五四九三三九
世界大戰の經濟的諸結果 (英、G・L・スティーヴン著 玉城 謙譯 昭和一三)	一五四九三三九
浙江財閥論 (山上金男 昭和一三)	一五四九三三九
戦後はどうなるか (小井一三 昭和一三)	一五四九三三九
戦時下の經濟生活 (賀野興宣 昭和一三)	一五四九三三九
戦争と財閥 (岩井良太郎 昭和一三)	一五四九三三九
ソヴイェト經濟研究 (松山茂二郎 昭和一三)	一五四九三三九
ソ聯戦時經濟地理 (平竹博三 昭和一二)	一五四九三三九
大ドイツ・プロツク經濟 (黒岩貞雄 昭和一三)	一五四九三三九
長期戦時經濟體制 (岩井良太郎 昭和一三)	一五四九三三九
ドイツ經濟の驚異 (岡、H・E・ブライスター著 加合井忠之譯 (三七四頁) 昭和一三)	一五四九三三九
獨逸の戦時經濟 (露、V・ライツン著 西村雄三譯 昭和一三)	一五四九三三九
東亞プロツク讀本 (大毎・東日・エコーニスト部 昭和一三)	一五四九三三九
統制經濟の理論 (本位田輝男 昭和一三)	一五四九三三九
ナチス新統制經濟讀本 (小島精一 昭和一三)	一五四九三三九
日本經濟の飛躍と世界危機の前途 (高橋龜吉 昭和一三)	一五四九三三九
日本の戦時發展經濟 (井上貞蔵 昭和一三)	一五四九三三九
封鎖商業國家論 (岡、フイヒテ著 出口勇藏譯 昭和一三)	一五四九三三九
北支經濟開發の根本問題 (松崎敏雄外四名著 昭和一三)	一五四九三三九
資源北支讀本 (十何信二外四名 昭和一二)	一五四九三三九
蒙疆の資源と經濟 (和加竹城 村田 勲 昭和一三)	一五四九三三九

五五〇 財 政	
五五二 租 税	
間接税の研究 (松野實作 昭和一三)	一五五二一三三
新税の話 (藤 正憲 昭和一三)	一五五二一三三
税制と産業壓迫 (高橋龜吉 昭和一三)	一五五二一三三
税の問答 (大蔵財務協會編 昭和一三)	一五五二一三三
新稅務精解 (小西彦太郎 昭和一三)	一五五二一三三
増稅論 (神戸正華 昭和一二)	一五五二一三三
支那特別稅法新稅精解 (吉田鹿之助外二名 昭和一三)	一五五二一三三
日本稅制改革史 (藤 正憲 昭和一三)	一五五二一三三
○ 世界各國の關稅改正と通商協定 (外務省通商局編 昭和一三)	一五五二一三三
○ 地方稅總攬 (内務省地方局編 昭和一三)	一五五二一三三
五五三 歲計、豫算、決算	
歲入歲出詳論 (青木得三 昭和一三)	一五五三一九
五五五 國 債	
公社債年鑑 昭和一三年版 (山一證券株式會社調査部編 昭和一三)	一五五三一九
戦時下の經濟生活 (賀野興宣 昭和一三)	一五五三一九
戦争と財閥 (岩井良太郎 昭和一三)	一五五三一九
ソヴイェト經濟研究 (松山茂二郎 昭和一三)	一五五三一九
ソ聯戦時經濟地理 (平竹博三 昭和一二)	一五五三一九
大ドイツ・プロツク經濟 (黒岩貞雄 昭和一三)	一五五三一九
長期戦時經濟體制 (岩井良太郎 昭和一三)	一五五三一九
ドイツ經濟の驚異 (岡、H・E・ブライスター著 加合井忠之譯 (三七四頁) 昭和一三)	一五五三一九
獨逸の戦時經濟 (露、V・ライツン著 西村雄三譯 昭和一三)	一五五三一九
東亞プロツク讀本 (大毎・東日・エコーニスト部 昭和一三)	一五五三一九
統制經濟の理論 (本位田輝男 昭和一三)	一五五三一九
ナチス新統制經濟讀本 (小島精一 昭和一三)	一五五三一九
日本經濟の飛躍と世界危機の前途 (高橋龜吉 昭和一三)	一五五三一九
日本の戦時發展經濟 (井上貞蔵 昭和一三)	一五五三一九
封鎖商業國家論 (岡、フイヒテ著 出口勇藏譯 昭和一三)	一五五三一九
北支經濟開發の根本問題 (松崎敏雄外四名著 昭和一三)	一五五三一九
資源北支讀本 (十何信二外四名 昭和一二)	一五五三一九
蒙疆の資源と經濟 (和加竹城 村田 勲 昭和一三)	一五五三一九
五五七 專 賣 法	
專賣行政論 (大橋次郎 昭和一三)	一五五七一三
朝鮮專賣史 (朝鮮總督府專賣局編 昭和一二)	一五五七一三
第一卷 第一編 煙草	一五五七一三
第二卷 第二編 酒類	一五五七一三
第三卷 第三編 阿片及麻藥類	一五五七一三
第五編 會計	一五五七一三
五五八 論說、雜書	
長期戦下の財政金融問題 (春日井善外三名著 昭和一三)	一五五八一三
國家財政の戦備と作戦 (岡、M・リッサー著 石井忠譯 昭和一三)	一五五八一三
大戦中の英國財政及當初の經濟政策 (大蔵大臣官房財政經濟調査課編 (一二七頁) 昭和一二)	一五五八一三
日清日露兩戰役及世界大戰に於ける我が戰時財政 (大蔵大臣官房財政經濟調査課編 (一五五頁) 昭和一二)	一五五八一三
日暮稅・木工政談 (福井昌雄編 昭和一三)	一五五八一三
五五九 統 計	
經濟統計の作り方と見方 (豊崎 健 昭和一二)	一五五九一三
人口と消費法則 (藤 正憲 昭和一三)	一五五九一三
統計學論考 (藤 正憲 昭和一三)	一五五九一三

五六二 本邦統計表

日本國勢一斑 第五三回 内務大臣官房文書課編 昭和一二
 帝國統計局編 昭和一二
 死因統計 昭和一二 内閣統計局編 昭和一二
 六九三頁

五六三 臺灣、朝鮮及道府縣統計表

樺太年鑑 昭和一三年 佐藤啓信 昭和一三
 南洋廳統計年鑑 第六回 同廳長官房調査課編 昭和一三
 二六八頁

五七〇 社會

支那社會構成 秋澤修二 昭和一二
 集團社會政策學 四谷弘 昭和一二
 日本社會政策史 風早八十二 昭和一二
 四九七頁
 文化社會學原理 松本潤一郎 昭和一二
 四〇〇頁

五七一 社會問題

革新論 室伏高信 昭和一二
 國家と個人 本莊可宗 昭和一二
 三民主義に就いて 支、孫逸仙著 吉田龍次郎譯 昭和一二
 社會事業史 山口正 昭和一二
 社會主義抹殺論 勸業部下屬紀念事業部編 昭和一二
 社會不權論 英、抱巴士斯達著 松島 剛譯
 (七九一頁) 明治二三 三版

- 〇 分類 冊 五七二—二〇四
- 社會問題と社會政策 河津 暲 昭和一二 (四〇〇頁) (經濟政策大系第六卷)
- 住みよき世界 堀、F、ノーマン著 和田日出吉譯 昭和一二 (二八五頁)
- 赤色支那 大久保弘一 昭和一二 (三三八頁)
- 戦争と思想變革 本莊可宗 昭和一二 (二九四頁)
- 全體主義下の生活態度 工藤直太郎 昭和一二 (三六七頁)
- 全體主義の原理 堀、レムバンス著 秋澤修二譯 昭和一二 (三四七頁)
- 全體主義の理論と實際 吉川榮光 昭和一二 (一八頁)
- 日本國家主義の發展 加田哲二 昭和一二 (三九〇頁)
- 日本社會事業の發展 山口正 昭和一二 (二〇八頁)
- ヒットラー運動と獨逸の現状 服部 織 昭和一二 (二二六頁)
- 明暗ソ聯の全貌 昇、摩多 昭和一二 (二七九頁)
- 人事の作戦 米、J、モルガン著 折野浩太郎譯 昭和一二 (三三二頁)
- 〇 分類 冊 五七二—二〇八
- それでも生きられる 島影 聖 昭和一二 (二六二頁)
- 眞實を生きんとして 山下信義 昭和一二 (三六六頁)
- 成功者人生字引 高山晴州 昭和一二 (三二五頁)
- 人間を作れ・金をつくれ 牧野元次郎外三名 昭和一二 (二八〇頁)
- 福徳の眞理 伊藤部 謙彦 昭和一二 (二六〇頁)
- 學べ！獨逸國民生活 森崎善一 昭和一二 (一九六頁)

〇

就職必携 一九三九年版 千倉書房編輯部編 昭和一二 (三二二頁)

職業指導讀本 本庄可宗 昭和一二 (一八五頁)

職業指導と勞務輔導 桐原保見 昭和一二 (三四四頁)

職業適性研究報告 金崎、機械器具、船舶 厚生省職業部編
 車編製造工業従業者(二七頁) 昭和一二

女子新職業讀本 豊原文男 昭和一二 (二二二頁)

新職業指導と進學輔導法 松田友吉 昭和一二 (三四五頁)

非常時轉業と轉職 村上計二郎 昭和一二 (三六七頁)

五七三 人種問題

人種・民族・戦争 加田哲二 昭和一二 (四二八頁)

天孫民族と神選民族 酒井勝軍 昭和一二 (二二二頁)

ユダヤ民族を検討する 柴田武雄 昭和一二 (二六六頁)

五七五 工場及労働

科學的工場組織の理論 堀、J、ヘルマン著 高山洋吉譯 (二一〇頁) 昭和一二

經營最小限の工場經營 相澤次郎 昭和一二 (二〇〇頁)

工場管理論 神田孝一 昭和一二 増補 (九四〇頁)

工場設備 大原 喬 昭和一二 (三七三頁)

工場内福利施設に關する研究 大塚一朗 昭和一二 (九七二頁)

傷害者ノ繼續雇傭方法 臨時産業管理局 昭和一二 労働管理委員會編 (二七七頁)

新工場經營論 鈴木宗正 昭和一二 (三三六頁)

- 〇 分類 冊 五七三—二〇八
- 新工場法 參照條文附、各府縣令 飯豐武雄 昭和一二 (四四四頁)
- 新勞務管理 三好豐太郎 昭和一二 (三三九頁)
- 國民社會黨獨逸の勞働及び經濟 米、ゾルダグン著 大原社會問題研究所編 (二七三頁) 昭和一二
- 勞働年鑑 昭和一三年版 町田辰太郎 昭和一二 (七四四頁)
- 勞働の理論と政策 風早八十二 昭和一二 (二九二頁)
- 勞務管理 桐原保見 昭和一二 (三四四頁)
- 五七六 濟民、感化、慈善 救俄大意 宣本 三輪 希賢 (三三三頁) 竹内愛二 昭和一二 (二六六頁)
- ケース・ウオータの理論と實際 (二六六頁)
- 五七七 犯 罪 少年保護要論 谷 貞信 昭和一二 (四四七頁)
- 犯罪生物學原論 岡、アドルフ・レンツ著 吉益倫夫譯 昭和一二 (三三四頁)
- 五七八 家族及男女問題 女性面會日 杉山平助 昭和一二 (四五六頁)
- 新女大學 菊池 寛 昭和一二 (三九六頁)
- 男女生活の設計 江原小彌太 昭和一二 (四一九頁)
- 母權論 岡、バウハオーフェン著 富野敬照譯 昭和一二 (二四一頁)
- 五七九 論說、雜書 アメリカ異狀あり 西澤本八郎 昭和一二 (三四五頁)

極東の計劃と民族 (水丘智太郎 昭和一三)

國體國是及現時の思想問題 (建部進吾 昭和一三)

呪はれたロシア (近藤榮藏 昭和一三)

流言蜚語 (清水健太郎 昭和一二)

五八〇 風俗

鎌倉時代の風俗 (櫻井秀 昭和一三)

雲助・道中女 (和田篤彦 昭和一三)

朝鮮風俗畫譜 (乾坤 中村金城編 明治四三)

明治秘話 (石田徹蔵 昭和一三)

〇

川柳圓場所考 (大曲駒村 昭和一三)

五八二 年中行事

温古年中行事 上・中・下 鮮、齊水灌 明治四五 五版

五八五 外國風俗

面白い國支那 (後藤朝太郎 昭和一三)

支那及び支那人 (村上知行 昭和一三)

支那古代の祭禮と歌謡 (M・ゲラー著 内田智雄譯 昭和一三)

支那の人々 (清水安三 昭和一三)

一五七九一五

一五七九一五

一五七九一五

一五七九一五

冊 分類 番號

一五八〇一五

一五八〇一五

一五八〇一五

冊 分類 番號

一五八〇一七

冊 分類 番號

一五八五一三

冊 分類 番號

一五八五二一

冊 分類 番號

一五八五二九

冊 分類 番號

一五八五三〇

海上漫語 (内山完造 昭和一三)

大支那の理解 (後藤朝太郎 昭和一三)

中華萬華鏡 (井上紅梅 昭和一三)

秘密の上海 (佛、ジャン・フォン・ノア著 市木亮譯 昭和一三)

滿洲の習俗と傳説・民話 (谷山つる枝 昭和一三)

友邦支那「民情習俗」 (水持徳一 昭和一三)

五九〇 家政

最新家事染色法要説 (菱山衛平 昭和一三)

新家事經營三十七講 (滑川昌史 昭和一二)

家庭生活 (富士川壽 昭和一三)

日本精神と現代家事教育 (松尾まきと 昭和一三)

最新家庭管理と家事經濟 (氏家壽子 昭和一三)

新生活必需品の知識 (岡田博道 昭和一二)

日本家事教育發達史 (常見高男 昭和一三)

最近家事論叢 (藤原九十郎監修 昭和一三)

被服整理十二講 (菱山衛平 昭和一三)

五九一 家事經濟

一五八五三

一五八五三

一五八五三

一五八五三

冊 分類 番號

一五八五三

冊 分類 番號

一五八五二

冊 分類 番號

一五八〇一八

冊 分類 番號

一五八〇一九

冊 分類 番號

一五八〇二一

冊 分類 番號

一五八〇二六

冊 分類 番號

一五八〇二八

冊 分類 番號

一五八〇三五

家計讀本 (氏家壽子 昭和一三)

新家計讀本 (大山千代雄 昭和一二)

五九二 裁縫、手藝

編物基本精説 (水喜田鶴 木村けい 昭和一三)

をりがみざいく (中島権二 昭和一二)

裁縫讀本 (會澤眞佐子 昭和一三)

手藝と洋裁 (東京女子美術工務學校編 昭和一三)

婦人服の裁斷及意匠 (大田黎明 昭和一三)

和服洋裝洋裁用大辭典 (南洋禮三 昭和一三)

和服裁縫要訣 (石田はる 昭和一三)

五九三 料理、製菓

お料理辭典 (中林實香編 昭和一二)

菓子研究第一輯 (江波瀧太郎編 昭和一二)

日本人ドイツ家庭料理 (タンツェ、ハル子 昭和一二)

病人料理と保健食 (村田希久 昭和一二)

味噌汁百珍 (大日本料理研究會編 昭和一二)

五九四 家庭衛生、育児

愛育讀本 (會澤三外二名 昭和一〇) 一二版

子供の健康と幸福のために (市橋善之助 昭和一二)

乳幼児健康讀本 (柳澤信賢 昭和一三)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

よき妻・よき母 (M・ストラーヌ著 黒川次郎譯 昭和一四)

一五九四一三

一五九四一三

一五九四一三

一五九四一三

冊 分類 番號

一五九四一三

冊 分類 番號

一五九四一三

冊 分類 番號

一五九四一三

冊 分類 番號

一五九四一三

冊 分類 番號

一五九四一三

冊 分類 番號

一五九四一三

冊 分類 番號

一五九四一三

六〇〇 理 學

- 解説應用理科講義 (河野通區 昭和一三) 一六〇〇—五〇
- 科學思想讀本 (田村佐重 昭和一二) 一六〇〇—四七
- 科學と思想 (石原純 昭和一三) 一六〇〇—五一
- 自然科學的世界像 (石原純 昭和一三) 一六〇〇—四九
- 趣味の理化實驗 (藤木源吾 昭和一三) 一六〇〇—四八
- 六〇四 論說、雜書
 - 科學者 (隈部一雄外二名共編 昭和一四) 一六〇四—六九
 - 驚異の科學 (柴山雄三郎 昭和一三) 一六〇四—六三
 - 大陸と科學 (隈部一雄 昭和一三) 一六〇四—六八
 - 人 問 (この未知なるもの) (米、A.カレル著 藤澤如一譯 昭和一三) 一六〇四—六七
 - 道と自然 (永井 清 昭和一三 三版) 一六〇四—六六
- 六〇一〇 物理學、化學
 - 六〇一 物理學
 - 現代の物理學 (藤岡由夫 昭和一三) 一六一一—六九
 - 高等物理學演習 (造賀富一 昭和一二) 一六一一—六四
 - 新高等物理學 下卷 (出射 榮 昭和一二) 一六一一—六五
 - 物理學周邊 (中村清一 昭和一三) 一六一一—六七

物理學要語新辭典 (菊池常武 昭和一三) 一六一一—六六

物理の眞髓 (中谷樗太郎 昭和一三) 一六一一—六八

最新力學 (庄司彦六 昭和一三) 一六一一—一八

光電管及光電池 (鈴木久五 昭和一三) 一六一一—一七

電氣磁氣學 (藤井眞一編 昭和一三) 一六一一—一六

六二二 化 學

- 初步から通の化學 (山川如英 昭和一二) 一六二二—六〇
- 念全教への化學 (二九四頁) 一六二二—六一
- 高等化學計算法 (櫻本竹治 昭和一二 増補九版) 一六二二—六一
- 化學の眞髓 (中谷樗太郎 昭和一二) 一六二二—六八
- 化學の眞理 (四二〇頁) 一六二二—六八
- 化學の學び方と方程式の作り方 (林田忠實 昭和一二) 一六二二—六三
- 同 一六二二—六三
- 化學方程式の學び方 (工藤常太郎 昭和一三) 一六二二—六六
- 基礎實驗化學 (淺野三千三 柴松綠雄 昭和一三) 一六二二—六二
- 三、四年の化學 (藤井眞一 昭和一三) 一六二二—六四
- 受驗化學の要點 (渡谷 泉 昭和一四) 一六二二—六七
- 明說化學 (三浦幸平 昭和一三) 一六二二—六五
- 構造有機化學 (後藤格次 昭和一三) 一六二二—六四

六二〇 天文學、地文學

- 六二一 星 學
 - 支那古代史と天文學 (飯島忠夫 昭和一四) 一六二一—一七
 - 新天文講話 (村上忠敬 昭和一三) 一六二一—一八
 - 成層圈 (内田 泰 昭和一二) 一六二一—一八
 - 太陽系の起原 (H.N.ラッセル著 鈴木敏信 高橋寛子共譯 昭和一三) 一六二一—一六
- 六二二 曆學、曆書
 - 曆 昭和一三年 (東京天文臺編 昭和一三) 一六二二—一五
 - 滿洲國時憲書 康德六年 (中央觀象臺編 康德六) 一六二二—一四

六三〇 博 物 學

- 日本古曆の教訓 (近藤芳一 昭和一三) 一六三〇—一九
- 六二四 氣象 學
 - 氣候學 (福井英一郎 昭和一三) 一六三四—一八
 - 同 (岡田武松 昭和一三) 一六三四—一九
 - 氣象 (君島八郎 昭和一三 改訂 六版) 一六三四—二〇
- 六二五 地 震 學
 - 東京地震觀測 (保田桂二 小平孝雄 昭和一三) 一六三五—二〇
 - 明治五、九—大正一、二、一、二
- 六三〇 博 物 學
 - 天然紀念物調査報告書 (樺太廳編 昭和一四) 一六三〇—三四
 - 第五輯 南樺太白雲系化石(黒澤守) 一六三〇—三三
 - 博物辭典 (藤本治典外二名共編 昭和一三) 一六三〇—三三
 - 六三二 生 物 學
 - ウイムソン細胞 上卷 (米、E.B.ウイムソン著 藤澤喜人譯 昭和一四) 一六三二—六七
 - 生物學綱要 (阿部余四男 昭和一三) 一六三二—六四
 - 生物學實驗法 (佐藤和雄 昭和一三) 一六三二—六六
 - 生物學新研究の一展望 (湯淺 明 昭和一三) 一六三二—六五
 - 六三三 進化論、原生論
 - 進化論と人生 (米、J.A.トマソン著 大行慶雄譯 昭和一三) 一六三三—六一

- 六三四 人類學
 - 人類學概論 小山栄三 昭和一四 (三五六頁) 一六三四—四
- 六三五 動物學
 - 動物記 米・E・T・シロトン著 内山賢次譯 昭和一三 (四五、五、六卷) 一六三五—六
 - 動物社會學概論 岡、アルファ著 實川豊彦・西尾昇共譯 (三三頁) 昭和一三 一六三五—六
 - 動物の移行と進化 米、パリス著 野村七雄外二名譯 (二一八頁) 昭和一二 一六三五—六
 - 動物分類表 谷津直秀 昭和一三 改訂 (五〇一頁) 一六三五—六
- 日本脊椎動物目録 岡田彌一郎 昭和一三 (四二頁) 一六三五—一四
- 趣味の動物園から 吉田幸七郎 昭和一三 (八二頁) 寫眞九二頁 一六三五—三
- 類人猿の智慧試験 W・ケイレル著 宮 孝一譯 (三〇六頁) 昭和一三 一六三五—四
- 昆虫の採集と標本の製作 神谷一男 安立樹光 昭和一三 (二八二頁) 一六三五—五
- 眞珠の研究 小串次郎 昭和一三 (二二六頁) 一六三七—七
- 日本産魚類検索 岡田彌一郎 松原喜代松 昭和一三 (五八四頁) 一六三七—六
- 植物色素實驗法 服部静夫 昭和一三 (一四二頁) 一六三六—一
- 植物成分ノ研究 高橋豊吉 昭和一三 改訂 (三三四頁) 一六三六—七
- 植物生理化學實驗 服部静夫 昭和一三 (四五四頁) 一六三六—七
- 植物病理學通論 堀内古彦 昭和一三 (四六四頁) 一六三六—七
- 原色植物大辭典 村越三千男編 昭和一三 (六一九頁) 一六三六—七
- 人蔘史 今村 晴 昭和九—一三
 - 第二卷 人蔘政治論
 - 第三卷 人蔘經濟論
 - 第四卷 人蔘栽培論
 - 第五卷 人蔘醫藥論
 - 第七卷 蔘名彙考論
 一六三六—一四
- 花 石川光華 昭和一三 (二五二頁) 一六三七—一〇
- 蘭華譜上・中・下 小原安次郎編 昭和一二—一三 三六三七—二
- 櫻 三好 學 昭和一三 (四六七頁) 一六三八—二
- 學軒集 三好 學 昭和一三 (五九七頁) 一六三九—七

六三六 植物學

- 支那草木蟲魚記 澤村幸夫 昭和一三 (二四六頁) 一六三九—六
- 趣味の草木志 牧野富太郎 昭和一三 (三四八頁) 一六三九—八
- 六三七 地質學
 - 地質現象の新解析法 渡邊 實 昭和一三 (二九二頁) 一六三七—三
 - 地質圖學 船井 豊 昭和一三 (一一二頁) 一六三七—三
 - 物理地下探査法 渡邊 實 昭和一二 (四九頁) 一六三七—三
- 六三八 礦物學
 - 礦物鑑識の實際と鑛山探検 谷山四方一 昭和一四 (三〇七頁) 一六三八—一
 - 鑛物岩石鑑定要覽 大橋良一 昭和一二 改訂 (一六七頁) 一六三八—一
 - 同 一六三八—一五
 - 本邦鑛物圖誌 第二卷 伊藤貞市 昭和一三 (三三八頁) (圖版五八枚) 一六三八—三
 - 六三九 岩石學
 - 原色日本岩石圖譜 和田八重造 栗津秀幸 昭和一二 (八八頁) (圖版五六頁) 一六三九—六
- 六四〇 數學
 - 高等諸校入試數學問題正解 數學研究社 昭和一三 昭和一三年度 (四一八頁) 一六四〇—五〇
 - 最新數學パズル 藤村幸三郎 昭和一三 (二四八頁) 一六四〇—五三
 - 數學方法論 伊藤正郎 昭和一三 (三九五頁) 一六四〇—五二
 - 綜合數學提要 濱田吉三 昭和一三 (三一五頁) 一六四〇—四九
 - 大學入試數學問題並ニ解 昭和一四年度 培風館編輯部編 (二二三頁) 昭和一三 一六四〇—五三
 - 同 一六四〇—五三
 - 數學文化史 吉岡修一郎 昭和一三 (三七一頁) 一六四〇—一八
 - 新珠算上達速成法 安部利一郎 昭和一三 (三〇二頁) 一六四〇—三
 - そろばん心理學 荻原義雄 昭和一三 (六〇六頁) 一六四〇—三
 - 六四一 算術
 - 算學集 寫本 (五二枚) 一六四一—七
 - 實用算術精義 藤野了純 昭和一二 (五〇一頁) 一六四一—五
 - 六四二 代數學
 - 詳演習代數學 藤村欣次郎 矢野建浩 昭和一三 (五九二頁) 一六四一—九
 - 簡明代數學 高津 巖 昭和一三 (三四三頁) 一六四一—一〇
 - 初步の代數學 富山國之助 昭和一三 (三九三頁) 一六四一—九
 - 一年より代數解法の研究 宮田正彦 昭和一三 (六一〇頁) 一六四一—九
 - 三年迄の代數解法の研究 宮田正彦 昭和一三 (五三六頁) 一六四一—九
 - 同 一六四一—九
 - 發見的代數學 上巻 桑名保吉 昭和一二 一〇版 (三八八頁) 一六四二—九五

六四〇 數學

消化不良症の検討 (山本廣裕 昭和一三)

一六七二—三

結核は斯くすれば必ず全治する (岡崎貴八郎 昭和一三)

一六七三—五

喘息根治への道 (加藤信彦 昭和一三)

一六七三—五七

神経質と神経衰弱 (高良武久 昭和一三)

一六七五—五〇

神経痛ロイマチス全治法 (平山隆一 昭和一四)

一六七五—五一

小島の春 (小川正子 昭和一四)

一六七六—二九

日本傳染病小史附十九世紀戰疫小史 (榮山五郎 明治四五)

一六七六—三六

癩患家の指導 昭和一二年度 (編纂防協合編 昭和一三)

一六七六—三〇

六七四 眼科學

眼結核 (菅沼定男 昭和一三)

一六七四—一九

新眼科學 (堀文平 昭和一三 増訂三版)

一六七四—一八

六七五 産科婦人科、産婆學

人工妊娠中絶と避妊 (吳辰郎 昭和一三 増訂四版)

一六七五—四九

婦人科手術學 (安藤 廣一 昭和一三 増訂五版)

一六七五—一〇

産婆試験問題答案集 (小笠原 昭和一〇)

一六七五—二五

六七九 皮膚病學、微毒學、泌尿生殖器

淋疾及尿道鏡 (佐藤恒祐 昭和一一)

一六七九—二六

六八〇 治療法、養生法、健康法

銃後の保健と職業病 (式場隆三郎 昭和一三)

一六八〇—一

六八一 治療法

温泉知識 (藤浪剛一 昭和一三)

一六八一—〇八

温泉讀本 (西川義方 昭和一三)

一六八一—〇五

自然醫學「食物療法總覽」(櫻澤知一 昭和一三)

一六八一—一〇

自然療法 (式場隆三郎 昭和一三)

一六八一—〇七

食養強健法と治病 (日下朝尚 昭和一三)

一六八一—〇六

人間必ず若返る (藤野保正 昭和一三)

一六八一—〇九

六八二 按摩術

現代鍼灸醫學講義 藤野保正 藤井宗政 昭和一三

一六八二—一七

第一卷 解剖學編 第二卷 生理學編

第三卷 鍼灸治療法編 第四卷 經穴學編

現代鍼灸醫學圖譜 (藤野保正 藤井宗政 昭和一三)

一六八二—一八

六八三 養生法、健康法

一生無病のプラン (小田部正三郎 昭和一三)

一六八三—一七九

健康を造る (米、M.D.・E.・フイスク著 木村久哉譯 昭和一三)

一六八三—一七七

健康新道 (式場隆三郎 昭和一三)

一六八三—一七八

健康讀本 (高木逸雄 昭和一三)

一六八三—一七六

現代生活と日光浴 (加茂正一 昭和一三)

一六八三—一七四

最近長壽生活法 (飯塚悟郎 昭和一三)

一六八三—一七一

自己統制 附、病氣は治る (秋山金澄 昭和一三)

一六八三—一七二

女性美増進の生活 (高木逸雄 昭和一四)

一六八三—一八二

信仰で病氣が治せるか (福井昌雄 昭和一三)

一六八三—一七六

人生二倍の活用法 (木村儀作 昭和一三)

一六八三—一八〇

絶對健康の理論と實際 (杉田平十郎 昭和一三)

一六八三—一七五

體力絶倫への道 (木村儀作 昭和一三)

一六八三—一七三

不老長生の秘訣 (後藤朝太郎 昭和一一)

一六八三—一七〇

六九〇 獸醫學

馬匹血統登録書 第一三卷 (増山忠次 昭和一三)

一六九〇—一七

700H 學

- 工業初等數學 大日本工業學會編 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 工業初等物理學 大日本工業學會編 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 初等工業數學研究 佐藤榮三郎 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 工業分析 崎守新一郎 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 工場實用數學 野村千晴 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 工業積分 中山透 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 工業雙曲線函數 廣田友義 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 工業代數 白井博三郎 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 工業二次元問題 宮本康巳 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 應用力學 澤澤和一 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 機械力學 大日本工業學會編 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 新土木構造力學 岩井四郎 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 流體力學と航空力學 清江昇 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 最良ラーメンの解法 岡純一 昭和一二 (一七〇〇—三)
- 土木工事材料 山下直一 昭和一二 (一七〇〇—三)

- 機械材料強弱學 大日本工業學會編 昭和一二 (一七〇四—六)
- 鐵骨構造學 藤岡謙 昭和一二 (一七〇五—一五)
- 經緯距離算表 藤川尊三 昭和一二 (一七〇六—一三)
- 工作考案と製圖の仕方 中川英一郎 昭和一二 (一七〇七—四八)
- 710 土木工學
 - 土木工學大講座 アルス發行 昭和一二 (一七〇一—天)
 - 第一三卷 灌溉排水(田中貞次)
 - 第一四卷 港灣工學(鈴木進次)
 - 新土木製圖・設計法 川原兵一 昭和一二 (一七〇一—元)
 - 土木地質學教科書 岩崎重三 昭和一二 (一七〇一—六)
 - 直轄工事年報 昭和一二年度 內務省土木局編 昭和一二 (一七〇二—二)
 - 713 治水、水理
 - 水理學提要 本間七 昭和一二 (一七〇三—四〇)

710 機械工學

- 水力學及水力機械大意 野口登一 昭和一二 (一七〇三—)
- 諸戸砂防工學 諸戸北郎 昭和一二 (一七〇三—)
- 水の法律 安田正廣 昭和一二 (一七〇三—)
- 715 衛生工學
 - 新上水道 森三郎 昭和一二 改訂 (一七〇三—五)
- 帶鋸と帶鋸機械 岡本機械工作所 昭和一二 (一七〇三—)
- 方ム 酒井重敏 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械工學一般 岡崎堅一 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械工學大要 奥田 謙 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械工作實習指導 大日本工業學會 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械工作手仕上法 本村豊治 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械工作の基礎知識 高谷義一郎 昭和一二 (一七〇三—)
- 最新機械辭典 昭和一二年度 工業調査協會 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械熟練工になるまで 小島國太郎外三名 昭和一二 (一七〇三—)
- 初等機械製圖の引き方 加納俊介 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械製圖法と計算 山下由之助 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械設計及製圖 田中重芳外二名 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械部分の設計 大久保正夫 昭和一二 (一七〇三—)

- 其日から仕機械見習工作業 松村貞次郎 三宅昭事 昭和一二 (一七〇三—)
- ケガキと手仕上の仕方 岡崎堅一 昭和一二 (一七〇三—)
- 指針交換齒車計算法 宮崎保治 昭和一二 (一七〇三—)
- 工作機械 沼正治 昭和一二 (一七〇三—)
- 工作機械最近の進歩 倉橋義次郎編 昭和一二 (一七〇三—)
- 實用往復式空氣壓縮機 數森敏郎 昭和一二 (一七〇三—)
- 金屬及實用機械材料一般 原風雄 昭和一二 (一七〇三—)
- 車輛用ばね 岩田有共 昭和一二 (一七〇三—)
- 機械熟練作業まで 林富久 昭和一二 (一七〇三—)
- 初等機械學 森永三三郎 昭和一二 (一七〇三—)
- 精密測定器最近の進歩 渡邊 廣外一五名 昭和一二 (一七〇三—)
- 旋盤及機械工具の使い方 吉原謙夫 昭和一二 訂正五版 (一七〇三—)
- 最新旋盤工作入門 堀地權太郎 昭和一二 五版 (一七〇三—)
- 最新旋盤工作法 杉村貞介 森 謙 昭和一二 (一七〇三—)
- 旋盤作業實習法 吉和田天資 昭和一二 (一七〇三—)
- 送風機及壓縮機 内丸最一郎 昭和一二 (一七〇三—)
- 圖解工作旋盤の知識 眞平秋雄 昭和一二 (一七〇三—)
- 手仕上の要領とその秘訣 久保義久 昭和一二 (一七〇三—)
- 實わち切り作業法 藤 謙 昭和一二 再版 (一七〇三—)
- ネチ山とネチ切仕事 山本信夫 幸野三郎 昭和一二 (一七〇三—)

軌近の精密機械 大兵學合機機協同編 昭和一三
萬能フライス盤及研磨作業 阿部英外三名 昭和一三
見習むかる機械工学一般 岡崎三郎 昭和一三

七二一 機 關 學

內燃機關工學講座 共立社發行 昭和一三
第七卷 發動機工作法(東田三三三編)
第九卷 航空發動機(宮澤清 大井上博)
熱機關 (一七五頁) 昭和一三

七二二 船 用 機 關

船用機關の故障と修整 竹田登十 昭和一三
(四八二頁)

七二三 航 空 工 學

グライダー操縦法 水谷博 昭和一三
(九二頁)
航空機工學大講座 東京社發行 昭和一二—一三
第一卷 航空機沿革史(駒林榮太郎)
航空路、航空港、航空法規(松浦四郎)
第四卷 飛行機構造(中川守之品川信次郎)
第七卷 飛行機工作法(駒林榮太郎)
第三卷 プロペラ(佐賀赤男)

航空工學最近の進歩 小川太一郎外一〇名 昭和一三
(二三八頁)
航空發動機 大友博 昭和一三 訂正再版
(一五五頁) 昭和一三
航空發動機 神谷信雄 昭和一三
入機飛行機操縦讀本上下 竹内順三郎編 昭和一三

飛行機電氣工學 竹内順三郎編 昭和一三
(三二〇頁)
飛行機取扱技法 航空機工學講座編輯局編 昭和一三
(二八三頁)

七二四 自 動 車

小型自動車の機構・運轉・取扱・修理 上坂榮泉 昭和一二
(二四七頁)
自動車故障點檢法 自動車工學編輯局編 昭和一三
(二二五頁)
初級自動車工學 誠政英夫 昭和一三
(三七四頁)

七三〇 電 氣 工 學

大型真空管 磯島英 昭和一三
(二九二頁)
交流理論及電氣機械 大日本工業學會編 昭和一二
(六二頁)
家用變電設備所の設計 高橋銀彥 昭和一四
(實用電氣工學叢書第一卷)
物理超短波 森田清 昭和一三
(四六〇頁)
遞試問題演習 小津延之助 昭和一三
(四三二頁)
自電氣英語讀本 菊池常武 昭和一三
(三四五頁)
改電氣工學教科書 吉田榮三郎編 昭和一三 七版
(三一〇頁)
電氣工事人受驗全書 日本電氣實務協會編 昭和一三
初電氣磁氣測定 阿波多徳一 矢崎三三 昭和一三
(二〇八頁)
電氣事業要覽 第十五回 昭和一二年度 臺灣總督府交通事務局
(一九三頁) 昭和一三
電氣材料ポケットブック 電氣協會編東京支那編 昭和一三
(七九二頁)

電氣通論 大日本工業學會編 昭和一二
(二九八頁)
電子工學の基礎 米、W.G.著 藤田文太郎外三名譯
(五九八頁) 昭和一四
電氣冷房 上田輝雄 村山茂 昭和一三
(三三〇頁)

七三一 電 信

通信用繼電器 眞田 誠 昭和一三
(一七一頁)
最新電氣通信工學講座 オーム社發行 昭和一三
第一卷 有線電信(島田新次郎)
第二卷 有線電話(その一)電話機並に交換機(丹羽保次郎 島津保次郎)
第五卷 無線電信(その二)機械装置(中上登吉 小野孝)

無線回路

廣田支義 昭和一三
(三二八頁)

無線工學

武田行俊 昭和一三
(一九四頁)

七三二 電 話

スーパーヘテロダイン受信機 萩原 進 藤野良雄
(一六四頁) 昭和一三
増幅器と受信機 森田孝一 昭和一三
(二五〇頁)
テレビジョンの原理と製作 森友芳二郎 昭和一三
(三〇九頁)
放送無線工學上巻 百東 維外二名 昭和一三
(四八二頁)
ラジオ年鑑 昭和一三年版 日本放送協會編 昭和一三
(四〇二頁)

七四〇 建 築 學

學校建築講話 後藤末太郎 昭和一三
(三三四頁)
聖 學田日出刀 昭和一三
(三二一頁)

来るべきアパートと其經營 下野市造 昭和一二
(四一九頁)
帝國議會議事堂建築報告書 大藏省營繕會計局編 昭和一三
(七一〇頁)
帝國議會議事堂建築書附圖 大藏省營繕會計局編 (圖版二七枚) 昭和一三
日本民屋地理 鳥之夫 昭和一二
(九四頁)
作事番匠往來 伊余重三郎 文政一二
(一七枚)

七四一 設 計

圖解を主建築法規の解説上・下 井上新二外七名 昭和一二
としたる

七四二 室 内 装 飾

壁紙・カーテン・カーペット 坪井富士太郎 昭和一三
(八六六頁)
近代家具裝飾資料 高梨由太郎編 昭和一二—一三
第一輯 新設計室内裝飾展
第二輯 日本座敷に適はしき風家具展
第三輯 新様式の室内に適はしき家具展
第四輯 新興法藝術家具創作展
第五輯 新作洋家具陳列會
第六輯 歐米家具作品集
第七輯 國風家具展
第八輯 新設計室内裝飾展
第九輯 歐米家具作品集
第十輯 レイモント作品集
第十一輯 趣味の和家具展

店鋪設計の話 川喜田桃七郎 昭和一三
(二四九頁)
日本建築資料發達史 廣田民輔編 昭和一三
(四一六頁)

第二輯 洋家具逸品會展觀集
 第一三輯 創作洋家具展集
 第一四輯 二つの家具展作品集
 第一五輯 國風家具展集
 第一六輯 新設計室内裝飾展集
 第一七輯 趣味の和家具展集
 第一八輯 歐米家具作品集
 第一九輯 洋家具逸品會展觀集
 第二〇輯 工務會家具展集
 第二一輯 歐米家具作品集
 素嗜の趣味の室内裝飾 伊藤義水 昭和一〇
 食事室家具 鈴木富久治 昭和一三
 七四三 建築 圖
 室内建築彫刻作品集 漢 久平 昭和一三
 工務設計百圖及 濱江文彦 昭和一三
 代住宅設計百圖及 濱江文彦 昭和一三
 支那の建築と藝術 國野貞 昭和一三
 七四四 古代建築
 支那の建築と藝術 國野貞 昭和一三
 七五〇 鑛山學、鑛業
 鑛山測量學 古賀辰巳 昭和一三
 朝鮮區一覽 朝鮮總督府殖産局鑛山課編 昭和一三
 全國鑛業會社要覽 村本實藏 昭和一三

最新鑛業法規集 昭和一三、一〇、現在 (藤原敏男 昭和一三)
 朝鮮鑛業出願手續及經營指針 小杉 巖 寒川俊太郎 (六二五頁) 昭和一四
 七五一 探 鑛
 探鑛學實驗法 青山秀三郎 昭和一三
 探鑛冶金學最近の進歩 會橋藤治郎編 昭和一三
 七五四 各地鑛山
 鑛毒事件の真相と田中正造翁 水島與八 昭和一三
 七五五 各鑛物採掘鍊冶業
 金銀探鑛法 河田英 昭和一三 三版
 金銀鍊冶場の設計と建設費 利根川金之助 昭和一三 改訂五版
 採金技術 緒白朝 昭和一三
 日本産金史 石川博實 昭和一三
 滿洲國及北支の金鑛及砂金 小山一郎 昭和一三
 世界製鐵大觀 西田卯八 昭和一三
 鑛業工に鑛工と焼入法 坂野一郎 昭和一二
 鑛造技術 本多光太郎外二名 昭和一三
 鑛鐵の熔解配合 岡島宗直編 昭和一二

特殊鋼 村上武次郎外三名 昭和一三
 石炭鑛業論集 附、本邦石炭統計 高野江基太郎編 (四二二頁) 明治四三
 石炭と炭鑛業の知識 厚見利作 昭和一三 三版
 本邦石炭の研究及其研究法 岩崎重三 大正一一
 人造石油工業 小林久平 昭和一三
 石油の話附、燃料問題と石油國策 早坂一郎 山崎一三
 滿 俺 佐藤忠義 昭和一三
 七六〇 造船學
 新鋼船構造學 倉田吉吉 昭和一四
 船體強弱學 太田友彌 昭和一三
 造船工學 野中秀雄 昭和一三 三版
 新木船構造學 倉田吉吉 昭和一三
 七七〇 航 海
 海軍讀本 瀧川重夫 昭和一三

船舶現行海軍法令 海軍省編 昭和一四改訂
 實用航海術 柏野榮一 昭和一三
 船舶運航要諦 粟木 勲 昭和一三
 船舶法規 生島莊三 昭和一三
 七八〇 兵 事
 思ひ出の戦線 原 四郎 昭和一三
 化學戦兵器 西澤勇志 昭和一三
 近代戦と森林 關 通義 昭和一三
 軍用航空と民間航空 橋崎敏雄 昭和一三
 實 戰 戦ふもの心理 赤松實美 昭和一二
 海軍少年航空兵受驗案内 三省堂編輯所編 昭和一三
 新兵器と科學戰 竹内時男 昭和一三
 赤 軍 三島康夫 昭和一二
 戦争と文化 岡、W・I・エルザレム著 小園孝作譯 (二四五頁) 昭和一三
 戦争の知識 松平道雄 昭和一三
 日本軍事發達史 伊豆公夫 松下芳男 昭和一三
 ハイア・サフアリ 岡、V・L・フナルベック著 昭和一二
 兵學百般問答集 九州日報兵事相談部編 昭和一三

防空大観 (中澤宇三郎編 昭和一三) 一七六〇—三五
 陸海軍軍事史話 (松下芳男 昭和一三) 一七六〇—二九
 我が空中戦記 (岡、リヒトホフマン著 松井忠夫譯 昭和一三) 一七六〇—二五
 我等の國防と軍備 (松下芳男 昭和一三) 一七六〇—二三

軍事援護制定の實際 (古宮徹 昭和一三) 一七八〇—一五
 軍機保護法 (日高巳雄 昭和一一) 一七八〇—一三
 陸海軍兵事規則類編上・下 (福岡縣兵事課校閲 宗像風臣編 明治二二) 二七八〇—一六

七八三 兵制、軍備
 軍備下のヨーロッパ (英、L.ハルト著 岡倉古志郎譯 昭和一一) 一七八〇—一四
 國家と軍隊 (松平親義 昭和一一) 一七八〇—一三
 日本兵農史論 (小野武夫 三九四頁) 昭和一一) 一七八〇—一八
 (比較土地制度研究日本の部第一卷)
 明治軍制史論集 (松下芳男 三三八頁) 昭和一一) 一七八〇—二二
 (日本政治、經濟研究叢書第一〇卷)

七八四 戦 史
 日本戦史 日本戦史編纂委員編 明治二六 三三四—二
 關原役 關原役文書 關原役附表、附圖 一七八五—一六
 七八五 陸 軍
 戰車の華軍神西住大尉 (赤木春之 昭和一四) 一七八五—一〇
 萬年中尉 (海田精一 崇徳) 昭和一一) 一七八五—一五
 幼年學校入試模範解答集 (天野 武編 昭和一一) 三版 一七八五—一六

陸軍現役志願兵 (東京青年立志會編 昭和一三) 一七六五—五九
 陸軍士官學校 (原口健三編 昭和一一) 一七六五—五三
 陸軍讀本 (大久保弘一 昭和一一) 一七六五—五四
 陸軍幼年學校受験準備書 (三省堂編輯部編 昭和一一) 一七六五—八五
 最近十 陸軍幼年學校入學 試験問題全集 (其輪香村編 昭和一一) 一七六五—五七

空軍戰略 空中戰闘篇 (北川清一 昭和一四) 二版 一七八五—一七
 クラウゼヴィッツの戰爭論 (岡、クラウゼヴィッツ著 大久保康雄譯 三〇六頁) 一七八五—一九
 戰爭論 (佛、フオウレヌ著 伊奈重誠譯 昭和一一) 一七八五—二〇
 ナチスの戰爭論 (岡、H.フランク編 國防科學研究會譯 上巻 戰爭・戰略・政治 三〇八頁) (現代國防研究叢書第二卷) 一七八五—一八
 將ナポレオンの戰術 (伊奈重誠 昭和一一) 一七八五—一四
 砲歩兵新須知 (志賀良一編 昭和一四) 一七八五—一三

日本兵食史論上・下 (小澤 徹 昭和一一) 二六五九—一〇
 (上三二九頁下二八六頁)
 七八六 海 軍
 嗚呼!! 南郷少佐 (長倉 榮 昭和一一) 一七八六—一七
 (二四二頁)
 海の荒鷲奮戰記 (阿部信夫監修 昭和一一) 一七八六—一七
 (三〇八頁)
 海軍少年航空兵志願要領 (海軍少年普及會編 昭和一一) 一七八六—一五
 諸工廠工員 (二七三頁)

同
 最新海軍志願兵志願受験案内 (其輪香村編 昭和一四) 一七六一—一五
 海軍各 志願兵 入團須知と訓練講義 (山口榮實 昭和一一) 一七六一—一八
 改各海軍工廠見習工 採用試験 問題模範解答集 (若松道雄編 三六八頁) 昭和一一) 一七六一—一三
 銃後講話 (安澤清輔 昭和一一) 一七六一—一四
 昭和の海軍物語 (中島 武 昭和一一) 一七六一—一七
 大正の海軍物語 (中島 武 昭和一一) 一七六一—一七
 幕末の海軍物語 (中島 武 昭和一一) 一七六一—一七
 明治の海軍物語 (中島 武 昭和一一) 一七六一—一八

七七七 兵 器
 支那軍はどんな兵器を使つてゐるか (登場四郎 昭和一一) 一七七一—一三
 七七八 古代兵器
 式正の鎧 (國保之助 昭和一一) 一七八八—一九
 大日本刀劍史上巻 (原田實直 昭和一一) 一七八八—一七
 刀劍談 (本阿彌光滌外七名著 和田利彦編 昭和一一) 一七八八—一六

七九〇 古代兵法及武藝
 七九一 古代兵法、支那兵法

軍要論上・下 寫本 (上一二〇枚下二二枚) 二七九一—一三
 名將兵談 (大場彌平 昭和一一) 一七九一—一三
 七九二 武 藝
 武道極意物語 (仲宗根和 昭和一一) 一七九二—一
 空手道大観 (仲宗根和編 昭和一一) 一七九二—一三
 柔道入門 (岡尾鶴心 昭和一一) 一七九二—一四
 新柔道 (星崎治名 昭和一一) 一七九二—一五

劍道講話 (堀田捨次郎 昭和一一) 一七九三—一四
 劍道の理論と實際 (堀田忠雄 昭和一一) 一七九三—一二
 西洋砲術便覽 初編上・下 (上田帶刀著 西村良三補 嘉永六) 一七九三—一九
 鳥居流砲術初學書 寫本 (二二枚) 一七九三—一八

弓術極意教授圖解 (大日本藤盛會々員編 昭和一一) 一七九四—一二
 天竺射義集 寫本 (一八枚) 一七九四—一六

八〇〇 美術

- 教授日本美術の概説 野島好二 昭和一二 一八〇〇—七〇
- シラー美的教育論 岡、シラー著 安部能成 高橋健二共譯 一八〇〇—七一
- 美術論集 下巻 (哲學古典叢書第八卷)
- 八〇二 史 傳
 - 日本古美術史 内藤繁一郎 昭和一二 一八〇三—四二
 - 日本美術史 四倉一雄編 昭和一二 一八〇三—四二
 - 日本美術史 (四九七頁) (四倉天心全集下巻)
- 八〇三 古代美術 附、目錄
 - 推古美術の諸問題 佐道啓造編 昭和一二 一八〇三—四五
 - 東洋美術 第二五輯 附研究會編 昭和一二 一八〇三—二六
 - 三重縣國寶調査 三重縣編 昭和一二 一八〇三—二六
 - 三重縣國寶調査 三重縣編 昭和一二 一八〇三—二六
 - 繪畫之部、彫刻之部、美術工藝之部、華蹟及書蹟之部、書蹟之部、文書之部、金石文之部、刀劍之部、建造之部
 - 文部省認定重要美術品目録 章華社編輯部編 昭和一二 一八〇三—二七
- 八〇四 圖譜、圖録
 - 日本國寶全集 第七八—八三輯 文部省編 昭和一二 一八〇四—一三
 - 藝林逍遙 高野辰之 昭和一二 一八〇五—一七
 - 支那藝術考 八幡國太郎 昭和一二 一八〇五—二八

八一〇 書 畫

- 動王志士遺墨鑑定錄 高橋角太郎 昭和一二 一八〇〇—二二
- 八一一 史 傳
 - 日本古今書畫便覽 玉指莊榮只 昭和一二 一八二—一〇
- 八一三 繪 畫
 - 郷土勤王事蹟展覽會圖録 市立名古屋圖書館編 (三九頁) 昭和一二 一八三—八五
 - 世界名畫物語 山田邦祐 昭和一二 一八三—八六
 - 南畫讀本 小室翠雲 昭和一二 一八三—八六
 - 支那繪畫史 金原省吾 昭和一二 一八三—八七
 - 支那繪畫史 内藤虎次郎(湖南) 昭和一二 一八三—八八
 - 支那繪畫史 (三八—頁圖版九五頁)
 - 挿繪の描き方 岩田忠太郎 昭和一二 一八三—八九
 - 日本書寫習法 川合玉堂 昭和一二 一八三—九〇
 - 八一四 畫 譜
 - 押繪手鑑 上・中・下 大同通信處 元文元 (上一七、中一七、下一五枚)
 - 海徳書譜 (圖版共一三枚)
 - 玄對先生畫譜 卷一—五 邊支對畫邊瑛編 文化
 - 十竹齋書畫譜 木下勉解説、北原義雄編 昭和一二 二八—四二

八三〇 寫 眞

- 如洋畫集 第一、二、三卷 中山忠直編 昭和一二 一八四—一五
- 聖徳記念繪畫館壁畫集 乾坤 明治神宮奉贊會發行 昭和一二 一八四—一八
- 富岡鐵齋 北原義雄 昭和一二 一八四—一八
- 富岡鐵齋(本村莊八) 鐵齋翁の遺業(正宗得三郎) 鐵齋翁の藝術(小林古徑外三名) 鐵齋翁の作品(正宗得三郎)
- 八一五 書
 - 書道・翰墨 竹内德石庵 昭和一二 一八五—一七
 - 訂文檢習字科精義 鈴木貞吉、村村 昭和一二 一八五—一七
- 八一六 書 譜
 - 眞書千字文 長三洲書 明治三一 四版 一八六—一四
 - 草書淵海 上・下 風月莊左衛門發行 (上五九・中五〇・下六一枚) 一八六—二九
 - 貞松堂藏歷代名人法書 上・中・下 五〇・下六一枚 一八六—四七
 - 日本三體字典 宮田亮行書 小西源水編 昭和一二 一八六—四八
 - 百傳齊藏歷代名人法書 上・中・下 (上一三・中二一・下一二〇枚) 一八六—四八
 - 隸 辯上・下 支、顧南原著 鎌田 編輯並校訂 (上一七二、下九九枚) 一八六—四八
- 八二〇 圖 案
 - 圖案文字大觀 矢島潤一 昭和一二 一八〇—五五

八七〇 音 樂

- 感光材料 宮田道雄 昭和一二 一八三〇—一七
- 寫眞及印刷材料化學 長口富吉 昭和一二 一八三〇—一九
- 寫眞色素概論 木村恒行 昭和一二 一八三〇—一八
- 八三一 寫 眞 術
 - カメラとレンズ 森岡三郎 昭和一二 一八三一—八六
 - 工場寫眞術「青寫眞」 鈴木 編 昭和一二 一八三一—八七
 - 寫眞レンズ解説 淺野邦夫 昭和一二 一八三一—八四
 - やさしい寫眞化學 南 實 昭和一二 一八三一—八五
- 八三三 活動寫眞
 - 映畫藝術の形式 今村太平 昭和一二 一八三三—四八
 - 映畫雜記 伊丹芳作 昭和一二 一八三三—四六
 - シナリオ講話 フランセマ、マリオン著 佐々木能理男譯 (三七七頁) 昭和一二 一八三三—四七
 - トオキイ音楽の理論と實際 露、レオニドフ著 (一八三—一五一頁) 昭和一二 一八三三—四九
 - 發聲活動寫眞 田口徳三郎 昭和一二 一八三三—五〇
 - 文化映畫論 英、ゴール、ルーター著 厚木たか子譯 (三三三頁) 昭和一二 一八三三—五〇
- 八四〇 彫 刻
 - 木彫教室 瀧田結哉 昭和一二 一八四〇—一九

音樂體系と樂器沿革 (中山隆夫 大正五) 一八七〇—七二
 音樂と文化 (河上謙太郎 昭和一三) 一八七〇—七一
 近代音樂回想錄 (M. D. ガルゴコレツ著 大田黒元雄譯) 一八七〇—六七
 輕音樂とそのレコード (唐崎 影外二名 昭和一三) 一八七〇—七〇
 絕對音感及和音感教育 (上・中・下 發田光吉 昭和一二) 一八七〇—六九
 日本と言葉と唄の構造 (兼常清佐 昭和一二) 一八七〇—六八
 レコード・ロマン派の音樂 (野村長一 昭和一二) 一八七〇—六六
 八七二 歌劇、樂劇 冊 分類 番號
 王朝藝術史 樂劇歌舞 (尾形龜吉 昭和一二) 一八七〇—六三
 八七四 樂器、樂譜 冊 分類 番號
 ハーモニカ音樂學校 (佐藤秀郎 昭和一二) 一八七四—六五
 八八〇 諸藝、遊戲、娛樂
 八八一 演劇、舞踊 冊 分類 番號
 花勝見 (瀧川如卓 文化一二) 一八八二—三三
 八八二 舞樂、能樂、謠 冊 分類 番號
 龍樂總堂閑話 (梅岩萬三郎 昭和一二) 一八八二—四九
 龍樂總堂閑話 (三六〇頁) 牧田松聲 昭和一二
 謠曲の本質と教授法 (二二三頁) 一八八二—五〇
 八八三 花道、茶道 冊 分類 番號
 茶經 (唐・袁陵外二名共著 明・晉安外二名校訂 昭和一二) 一八八三—六
 茶の湯講座 (千宗守 昭和一二) 一八八三—七
 趣味ぶくろ (高橋義雄(譯) 昭和一二) 一八八三—四三
 日本茶道史序說 (西澤一三 昭和一二) 一八八三—四二
 流祖古田織部正と其茶道 (秋元瑞阿彌 昭和一二) 一八八三—四四
 八八四 圍碁、將棋 冊 分類 番號
 圍碁の常識圖解 (高部道平 昭和一二) 一八八四—四九
 新定石と其の應用 (昭和、大正 橋本字太郎 昭和一二) 一八八四—五一
 「筋」と「形」碁の基本 (小野田千代太郎 昭和一二) 一八八四—五〇
 將棋讀本 (土居市太郎 昭和一二 六版) 一八八四—二九
 將棋の急所 (平手滿 花田長太郎 昭和一二) 一八八四—二七
 昇段熱血棋集 (神田長之助 昭和一二) 一八八四—二六
 八九〇 運動競技其他 冊 分類 番號
 八九一 運動競技 冊 分類 番號
 運動年鑑 (昭和一三年版 朝日新聞社運動部編 昭和一二) 一八八四—一
 怪力法並に肉體改造法 (若木竹丸 昭和一二) 一八八四—一五

第十二回オリアムピック東京大會 永井松三編 昭和一二
 組織委員 會 報告書 (四三九頁) 一八八二—一四
 短距離競争 (吉岡隆徳 昭和一二) 一八八二—一六
 鐵棒運動 (本間茂雄 昭和一二) 一八八二—一六
 ○
 タクツクツション (松山金嶺 昭和一二) 一八八二—一三
 八九四 相 撲 冊 分類 番號
 腕角力 (山本哲 昭和一二) 一八八四—二〇
 明治、大相撲土俵七十年 (東西好角會編 昭和一二) 一八八四—二五
 相撲鑑賞讀本 (藤山光三 昭和一二) 一八八四—二六
 相撲四十八技 (藤山光三 鈴木彦次郎 昭和一二) 一八八四—二三
 相撲隨筆 (尾崎士郎 昭和一二) 一八八四—二三
 土俵場規範 (藤山光三 昭和一二) 一八八四—二四
 無敵双葉山 (廣田寺 健 昭和一二) 一八八四—二二
 八九六 釣 魚 冊 分類 番號
 海釣り河釣りとその知識 (水上梅彦 昭和一二) 一八八六—二四
 八九七 スキー 冊 分類 番號
 銀界三十年 (稻田昌直 昭和一二) 一八八七—一五
 スキー讀本 (泉 梅次郎 昭和一二) 一八八七—一四
 八九八 競 馬 冊 分類 番號
 競馬と馬券の實際知識 (茂木幹夫 昭和一二) 一八八八—一六
 地方競馬年鑑 (昭和一三年版 山田七市編 昭和一二) 一八八八—一五

九〇〇 産 業

國防資源論 伍堂卓編 昭和一三
 地誌(松井春生) 編 (伍堂卓編)
 非鐵金屬(渡邊俊雄) 編 料(大島義清)
 國防に對する化學工業資材の供給確保(龜山直人)
 纖維工業品(津田信吾) 食糧品(千石與太郎)
 電力(小林一三)
 工場産業報國會設立運営指針 (九二二頁) 昭和一三
 持てる國日本 大河内正敏 昭和一四
 ○
 ダイヤモンド産業全書 ダイヤモンド社發行 昭和一三
 第七卷 自動車(山本惣治) 第八卷 パルプ(成田芳)
 第九卷 製糖(森岡一) 第十卷 海運(岡崎幸壽)
 第二卷 曹達(榎本修吉)
 九〇一 史 傳
 大阪問屋仕入案内 昭和一三年版 片桐祐七郎編 昭和一三
 (九〇八頁)
 近代技術史 岡邦雄、樹本セツ共譯 (四四九頁) 昭和一三
 實業五十年史 清浦恒通 昭和一一一
 第一卷 序説 學制時代 教育令時代 學校令時代
 第二卷 實業學校時代 大正時代
 第三卷 商業發達史 工業發達史
 第四卷 實業發達貢獻者列傳(故人之部 現代之部)
 第五卷 事業編
 九〇二 博覽會、共進會
 始政四十 臺灣博覽會誌 (一一八頁) 昭和一四
 週年記念

冊 分類 番號

九〇四 産業報告及統計

東京商工會議所統計年報 昭和一三年 (三〇七頁) 昭和一三
 滿洲商工年鑑 オリエント出版社編 昭和一三
 (一〇九四頁)
 九〇七 事務 法
 君の能力をもつと活かせ (ピットキーン著 順精晴譯)
 作業研究 臨時産業合理化局生産管理委員會編 昭和一三
 人事管理 淡路國治郎 昭和一三
 (五四八頁)
 能率概論 上野陽一 昭和一三
 (二六七頁)
 九〇九 論説、雜書
 小賣業統制論 内池康吉 昭和一三
 (二五〇頁)
 これからの事業、これからの經營 中野友雄 昭和一三
 (二七〇頁) 一〇版
 中支の資源と貿易 馬場敏太郎 昭和一三
 (五〇〇頁)
 九一〇 農 業
 實業家必携 藤原信廣編 明治二三
 (一九〇頁)
 支那農業論上・下 米、ロツレング、ベック著 昭和一三
 三輪半 加藤健共譯
 南洋農業資源論 伊藤光司 昭和一三
 (一九九頁)
 文檢農業科問題解義 第一回—現在 則井堅太郎 昭和一三
 (二〇八頁)
 儲かる農業 美波 泉 昭和一一
 (三八〇頁)

冊 分類 番號

九一一 農業經濟、農政

實用農藝全書 明文堂發行 昭和一三
 第一卷 蔬菜(渡邊誠三)
 第二卷 家畜(重藤(美川重夫 後藤新)
 第三卷 工藝作物上巻(熊田重雄)
 第四卷 同下巻(同人)
 第五卷 測量(平橋虎正 近藤百)
 第六卷 最近肥料問題(佐藤五次)
 第七卷 最新肥料問題(佐藤五次)
 最新農學用語辭典 (一五四頁) 昭和一三
 石川夢聲編
 日本農業全書 日本評論社發行 昭和一三
 第六卷 最近肥料問題(佐藤五次)
 最新農學用語辭典 (一五四頁) 昭和一三
 石川夢聲編
 日本農業年鑑 昭和一四年版 富民協會編 昭和一三
 (四二二頁)
 農村偉人傳 櫻井武雄 昭和一三
 (三〇五頁)
 時局と農村(1) 河田朝郎編 (五八二頁) 昭和一三
 (日本學術振興會第二十二小委員會報告)
 ○
 農地法と思想國防 宗 正雄 昭和一二
 (一九二頁)
 九一一 農業經濟、農政
 近世初期農政史研究 中村吉治 昭和一三
 (四八七頁)
 近代日本農政史論 奥谷松治 昭和一三
 (二九五頁)
 現代支那の土地問題 堀江邑一譯 昭和一三
 中國農村經濟研究會編 (三二七頁)
 五人組制度新論 西村精一 昭和一三
 (二二七頁)

冊 分類 番號

九一〇 農 業

小農經濟と協同組合 梅橋初太郎 昭和一三
 (四九四頁)
 植民地農業 「經濟地理的研究」(伊藤光司 昭和一二
 (農學經濟學講座)
 事變と農村 (有馬頼寧 昭和一三
 (二六六頁)
 戰時體制下の農村對策 助川啓四郎 昭和一三
 (七〇五頁)
 村落社會の研究法 同學會編 昭和一三
 (二六三頁)
 農村社會學の諸學說と其の批判(井森陸平)
 日本農村社會學の發展史(池田善良)
 社會集團の累積としての村落(米林富男)
 農村社會と人口問題(神谷慶治)
 農村社會と地域計畫(錦織英夫)
 農村更生運動と地域計畫(錦織英夫)
 日清日露戰時の農業政策 我妻東策 昭和一三
 (二〇八頁)
 日本に於ける農村問題 稻村隆一 昭和一三
 (三三三頁)
 農業經濟學 下巻 露、リヤレナ、ムンコ著 直井武夫譯
 (四四六頁) 昭和一三
 農事實行組合 加藤健之助 昭和一三
 (四八八頁)
 農村社會學研究 池田善良 昭和一三
 (二八〇頁)
 農村社會の研究 一名字の試投 有賀喜左衛門著 昭和一三
 (五四八頁) (社會學研究叢書)
 農本維新論 佐藤慶治郎 昭和一三
 (三三三頁)
 ○
 開墾地移住ニ關スル調査 第三輯 農林省農務局編
 (三五六頁) 昭和一三
 支那土地利用地圖集成 岩田半三譯 (一八七頁) 昭和一三
 (一九二二頁)

冊 分類 番號

- 土地及び聚落史上乃諸問題 (牧野信之助 昭和一三 四七六頁地圖三枚)
- 土地制度研究 (田邊正 昭和一三 四八〇頁)
- 九一三 農業理化學 (高崎 昭和一三 三七二頁)
- 實用土壤精説 (三七二頁)
- 農家肥料の作り方 (加藤孝三郎 昭和一三 二四四頁)
- 九一四 農産製造 (奥澤修 昭和一三 二四四頁)
- 蔬菜の効能と加工調理 (三六七頁)
- 青年農産食品加工法 (別井堅太郎 昭和一三 三六七頁)
- 保存食品の製造法 (星 忠太郎 昭和一四 三〇七頁) (實用製造工業叢書)
- 九一七 耕種栽培 (本原均編 昭和一三 九三〇頁)
- 小麦の研究 (武田雄七郎 昭和一三 四九七頁)
- 市場より見たる産米改良 (鈴木直二 昭和一三 二八一頁)
- 茶業彙報第三十三輯 (島居久作編 昭和一三 海外製茶市場調査報告 (一八五頁附録五三頁))
- 朝鮮米の研究 (安本長次 昭和一三 八一九頁)
- 東西喫煙史 (曾我重郎 昭和一三 二九九頁)
- 日本の楮と木蠟 (正木八十八 昭和一三 二六八頁)

- 九一九 論説、雜書 (廣野元一 昭和一三 一七五頁)
- 會地村 (廣野元一 昭和一三 一七五頁)
- 經濟更生最優良村の經營法 (末吉善三郎 昭和一三 三三三頁)
- 更生運動下の農村 (東京帝國大學農學部 昭和一三 農業經濟學教育編 (二四二頁))
- 合理的農家經營の實際 (谷本龜次郎 昭和一三 三三三頁)
- 五風十雨 (和田 傳 昭和一三 二六七頁)
- 齊藤宇一郎と農村指導 (武埴晴吉三山 昭和一三 一八六頁)
- 銃後の農村を視る (朝日新聞社編 昭和一三 一七一頁)
- 戦後の農村は何處へ行く (稻村謙一 昭和一三 三三〇頁)
- 戦時農村対策と戦後の經營 (富田文雄 昭和一三 三八五頁)
- 大地に起つ (竹中慶太郎 昭和一三 二〇一頁)
- 土に叫ぶ (松岡其次郎 昭和一三 三九三頁)
- 日本精神に基く優秀村の建設 (香月秀雄 昭和一三 三六七頁)
- 農家を富ます道 (谷本龜次郎 昭和一三 三三三頁)
- 時局下の農村教育と講話資料 (佐藤謙徳 昭和一三 三三三頁)
- 農村更生運動の實相 (富田文雄 昭和一三 二七五頁)
- 農村問題の諸相 (東畑精一 昭和一三 四八〇頁)
- 農道雜話 (小林 謙著 和合恒男編 昭和一四 一七九頁)
- 百姓往來 (小笠齊某 三六枚)

- 九二〇 園 藝 (高木博市 昭和一四 四四八頁)
- 九二一 庭 園 (上原敬二 昭和一三 三二七頁)
- 生離と芝生 (野崎信夫 昭和一三 三〇五頁)
- 九二二 盆 栽 (野崎信夫 昭和一三 三〇五頁)
- 趣味の樹木盆栽 (野崎信夫 昭和一三 三〇五頁)
- 盆栽入門 (野崎信夫 昭和一四 三〇五頁)
- 九二三 蔬 菜 (丸山政彦 渡邊誠三 昭和一三 三二七頁)
- 甘藷の栽培と加工 (小田忠八 中山虎彦 昭和一三 三八九頁)
- 用蔬菜園藝 (五島八左衛門 昭和一〇 三四五頁)
- 實メロン栽培 (大前徳三郎 昭和一三 二二七頁)
- 九二四 花 卉 (富原常治 昭和一三 五七三頁)
- 九二五 果 樹 (中川愛實 昭和一三 四四六頁)
- 梨の栽培技術 (野呂登巳次郎 昭和一三 三〇一頁)

- 九三〇 林 業 (内田部夫 昭和一三 二九六頁)
- 日本柑橘栽培法 (池野勇一 昭和一三 三二七頁)
- 實用林業叢書 明文堂發行 昭和一三 第二卷 木材工藝(松島鐵也)
- 九三一 山 林 (池野勇一 昭和一三 三二七頁)
- 森林法律學 (帝室林野局編 昭和一三 二九八頁附録一六頁)
- 九三四 山林利用、樹木及木材 (帝室林野局編 昭和一三 二九八頁附録一六頁)
- ひのき分布考 (帝室林野局編 昭和一三 二九八頁附録一六頁)
- ひのき分布考 (資料) (帝室林野局編 昭和一三 二九八頁附録一六頁)
- ベニヤ板ニ關スル調査 (農林省山林局編 昭和一一 二八二頁)
- 九四〇 畜 産 (秦 一郎 昭和一三 二二五頁)
- 九四一 養 畜 (白木正光編 昭和一三 二七四頁)
- 愛犬訓育讀本 (白木正光編 昭和一三 二七四頁)
- 犬の訓練讀本 (白木正光編 昭和一三 二七四頁)
- 馬新論 (龍山堂主人 喜永七 三三七頁)
- 實地狸の飼ひ方 (古谷春吉 昭和一四 二五二頁)
- 乳牛の飼ひ方と乳加工 (和田 豊 昭和一三 二二七頁)
- 乳用山羊の實際 (北原名田造 昭和一三 四五二頁)

蒙古馬政史 (古原公平 昭和一三) 一〇九四二一〇二
 九四二 畜産製造 冊 分類 番號
 市乳の處理 (正義 昭和一三) 一〇九四二一二
 乳業寶典 (正義 村田喜一 昭和一三) 一〇九四二一二
 パター及びチーズ (沖本佐一 昭和一三) 一〇九四二一三
 九四三 養 禽 冊 分類 番號
 鷺と七面鳥の飼ひ方 (米野與七郎 昭和一三) 一〇九四二一〇五
 改良完全育雛法 (伊藤雅吉 昭和一三) 一〇九四二一〇四
 趣味の小鳥の飼ひ方 (今村延雄 昭和一二) 一〇九四二一〇三
 鶏の飼ひ方 (山下鶴人 昭和一一 四版) 一〇九四二一〇二
 九四四 養 蜂 冊 分類 番號
 蜜蜂の飼ひ方 (谷本龜太郎 谷本保夫 昭和一四) 一〇九四二一〇一
 九五〇 水産、漁業 冊 分類 番號
 魚の國 (三浦定之助 昭和一三) 一〇九四二一〇四
 日本水産年報 (田口新治 昭和一三) 一〇九四二一〇五
 第二輯 戰時體制下の水産業 一〇九四二一〇六
 九五三 水産製造 冊 分類 番號
 かつをぶし (東京經濟同業組合編 昭和一三) 一〇九四二一〇三
 魚粉と魚粕 (大島幸吉 昭和一三) 一〇九四二一〇二
 九五四 漁 業 冊 分類 番號
 鯉釣漁業 (中山琢三 昭和一三) 一〇九四二一〇一
 實用釣餌利用の研究 (石川久治 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 九六〇 蠶 業 冊 分類 番號
 九六一 養 蠶 冊 分類 番號
 産業組合による産繭處理 (磯木茂 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 九七〇 工 藝 冊 分類 番號
 技術と軍事工業 (露、ムス、エム、ツイレネフ著 田中長三郎譯 (二四三頁) 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 金屬材料及び其熱處理 (三島住七 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 支那工業論上巻 (支、劉大鈞著 倉持 傳譯 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 支那と佛蘭西美術工藝 (小林太市郎 昭和一二) 一〇九四二一〇〇
 資本主義工業と科學主義工業 (大河内正敏 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 熟練工養成の體験を語る (大日本工業學會編 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 新興各種代用品の製作法 (佐藤巳之吉編 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 戰時日本重工業 (小島精一 昭和一三) 一〇九四二一〇〇

代用品工業 (中井武雄 門多榮男 (三四一頁) 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 代用品と再生品 (白崎孝一 佐久間實三郎 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 同 一〇九四二一〇〇
 代用品の製造と販賣法 (三好貞 松川英逸 昭和一四) 一〇九四二一〇〇
 代用品物語 (報知新聞經濟部編 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 朝鮮工業經濟讀本 (朝倉昇 昭和一二) 一〇九四二一〇〇
 日本工藝史 (渡邊素舟 昭和一一) 一〇九四二一〇〇
 J.E. 日本標準規格 第一、二卷 商工省臨時産業管理局編 昭和一二) 一〇九四二一〇〇
 伸びる工業 (野田貞次 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 最新工業大辭典 非凡閣發行 松元竹二編 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 第七卷 ケンコーリ 第八卷 コーシセ
 第九卷 シェーショ 第一〇卷 レラーセツ
 第一一卷 セワーマシ 第一二卷 タシワフル
 第一三卷 テートロ
 工業所有權保護同盟條約說 (吉原隆次 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 特許法 (竹内貞久治 昭和一一) 一〇九四二一〇〇
 日本民族の科學的優秀性 (寺島征史 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 日本科學發明物語改題 一〇九四二一〇〇
 九七二 化學工業 冊 分類 番號
 化學工業最近の進歩 下巻 (倉橋藤治郎編 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 第一輯 本邦液體燃料資源(阿部吉輔) 一〇九四二一〇〇
 第一四篇 合成農藥品(河西嘉一) 一〇九四二一〇〇
 第一五篇 電氣科學工業(加藤與五郎) 一〇九四二一〇〇
 第一六篇 酸、アルカリ及肥料(庄司勲) 一〇九四二一〇〇
 第一七篇 陶磁器(近藤清治) 一〇九四二一〇〇
 第一八篇 ガラス(田端清造) 一〇九四二一〇〇
 第一九篇 セメント(眞田義彰) 一〇九四二一〇〇
 第二〇篇 耐火材料(吉木文平) 一〇九四二一〇〇
 第二一篇 油脂及蠟(山崎利一郎) 一〇九四二一〇〇
 第二二篇 石油及洗滌劑(三雲大郎) 一〇九四二一〇〇
 第二三篇 塗料(内田壯) 一〇九四二一〇〇
 第二四篇 纖維化學(櫻田一郎) 一〇九四二一〇〇
 第二五篇 水産食品(木村金太郎) 一〇九四二一〇〇
 第二六篇 酒精及清涼飲料(黒野勲六) 一〇九四二一〇〇
 化學工業總論 (龜山直人 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 工業化學 (藤 源太郎 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 工業初等化學 (大日本工業學會編 昭和一二) 一〇九四二一〇〇
 合成洗滌劑及浸透劑 (藤島與 昭和一二) 一〇九四二一〇〇
 膠着劑 (中島顯三 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 最新化學工業大系 小川菊松編 昭和一二) 一〇九四二一〇〇
 第六卷 コールター工業(牧野夫) 染料及染色(同人) 一〇九四二一〇〇
 火藥工業(西條唯一) 化學兵器(西澤勇志智) 一〇九四二一〇〇
 進み行く我化學工業 (藤田健一 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 纖維防水防火加工法 (三三〇頁) 一〇九四二一〇〇
 廢物更生化學 (川正正編改題) 一〇九四二一〇〇
 無機化學工業 (小栗檢藏 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 液體燃料工業最近の進歩 (倉橋藤治郎編 昭和一三) 一〇九四二一〇〇
 第一輯 本邦液體燃料資源(阿部吉輔) 一〇九四二一〇〇

- 第二篇 石油(大村一編)
- 第三篇 石油低溫化法及石油液化法(伊木貞雄)
- 第四篇 頁岩油工業(石橋廣敏)
- 第五篇 酒精工業(川上七郎右衛門)
- 第六篇 メタノール工業(莊司信守)
- 合成液體燃料 特ニフィッシャー法(常岡俊三 昭和一三)
- 人造石油と原料石炭 (渡邊四郎 昭和一三)
- 石炭液化と代用燃料 (西澤勇志 昭和一三)
- 新毒ガスと煙 (西澤勇志 昭和一三)
- 燃料工業最近の進歩 (倉橋義治郎 昭和一三)
- 第一篇 石炭工業(厚見利作)
- 第二篇 コークス工業(伊部泰治)
- 第三篇 油母頁岩工業(岡新六)
- 第四篇 石油工業(松澤博太郎)
- 第五篇 天然ガス(加藤均三)
- 第六篇 アスファルトの化学及工業(和田俊三)
- 第七篇 木炭及木炭瓦斯(南時次)
- 第八篇 合成液體燃料並ニ代用燃料(喜多源造)
- 第九篇 アルコール工業(中澤亮治)
- 罐詰製造講義 下巻 (日本罐詰協會編 昭和一三)
- 罐詰要覽 (日本罐詰協會編 昭和一三)
- 醬油味噌釀造法 (野野明二郎 昭和一二)
- 冷凍食品上・下 (加藤壽郎 昭和一三)
- 製糖工業 (田原哲二郎 昭和一三)
- 硝子加工法 (中西健治 昭和一三)
- ガラス分析法 (新海重行 昭和一三)
- 最新染色法 佐藤吉彦 昭和一三
- 第一卷 精練、漂白及染色
- 第二卷 捺染
- 實習塗工法 (清水正雄 昭和一三)
- 纖維素塗料 (西澤勇志 昭和一三)
- 染色辭典 (中島武太郎 昭和一三)
- 染織史の研究 (高島清一 昭和一三)
- 染料工業化学 (柴田林之助 昭和一三)
- 香粧品化学 (山口武夫 昭和一三)
- アルミニウム (藤田貞次 昭和一三)
- アルミニウム及其合金 (高橋本枝 昭和一二)
- アルミニウムの性質及用途 (小久保定次郎 昭和一三)
- 最新電弧溶接の理論と實際 (伊藤千代藏 昭和一三)
- 電氣化學工業 (富山保 昭和一三)
- 電氣鍍金 (定方金藏 昭和一三)
- マグネシウム (藤田貞次 昭和一三)
- 九七三 機械工藝、諸製造
- バルブ及紙 (厚本勝基 昭和一二)
- 竹の利用と其加工 (中元肇英 昭和一三)
- 趣味の千代人形歌(方と作り方 (永原興誠 昭和一三)
- 時計學 (青木保 昭和一三)
- 九八〇 商業
- 商業原理講話 (大島行雄 昭和一三)
- 一商人として(所信と體裁) (相馬愛蔵 昭和一三)
- 歐洲商業發達史 (ギピンス著 松澤榮重譯 昭和一三)
- 外國英語通信文の書方 (中村賢二郎 昭和一三)
- 支那商業書翰文の讀み方 (有馬健之助 昭和一三)
- 事務通信文例範 (村松早苗 昭和一三)
- 和商事電報暗號 (中山久美 昭和一三)
- 商業通信文の實例と練習 (片岡彦一 昭和一三)
- 高等商業數學 上巻 (小林行昌 昭和一三)

- 木型工作法 (太田正吉 昭和一三)
- 九七四 織物其他工業
- 麻紡績學 (石谷實信 昭和一三)
- 内織物組織及製造學 正續編 (古田喜一 昭和一三)
- 現代織物解説集 第一、二、三卷 (高松今男 昭和一三)
- 紡織試驗法の理論と實際 (新井幸長 昭和一二)
- 紋織製造法 (宇野幸吉編 昭和一二)
- グイスコース式人造絹絲 (喜多源造編 昭和一一)
- 人絹織物取扱上の秘訣 (青木貞吉編 昭和一三)
- 紙業提要 (王子製紙株式會社販賣部 昭和一三)
- 人絹工業最近の進歩 (倉橋義治郎編 昭和一三)
- 第一篇 繅絲(岩崎一編)
- 第二篇 漂白(アモニヤ法)(三枝八郎)
- 第三篇 アセテート法(吉村利三郎)
- 第四篇 グイスコース式(庄野正雄)
- 第五篇 マルチファイラメント糸(植村功太郎)
- 第六篇 人絹織物並ニ同紡績工業(小岩隆道)
- 第七篇 人絹ハム(三浦伊八郎)
- 第八篇 人絹機械(鈴木本一)
- 第九篇 人絹の顯微鏡的研究(小原龜太郎)
- ステープルファイバー (岸武八郎 昭和一三)
- ステープルファイバー (新製産業 藤田貞次 昭和一三)
- 製紙辭典 (藤田貞次編 昭和一三)
- 内外紙業統計 (王子製紙株式會社販賣部編 昭和一三)
- 一〇九七五—一〇九七五—一四
- 一〇九七五—一五
- 一〇九七五—一六
- 一〇九七五—一七
- 一〇九七五—一八
- 一〇九七五—一九
- 一〇九七五—二〇
- 一〇九七五—二一
- 一〇九七五—二二
- 一〇九七五—二三
- 一〇九七五—二四
- 一〇九七五—二五
- 一〇九七五—二六
- 一〇九七五—二七
- 一〇九七五—二八
- 一〇九七五—二九
- 一〇九七五—三〇
- 一〇九七五—三一
- 一〇九七五—三二
- 一〇九七五—三三
- 一〇九七五—三四
- 一〇九七五—三五
- 一〇九七五—三六
- 一〇九七五—三七
- 一〇九七五—三八
- 一〇九七五—三九
- 一〇九七五—四〇
- 一〇九七五—四一
- 一〇九七五—四二
- 一〇九七五—四三
- 一〇九七五—四四
- 一〇九七五—四五
- 一〇九七五—四六
- 一〇九七五—四七
- 一〇九七五—四八
- 一〇九七五—四九
- 一〇九七五—五〇
- 一〇九七五—五一
- 一〇九七五—五二
- 一〇九七五—五三
- 一〇九七五—五四
- 一〇九七五—五五
- 一〇九七五—五六
- 一〇九七五—五七
- 一〇九七五—五八
- 一〇九七五—五九
- 一〇九七五—六〇
- 一〇九七五—六一
- 一〇九七五—六二
- 一〇九七五—六三
- 一〇九七五—六四
- 一〇九七五—六五
- 一〇九七五—六六
- 一〇九七五—六七
- 一〇九七五—六八
- 一〇九七五—六九
- 一〇九七五—七〇
- 一〇九七五—七一
- 一〇九七五—七二
- 一〇九七五—七三
- 一〇九七五—七四
- 一〇九七五—七五
- 一〇九七五—七六
- 一〇九七五—七七
- 一〇九七五—七八
- 一〇九七五—七九
- 一〇九七五—八〇
- 一〇九七五—八一
- 一〇九七五—八二
- 一〇九七五—八三
- 一〇九七五—八四
- 一〇九七五—八五
- 一〇九七五—八六
- 一〇九七五—八七
- 一〇九七五—八八
- 一〇九七五—八九
- 一〇九七五—九〇
- 一〇九七五—九一
- 一〇九七五—九二
- 一〇九七五—九三
- 一〇九七五—九四
- 一〇九七五—九五
- 一〇九七五—九六
- 一〇九七五—九七
- 一〇九七五—九八
- 一〇九七五—九九
- 一〇九七五—一〇〇

ゲオラント・ディ・ジョンの研究 萬田一治 昭和一三
 小賣商の經營改革 平井泰太郎 昭和一三
 古本賣りの實際知識 大島逸平 昭和六
 新商賣實際成功法 服部金次郎 昭和一三
 戰時戦後の商店經營 中谷真武 昭和一四
 中小業者問題 井上貞蔵 昭和一三
 長期戦下の商店經營 福富恒樹 昭和一三
 店員の採用と教育の實際 有實謙吉 昭和一三
 日本食塩販賣史 鈴木重美編 昭和一三

一九〇九一〇三
 一九〇九一〇七
 一九〇九一〇二
 一九〇九二〇六
 一九〇九二〇五
 一九〇九二〇九

宣傳讀本 倉本長治 昭和一四
 宣傳は勝負 倉本長治 昭和一三
 九八三 商業經濟、商業政策
 小賣業統制論 芳谷有道 昭和一四
 商業と商業政策 河津 曜 昭和一三
 商工業組合の定款業務規程 松浦誠之 昭和一四
 ダンピング論 楠本豊吉 昭和一三
 徳川時代の米穀配給組織 鈴木直二 昭和一二
 販賣組織の更改と經營機構 平井泰太郎 昭和一三
 九八四 銀行、會社
 銀行會社要錄 附役員錄 安藤仁隆編 昭和一三 四二版
 牧野頭取の銀行論 廣川波郎 昭和一四 再版
 會社稅務精説 鈴木保雄外二名 昭和一三
 國際通運株式會社史 中野金次郎編 昭和一三
 東京火災保險株式會社五十年誌 志津野眞二編 昭和一三
 九八五 取引所、株式、相場
 各國株式取引所論 上村正昭 昭和一三
 株式年鑑 昭和一三年版 大阪商店調査部編 昭和一三

一九二一八〇
 一九二一七六
 一九三一一八
 一九三一一三
 一九三一一七
 一九三一一六
 一九三一一五
 一九三一一四
 一九四一
 一九四一六三
 一九四一四二
 一九四一四二
 一九四一四三
 一九四一四三
 一九四一五二

近代戦と株式投資 後藤一平 昭和一二
 市場分析 池田英次郎 昭和一三
 戦争景氣はいつ出るか 藤原正 昭和一三
 相場の悲喜劇 豊田實 昭和一四
 投機明鑑 野田茅堂 昭和一三
 綿絲經濟 酒井龍男 昭和一二
 九八六 倉 庫
 購買管理及倉庫管理 上野鶴一 昭和一三 増補
 倉庫業法論 向井梅次、中島時雄 昭和一三
 九八七 貿 易
 國外貿易 ダイヤモンド社編 昭和一三
 戰時日本貿易論 木村増太郎 昭和一三
 貿易國策論 高木二三男 昭和一三
 貿易業に於ける經驗と指針 森實次郎吉 昭和一三
 貿易理論の研究 松井 清 昭和一三

一九五二〇四
 一九五二〇六
 一九五二〇五
 一九五二〇九
 一九五二〇七
 一九五二〇八
 一九六二一七
 一九六二一六
 一九六二一七
 一九六二一七
 一九六二一七
 一九六二一七
 一九六二一七

カルテラル會計と分課元帳 小高 敏 昭和一三
 銀行簿記大綱 大村和三郎 昭和一三
 工業會計 黒澤 清 昭和一三
 商店會計讀本 片野一郎 昭和一三
 商店簿記の附け方 松岡元三郎 昭和一三
 同
 農業簿記學 近藤康男 昭和一三
 農家簿記講話 磯口平郎 昭和一三
 簿記組織論 杉本秋男 昭和一三
 九九〇 交通、通信
 過失交通犯實例 正岡正徳 昭和一三
 交通經濟學研究 島田孝一 昭和一三
 交通統制に関する當選論文集 帝國鐵道協會編
 交通文化 第三號 情政 功園 昭和一三
 支那上代の譯傳(青山定男)
 本邦の生産分配に関する絲東交通文化史的考察(下)(榮謙太郎)
 地圖と交通文化(渡田伊人)
 日支交通小史(中山久四郎)
 鐵道通商の體及び魚の移入路網圖(田中啓爾)
 鐵道通商の體及び魚の移入路網圖(田中啓爾)
 鐵道通商の體及び魚の移入路網圖(田中啓爾)
 鐵道通商の體及び魚の移入路網圖(田中啓爾)
 鐵道通商の體及び魚の移入路網圖(田中啓爾)
 鐵道通商の體及び魚の移入路網圖(田中啓爾)

一九九一三五
 一九九一三〇
 一九九一三〇
 一九九一三六
 一九九一三三
 一九九一三三
 一九九一三七
 一九九一三七
 一九九一三三
 一九九一三二
 一九九一三二
 一九九一三二
 一九九一三三
 一九九一三二
 一九九一三三
 一九九一三二
 一九九一四一
 一九九一四五
 一九九一四五
 一九九一四四
 一九九一五〇
 一九九一四八

會計學 長谷川安兵衛 昭和一三
 會計學 長谷川安兵衛 昭和一三
 會計學 長谷川安兵衛 昭和一三

交通文化物語 (三井高橋 昭和一三)	一九〇—四二
交通論 (島田孝一 昭和一一)	一九〇—四三
交通論概要 上巻 (松葉榮重 昭和一一)	一九〇—四六
趣味の交通學 (藤野之助 昭和一一)	一九〇—四七
全國通信講習所 普通科 生徒志願要譯 (阿部勝三郎 昭和一一)	一九〇—四九
日支交通の研究 中・近世篇 (藤田元春 昭和一一)	一九〇—五一
九一九 史 傳	冊 分類 番號
支那交通史論 (支、白壽經著 牛島俊作譯 昭和一四)	一九〇—一二
九九二 海 運	冊 分類 番號
海運論 小島昌太郎 昭和一一	一九〇—一三
九九三 鐵 道	冊 分類 番號
驛員讀本 (天野辰太郎 昭和一一)	一九〇—一六
最新鐵道省職員 採用試驗問題並に模範解答 (寺島秀雄 昭和一一)	一九〇—一八
鐵道員採用試驗 必勝合格法 (其輪香村編 昭和一一)	一九〇—一八
鐵道人に聽く (笠松鐵太郎 昭和一一)	一九〇—一八

九九四 郵 便	冊 分類 番號
國際郵便送金要綱 (貯金局編 昭和一一)	一九〇—一七
郵便爲替貯金 (通信省通信博物館編 昭和一一)	一九〇—一六
郵便年鑑 昭和一三年度版 (交通經濟社編 昭和一一)	一九〇—一五
郵便法論 (奥村喜和男 昭和一一)	一九〇—一四
九九五 電信、電話、信號	冊 分類 番號
電信講話 (佐藤次郎 昭和一一)	一九〇—一三

福岡縣立圖書館和漢圖書增加目錄

(自昭和十三年四月至昭和十四年三月)

終

昭和十五年三月十五日印刷
昭和十五年三月二十日發行

福岡縣立圖書館

印刷者 川 浪 作 藏
福岡市古小路町二十五番地

印刷所 山 田 印 刷 所
福岡市古小路町二十五番地

電話東②一〇一八番

317
98

317

934

R

M

終